

CyberLink  
PhotoDirector  
ユーザーガイド



## 使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文のEnd User License Agreement ( 'EULA' ) の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意識されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧いただきをお願いいたします。

## End User License Agreement ( EULA ) : 使用許諾契約書

当製品 ( 以下「本ソフトウェア」という ) の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書 ( 以下「本契約書」とする ) をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様 ( 個人または法人のいずれであるかを問いません ) とCyberLink Corp. ( 以下「サイバーリンク」といいます ) との間に締結される法的な契約書となります。

## ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

## 使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物 ( 以下「関連印刷物」といいます ) の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

## 所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利は、すべてサイバーリンクによって留保されます。

## アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用、ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

## 第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

## 保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

## 著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、PhotoDirectorは情報、サービス、またはPhotoDirectorに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PhotoDirectorは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

## 本社

### 所在地

CyberLink Corporation  
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.  
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

### Web サイト

<http://www.cyberlink.com>

### TEL

886-2-8667-1298

### FAX

886-2-8667-1385

Copyright (c) 2016 CyberLink Corporation. All rights reserved.

# 目次

<b>紹介</b> .....	<b>1</b>
はじめに.....	1
最新機能.....	1
DirectorZone とサイバーリンク クラウド.....	2
PhotoDirector のバージョン.....	4
システム動作環境.....	5
<b>画像を読み込む</b> .....	<b>7</b>
対応するファイル形式.....	7
ライブラリーに画像を読み込む.....	7
読み込み中に適用.....	10
動画を読み込む (ビデオ to フォト クリエーター).....	10
ビデオ to フォト クリエイターでフレームを取り込む.....	12
読み込みの詳細設定.....	15
<b>作業領域</b> .....	<b>18</b>
PhotoDirector のモジュール.....	18
ライブラリー.....	18
調整.....	19
編集.....	19
レイヤー.....	19
スライドショー.....	19
プリント.....	19
ライブラリー パネル.....	20
プロジェクト タブ.....	20

フェイス タグを付ける .....	27
メタデータ タブ .....	30
調整パネル .....	34
編集パネル .....	34
レイヤー マネージャー .....	35
スライドショー パネル .....	35
プリント パネル .....	35
フォト ブラウザー パネル .....	35
画像をスタックする .....	38
画像を検索する .....	41
フォト ビューアー ウィンドウ .....	41
ビュー モードを選択する .....	42
ビューアー ディスプレイ モードを選択する .....	43
履歴 .....	45
フォト ビューアー ツールバー .....	45
ビューアー ズーム .....	46
<b>PhotoDirector のプロジェクト .....</b>	<b>48</b>
プロジェクトを書き出す .....	48
サイバリンク クラウドのプロジェクト .....	49
<b>調整 .....</b>	<b>50</b>
仮想画像を作成する .....	50
ヒストグラム .....	51
白黒画像に変換する .....	51
露光部分を表示する .....	52
部分調整ツール .....	53
画像を切り抜き、傾き調整を行う .....	53
スポット補正を行う .....	57
赤目補正を行う .....	58
調整ブラシを使用する .....	59
調整セレクションを使用する .....	62

グラデーション マスクを使用する.....	65
円形フィルターを使用する.....	68
部分調整オプション.....	72
全体調整ツール.....	74
ホワイト バランス.....	74
色調.....	76
HDR エフェクト.....	77
レベル.....	78
カーブ.....	79
HSL/カラー.....	81
白黒ミックス.....	84
明暗別色補正.....	84
ディテール.....	86
レンズ補正.....	87
調整をコピーする.....	90
調整プリセットを使用する.....	91
DirectorZone からプリセットをダウンロードする.....	93
サイバーリンク	
クラウドからプリセットをダウンロードする.....	94
カスタムプリセットを保存する.....	95
画像にプリセットを適用する.....	96
プリセットを共有、バックアップする.....	96
プリセットを書き出し/読み込む.....	97
履歴を表示する.....	98
調整をオン/オフにする.....	98
<b>編集.....</b>	<b>100</b>
ビューティー メイク.....	100
フェイス ツール.....	101
スキン ツール.....	105
ボディー シェイパー.....	108
フォト エフェクト.....	110
カラー エフェクト.....	111
ぼかしツール.....	114

粒子エフェクト.....	117
オーバーレイ.....	118
オブジェクト除去.....	120
スマートパッチ.....	120
コンテンツ解析除去.....	121
抽出または作成.....	122
背景除去.....	123
画像追加・合成.....	125
画像結合.....	126
ブラケット HDR.....	126
パノラマ.....	129
顔入れ替え.....	130
モーション フォト (多重露光).....	131
フレーム & 透かし.....	132
透かしクリエイター.....	132
透かしテンプレートを使用する.....	137
<b>レイヤー.....</b>	<b>139</b>
レイヤーの概要.....	139
クイックテンプレートを使用する.....	145
レイヤー マネージャーを使用する.....	146
画像のレイヤーを追加する.....	147
レイヤーの不透明度を調整する.....	149
レイヤーを合成する.....	150
レイヤーを管理する.....	153
レイヤー ツールを使用する.....	155
ペン ツール.....	156
消しゴムツール.....	156
シェイプ ツール.....	157
テキスト ツール.....	161
領域選択ツール.....	163
塗りつぶしツール.....	166
グラデーション ツール.....	167
ぼかしツール.....	168

編集ツールを使用する.....	168
レイヤー プロジェクトを保存する.....	172
<b>画像の書き出しと共有を行う.....</b>	<b>174</b>
画像を書き出す方法.....	174
プロファイルを書き出す.....	177
画像を共有する.....	178
Facebook に画像をアップロードする.....	178
Flickr に画像をアップロードする.....	179
サイバークラウドに画像をバックアップする.....	180
DirectorZone に画像をアップロードする.....	182
画像をメール送信する.....	183
<b>スライドショー.....</b>	<b>184</b>
フォト スライドショーを作成する.....	184
スライドショーを生成する.....	185
YouTube でスライドショービデオを共有する.....	186
<b>プリントを行う.....</b>	<b>188</b>
画像をプリントする.....	188
レイアウトをカスタマイズする.....	188
画像の設定をカスタマイズする.....	189
プリントの設定をカスタマイズする.....	190
透かし.....	190
<b>PhotoDirector の基本設定.....</b>	<b>192</b>
全般の基本設定.....	192
プロジェクトの基本設定.....	193
DirectorZone の基本設定.....	193
ファイル処理の基本設定.....	194
向上プログラムの基本設定.....	195
サイバークラウドの基本設定.....	195

ハードウェア アクセラレーションの基本設定.....	196
<b>PhotoDirector のホットキー.....</b>	<b>197</b>
<b>テクニカル サポート.....</b>	<b>207</b>
テクニカル サポートにお問い合わせになる前に.....	207
Web サポート.....	208
ヘルプ リソース.....	209

## 第 1 章:

# 紹介

この章では、CyberLink PhotoDirector の概要について説明します。プログラムのシステム要件についても説明します。



**注:**当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。このプログラムに関する情報は、弊社のユーザー フォーラムやラーニング センターのビデオ チュートリアル (<http://directorzone.cyberlink.com/tutorial/phd>) から入手いただけます。

## はじめに

CyberLink の製品をご利用いただきありがとうございます。CyberLink PhotoDirector は、デジタル画像を管理、調整、編集したり、レイヤーを使って新しい画像を作成するソフトです。画像を Facebook や Flickr で共有したり、作成したスライドショーを YouTube にアップロードすることもできます。

## 最新機能

ここでは CyberLink PhotoDirector の最新機能の一部を紹介します。

### ビデオ to フォト クリエーター

- 動画ファイルから静止画像 (最大 2K/4K 画質) を取り込み。
- [TrueTheater 調整] を適用して、取り込み画像の画質を調整。
- 取り込んだ画像をパノラマ、顔入れ替え、モーシオン フォト (多重露光) 機能で直接使用。

### モーシオン フォト (多重露光) を作成

- 連続ショット画像または動画ファイルから取り込んだ画像から、モーシオン フォト (多重露光) を作成。
- 自動オブジェクト トラッキングで調整がより簡単に。

- 調整内容に合わせて、3 種類の出カスタイル。

### 強化したレイヤー ツール

- クイック レイヤー テンプレートを使って、幻想的な画像を作成。
- レイヤー プロジェクトを新しいクイック テンプレートとして保存したり、DirectorZone で共有。
- レイヤー プロジェクトを適用前に、ブレンド モードの結果をプレビュー。
- ぼかしエフェクトを選択したレイヤーに直接適用。
- マジック ワンドの選択ツールを使って、さらに高度なレイヤー編集。

### 新規エフェクト

- 40 種類以上のオーバーレイ テンプレートを使って、スタイリッシュな画像を作成。
- カラー スプラッシュ エフェクトを使って、選択した部分の色のみ表示。
- モーション ブラー (残像効果) エフェクトを使って、より動きのある画像を作成。

### PhotoDirector の改善点

- タグを階層表示して、より簡単に画像を管理。
- サムネイルで調整プリセットを表示。
- 自動色調調整機能を改善。
- さらに多くのカメラ レンズ プロファイル、RAW 画像形式に対応。

## DirectorZone とサイバーリンク クラウド

DirectorZone およびサイバーリンク クラウド\* を使ってカラー プリセットやレンズ プロファイルをアップロード、ダウンロードしたり、画像、基本設定、プロ

ジェクトなどをバックアップすることができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

## DirectorZone

DirectorZone は、CyberLink PowerDirector のユーザーが作成したカラー プリセットやレンズ プロファイルを検索、ダウンロードできる無料の Web サービスです。

DirectorZone を利用するには、次の方法でサインインします。

- ウィンドウ右上の **[DirectorZone にサインイン]** のリンクをクリックします。
- ウィンドウ上の  ボタンをクリックして PhotoDirector の基本設定を開き、**[DirectorZone]** のタブをクリックします。詳細は、[\[DirectorZone の基本設定\]](#) を参照してください。

また、定期的に  ボタンをクリックすると、最新の **[DirectorZone 掲示板]** や **[DirectorZone のテンプレートとチュートリアル]** や **[DirectorZone のフォト ギャラリー]** を表示することもできます。通知ウィンドウのこれらのセクションのいずれかをクリックして、掲示板を開いたり、テンプレートをダウンロードします。DirectorZone の機能やサービスに関する詳細は、<http://directorzone.cyberlink.com> をご覧ください。

## サイバーリンク クラウド

サイバーリンク クラウドは CyberLink のクラウド サービスで、PhotoDirector のプリセット、プロジェクトや書き出した画像などをアップロード、ダウンロードすることができます。メディア、基本設定、プロジェクトなどをバックアップすることで、複数のコンピューターで同様に作業することができます。



**注:**サイバーリンク クラウドは定期契約が必要なクラウド ストレージ サービスで、一部の CyberLink 製品に搭載されています。弊社の Web サイトからご購入いただけます。詳細は、<http://jp.cyberlink.com/products/cyberlink-cloud> をご覧ください。

## PhotoDirector のバージョン

CyberLink PhotoDirector でご利用いただける機能は、インストールされているバージョンによって異なります。

PhotoDirector のバージョン表は、次の Web サイトをご覧ください。 [http://jp.cyberlink.com/products/photodirector-ultra/compare\\_ja\\_JP.html](http://jp.cyberlink.com/products/photodirector-ultra/compare_ja_JP.html)

右上の CyberLink PhotoDirector のロゴをクリックするか、メニューから **[ヘルプ] > [CyberLink PhotoDirector バージョン情報]** を選択すると、CyberLink PhotoDirector のバージョンやビルド番号が表示されます。

## PhotoDirector Live

PhotoDirector Live は CyberLink PhotoDirector のサブスクリプション バージョン (定期契約) で、CyberLink PhotoDirector のすべての画像調整機能やサイバーリンク クラウドのストレージ サービスなどがご利用いただけます。

PhotoDirector Live の契約ユーザーは、次の機能がご利用いただけます。

- CyberLink PhotoDirector Ultra バージョンのすべての画像調整・編集機能。
- サイバーリンク クラウドのストレージにプログラムの基本設定、プロジェクト、プリセットをバックアップ。
- CyberLink PhotoDirector Ultra の最新バージョンにアップデート。

PhotoDirector Live は、メディアと最新の編集技術にアクセス可能な便利な画像編集ツールです。

## PhotoDirector をアップデートする

CyberLinkでは、定期的にソフトウェアのアップグレードおよびアップデート (パッチ) を提供しています。 アップグレード/アップデートが可能になると、自動的に確認メッセージが表示されます。



**注:** 自動的にアップデート/アップグレードされない場合は、[「全般の基本設定」](#)を参照してください。

ソフトウェアをアップデートするには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックして通知ウィンドウを開きます。
2. **[新規アップデート]** および **[アップグレード情報]** セクションを確認します。
3. アイテムを選択して Web ブラウザーを開き、そこからアップグレードを購入したり、最新パッチをダウンロードします。



**注:** この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。

## システム動作環境

このプログラムを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

システム動作環境	
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows 10, 8/8.1, 7 (64 ビット OS を推奨)</li> </ul>
画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1024 x 768、16 ビット カラー以上</li> </ul>
メモリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2GB 必須</li> </ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel Core™ i-series または AMD Phenom® II 以上</li> </ul>

<b>VGA</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 128 MB VGA VRAM 以上</li></ul>
<b>ハード ディスク容量</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1GB 必須</li></ul>
<b>インターネット接続</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ソフトウェア&amp;ファイル形式のアクティ ブ化には、インターネット接続が必要</li></ul>

## 第 2 章:

# 画像を読み込む

ここでは、CyberLink PhotoDirector に画像を読み込む方法を説明します。CyberLink PhotoDirector は、様々な画像ファイル形式 (RAW 形式を含む) に対応しています。

## 対応するファイル形式

CyberLink PhotoDirector が対応する画像ファイル形式は、次の通りです。

**画像:**JPEG, PNG, TIFF。

**RAW 画像形式:**ほとんどの RAW 画像形式を読み込むことができます。対応する RAW 形式に関する詳細は、CyberLink Web サイトの PhotoDirector の仕様ページをご覧ください。 [http://jp.cyberlink.com/products/photodirector-ultra/spec\\_jp\\_JP.html](http://jp.cyberlink.com/products/photodirector-ultra/spec_jp_JP.html)



**注:**CyberLink PhotoDirector に PHI ファイル (PhotoDirector レイヤープロジェクト ファイル) を読み込むこともできます。詳細は、[「レイヤー」](#)を参照してください。

## ライブラリーに画像を読み込む

コンピューターのハード ドライブ、デジタル カメラ、リムーバブル デバイス (メモリー カードやポータブル ハード ドライブなど) から画像を読み込むことができます。

CyberLink PhotoDirector に画像を読み込むには、次の操作を行います。

1. **[ライブラリー]** をクリックし、ライブラリー パネル下の **[読み込み]** ボタンをクリックします。
2. 次の読み込みオプションからいずれかを選択します。
  - **画像:**個々の画像ファイルを読み込みます。コンピューター/リムーバブル デ

バイスから読み込む画像をすべて選択し、**[開く]** をクリックします。[画像の読み込み] ウィンドウに、すべての画像がサムネイルで表示されます。



**注:**読み込みたい画像ファイルがフォルダーに表示されない場合、[画像の選択] ウィンドウ右下のドロップダウンから適切なファイル形式を選択します。

- **フォルダー:**画像が含まれるフォルダーを読み込みます。コンピューター/リムーバブル デバイスから読み込むフォルダーを選択し、**[フォルダーの選択]** をクリックします。[画像の読み込み] ウィンドウに、選択したフォルダー中の全画像がサムネイルで表示されます。
- **カメラから:**デジタル カメラまたはカード リーダーから直接画像を読み込みます。カメラをコンピューターに接続し (電源をオン)、**[カメラから]** を選択して画像を読み込みます。[画像の読み込み] ウィンドウが表示されます。**[ソース]** のドロップダウンからカメラ (またはカード リーダー) を選択します。[画像の読み込み] ウィンドウに、すべての画像がサムネイルで表示されます。
- **クラウドから\*:**サイバーリンク クラウドの契約ユーザーはこのオプションを選択すると、サイバーリンク クラウドのストレージに保存される画像をダウンロードすることができます。ダウンロードする画像を見つけて選択し、**[ダウンロード]** ボタンをクリックします。



**注:**プレビュー ウィンドウ右下の  を使って、サムネイルのサイズを変更します。\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

3. フォルダー、デバイス、デジタル カメラから画像を読み込み時に **[サブフォルダーを含める]** を選択すると、サブフォルダー中の画像が表示、読み込まれます。
4. 読み込み済みの画像をフィルターするには、**[重複の可能性のあるものを除く]** を選択します。
5. 手動で読み込む画像を選択するか、 (すべて選択解除) または  (すべて選択) を使用します。



6. 次の2つの読み込みオプションからいずれかを選択します。
- **現在の位置に保持**:元の場所に保持します。
  - **コピー作成先:[出力先]**で選択した場所に画像のコピーを入れる場合に、このオプションを選択します。
7. 画像のコピーを別のフォルダーに入れる場合、を選択して**[出力先]**を選択します。をクリックして、この場所のフォルダーの名前を編集することもできます。



**注:**出力フォルダーに入れるコピー画像の名前を変更することもできます。  
詳細は、「[読み込み中に適用](#)」を参照してください。

8. 画像のコピーを別の場所に入れる場合、**[整理]**のドロップダウンから次の整理方法を選択します。
- **1つのフォルダーに入れる**:すべての画像を1つのフォルダーに入れます。
  - **元のフォルダー構造**:元の場所から元のフォルダー構造をコピーします。
  - **取り込み日**:取り込み日毎にフォルダーを作成します。をクリックして、フォルダー名の日付形式を設定します。
9. **[読み込み]**をクリックします。画像はプロジェクトライブラリーに読み込まれます。

## 読み込み中に適用

読み込み中に、調整プリセットを画像に適用することができます。著作権情報やタグを追加することもできます。



**注:** [画像の読み込み] ウィンドウに **[読み込み中に適用]** セクションが表示

されない場合、ウィンドウの右端の  をクリックすると表示されます。

- **プリセットの適用:** ドロップダウンから読み込み中の全画像に適用する調整プリセットを選択します。調整プリセットの作成に関する詳細は、[「調整プリセットを使用する」](#) を参照してください。
- **著作権:** 各画像に埋め込む著作権情報を入力します。著作権情報は、その後、[ライブラリー] パネルの [メタデータ] タブから表示、編集できます。
- **タグ:** 各画像に適用するキーワード タグを入力します。複数のタグを入力する場合、セミコロンで区切ります。



**注:** タグ名を入力してそれらを選択して、既存タグを追加することができます。新しいタグ名を入力すると、読み込み中にライブラリーに新しい名前が追加されます。

- **名前の変更:** [コピー作成先] のオプションを選択する場合、コピーするファイルの名前を変更することができます。選択したら、ドロップダウンから名前前の形式を選択します。[ファイル名] のオプションでは現在のファイル名が適用されますが、名前の後に連番や日付が追加されます。[カスタム名] のオプションではカスタムの名前を付けることができます。連番の形式や開始番号を指定することもできます。

## 動画を読み込む (ビデオ to フォトクリエーター)

動画ファイルを読み込んで、選択したビデオ フレームを取り込むことができます。これらのビデオ フレームは新しい画像として読み込まれ、調整や編集ができるようになります。

CyberLink PhotoDirector に動画を読み込むには、次の操作を行います。

1. **[ライブラリー]** をクリックし、ライブラリー パネル下の **[ビデオ to フォトクリエイター]** ボタンをクリックします。
2. 読み込む動画ファイルを選択して、**[開く]** をクリックします。
3. 次の読み込みオプションからいずれかを選択します。

- **フリー シャッター**:ビデオ フレームをキャプチャーして、ライブラリーに読み込みます。ライブラリーに入れるとその後調整したり、他の機能で使えるようになります。
- **パノラマ写真**:ビデオ フレームをキャプチャーして、パノラマ画像を作成します。パノラマ画像作成に関する詳細は、[「パノラマ」](#) を参照してください。



**注**:手ぶれのない動画 (左右を撮影したもの) を使うと、パノラマ画像が正常に表示されます。

- **ベスト グループ ショット**:ビデオ フレームをキャプチャーして、ベストショット (顔) を選んで 1 枚の画像に入れます。詳細は、[「顔入れ替え」](#) を参照してください。



**注**:カメラの動きが固定された動画を使うと、ベストショットが正常に表示されます。

- **モーション フォト (多重露光)**:ビデオ フレームをキャプチャーして、モーション フォト (多重露光) を作成します。詳細は、[「モーション フォト \(多重露光\)」](#) を参照してください。



**注**:カメラの動きが固定された動画を使うと、ベストショットが正常に表示されます。

4. [ビデオ to フォトクリエイター] ウィンドウで、必要なフレームをすべて取り込み、ライブラリーに読み込みます。詳細は、[「ビデオ to フォトクリエイターでフレームを取り込む」](#) を参照してください。
5. 準備ができれば、**[ライブラリーに移動]** をクリックします。

6. [読み込みの設定] では、次のように設定します。

- **フォルダー**:画像が保存されるフォルダーが表示されます。このフォルダーを変更するには、 をクリックして新しいフォルダーを選択します。
- **サブフォルダーに入れる**:新しいサブフォルダーに読み込んだ画像を入れる場合に、このオプションを選択します。新規フォルダーの名前を入力します。

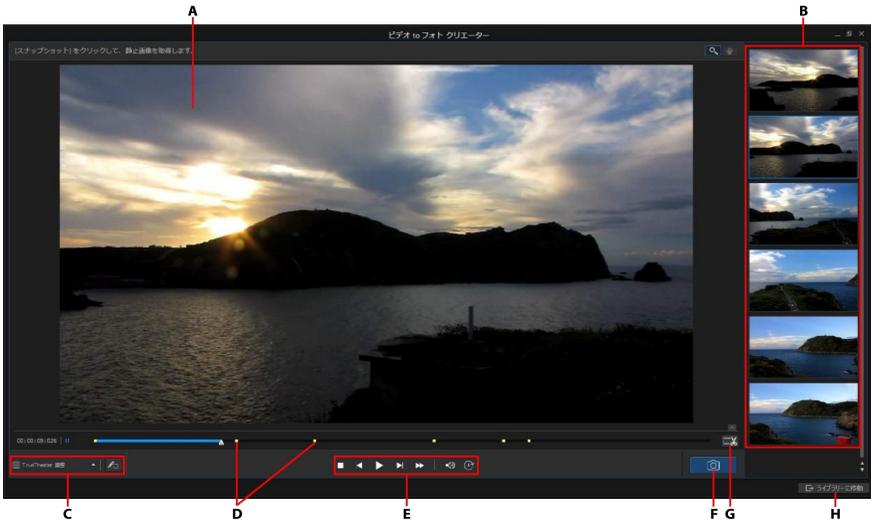


**注**:他の設定を行うには、**[詳細]** をクリックします。詳細は、[「読み込みの詳細設定」](#) を参照してください。

7. **[読み込み]** をクリックして、新しい画像としてライブラリーに読み込み、編集します。

## ビデオ to フォト クリエーターでフレームを取り込む

動画を読み込むと、[ビデオ to フォト クリエーター] ウィンドウが表示されます。



A - プレビュー ウィンドウ、B - 取り込んだフレーム/新しい画像パネル、C - TrueTheater 調整、D - 取り込んだフレームのインジケーター、E - 再生コントロール、F - フレームの取り込み、G - 動画のトリミング、H - ライブラリーに移動/新しい画像を読み込み

[ビデオ to フォト クリエーター] ウィンドウでは、読み込んだビデオ クリップをトリミングし、[TrueTheater 調整] を適用して、新しい画像として取り込むことができます。

## ビデオ クリップをトリミングする

画像として取り込む前に、読み込んだビデオ クリップをトリミングすることができます。ビデオ クリップをトリミングするには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックして、[トリミング] ウィンドウを開きます。
2. プレーヤー コントロールを使って、トリミングの開始位置を見つけ、開始位置スライダーをこの位置にドラッグします。



3. プレーヤー コントロールを使って、トリミングの終了位置を見つけ、終了位置スライダーをこの位置にドラッグします。



4. トリミングするクリップをプレビューすることができます。[出力] をクリックして、プレーヤー コントロールの [再生] ボタンをクリックします。元の動画を再生するには [オリジナル] をクリックします。
5. [OK] をクリックして、変更内容を設定し、クリップをトリミングします。



**注:**[トリミング] ウィンドウから、トリミングしたクリップを設定し直すこともできます。

## TrueTheater 調整を適用する

画像として取り込む前に [TrueTheater 調整] を適用して、動画と取り込む画像を補正することができます。

[TrueTheater 調整] を適用するには、次の操作を行います。

1. 左下の [TrueTheater 調整] チェック ボックスを選択して、有効にします。
2.  をクリックして、[TrueTheater 調整] のオプションを次のように調整します。
  - **シャープネス:**より解像度の高い画像を取り込みます。スライダーを使って、適用するシャープネスのレベルを調整します。
  - **明るさ:**輝度/コントラスト比を向上させます。レベル スライダーを使って、TrueTheater Lighting エフェクトのレベルを調整します。
  - **カラー:**彩度を調整します。レベル スライダーを使って、色を鮮やかにします (肌の色は変わりません)。



**注:**  をクリックすると、調整前の画像を表示させることができます。

## フレームを新しい画像として取り込む

読み込んだ動画からフレームを取り込むには、次の操作を行います。

1. 再生コントロールを使って取り込む位置を見つけ、一時停止します。



**注:**プレビューがスムーズに再生されない場合、 を選択して **[ノンリアルタイムプレビュー]** をクリックします。音声をミュートし、速度を落としてプレビューを表示することで、スムーズにプレビューを行うことができます。

2.  および  ボタンを使って、フレーム毎に表示させることもできます。
3.  をクリックしてビデオ フレームを取り込むと、取り込み済みフレーム パネルに追加されます。
4. 1~3 の手順を繰り返して、他のフレームを取り込みます。
5. 完了したら、**[ライブラリーに移動]** をクリックして、新しい画像としてライブラリーに読み込み、編集します。

## 読み込みの詳細設定

ライブラリーに画像を読み込む前に、次の詳細設定を行うことができます。

1. [読み込みの設定] ウィンドウの **[出力先]** では、読み込み先を次のように指定します。
  - **フォルダー:** 画像の読み込み先 (フォルダー) を次のように指定します。
    -  をクリックして、画像の読み込み先 (コンピューター中のフォルダー) を指定します。
    - **サブフォルダーに入れる:** 新しいサブフォルダーに読み込んだ画像を入れ

る場合に、このオプションを選択します。新規フォルダーの名前を入力します。

2. [読み込みの設定] ウィンドウの **[ファイルの設定]** セクションでは、次のようにファイル形式とカラー スペースを指定します。
  - **形式**:取り込む画像の形式を JPEG、PNG、TIFF から選択します。
  - **カラー スペース**:読み込む画像に使用するカラー スペースの種類を選択します。
3. [読み込みの設定] ウィンドウの **[画像サイズ]** セクションでは、次のように読み込む画像のサイズを指定します。
  - **ビデオ フレームとして元の解像度を保持する**:読み込み処理時に元の画像サイズを変更しない場合は、このオプションを選択します。
  - **サイズ変更して合わせる**:読み込み処理時に画像サイズを変更する場合は、このオプションを選択します。新しいサイズを次のように指定します。
    - **幅/高さ**:幅、高さのサイズを入力します。縦横比を保持した状態で、指定するサイズに変更します。
    - **解像度**:画像の解像度を入力します。
4. [画像の書き出し] ウィンドウの **[名前付けの形式]** セクションでは、読み込む画像ファイルの名付け方法を指定します。



**注:**[\[名前付けの形式\]](#) 下の [\[例\]](#) に表示される名付け例を参照にします。

- **接頭文字**:それぞれの画像ファイル名の前に付ける文字 (名前) を入力します。
  - **開始番号**:ファイル名に連番を付ける場合は、開始する番号を指定します。
5. [読み込みの設定] ウィンドウの **[読み込み中に適用]** では、著作権情報とキーワード タグを次のように追加します。
    - **著作権**:各画像に埋め込む著作権情報を入力します。著作権情報は、その

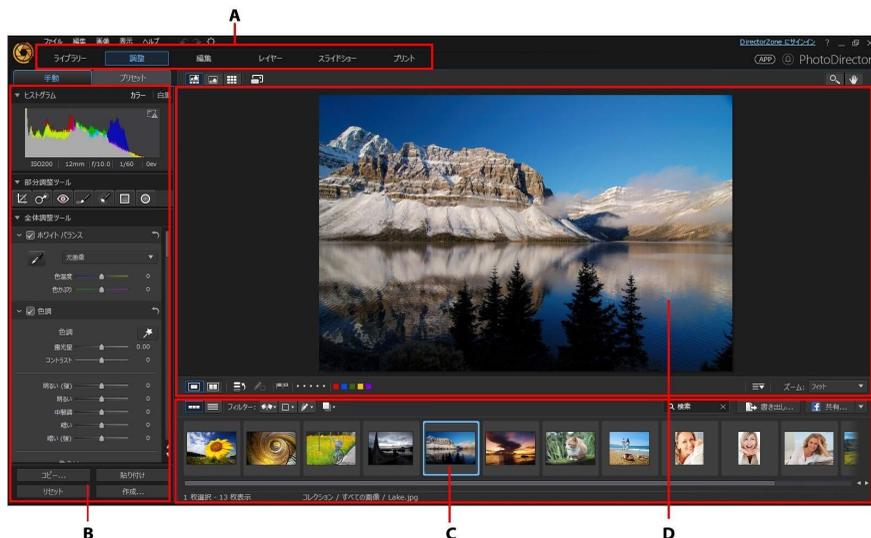
後、[ライブラリー] パネルの [メタデータ] タブから表示、編集できます。

- **タグ**:各画像に適用するキーワード タグを入力します。 複数のタグを入力する場合、セミコロンで区切ります。
6. **[読み込み]** をクリックします。画像が指定した通りに書き出されます。

## 第 3 章:

# 作業領域

この章では、CyberLink PhotoDirector の作業領域と機能について説明します。作業領域は使用頻度が最も高い部分です。



A - PhotoDirector モジュール、B - ライブラリー/調整/編集/レイヤー/スライドショー/プリント パネル、C - フォト ブラウザー パネル、D - フォト ビューアー ウィンドウ

## PhotoDirector のモジュール

CyberLink PhotoDirector には、[ライブラリー]、[調整]、[編集]、[レイヤー]、[スライドショー]、[プリント] の 6 つのメイン モジュールがあります。

### ライブラリー

[ライブラリー] ボタンをクリックすると、フォト ライブラリーが開きます。CyberLink PhotoDirector に画像を読み込むと、フォト ライブラリーに配置され

ます。ライブラリーでは、画像をスマート コレクション、フォルダー、アルバム、キーワード タグ別に整理することができます。詳細は、[「ライブラリー パネル」](#) を参照してください。

## 調整

[調整] モジュールでは、ライブラリー中の画像の補正や調整を行います。**[調整]** ボタンをクリックして、プリセット、切り抜き、回転、グラデーション適用、スポット補正、赤目補正などの調整を行います。ホワイトバランス、シャープ、カラーなどの調整を行うこともできます。詳細は、[「調整」](#) を参照してください。

## 編集

[編集] モジュールでは、画像中の顔を補正したり、エフェクトを適用したり、オブジェクトや背景を削除したり、画像を追加したり、透かしやフレームを適用したりすることができます。詳細は、[「編集」](#) を参照してください。

## レイヤー

[レイヤー] モジュールでは、さらに高度な調整ができます。詳細は、[「レイヤー」](#) を参照してください。

## スライドショー

このモジュールでは、BGM 付きのフォト スライドショーを作成したり、動画ファイルとして書き出したり、YouTube に直接アップロードしたりすることができます。**[スライドショー]** ボタンを選択して、[スライドショー] モジュールにアクセスします。このモジュールに関する詳細は、[「スライドショー」](#) を参照してください。

## プリント

画像の調整と編集が完了したら、[プリント] モジュールでプリントを行うことができます。一度に複数の画像をプリントしたり、一枚に複数の画像をプリントしたり、プリントする画像の上に透かしを追加することができます。詳細は、[「画](#)

[像をプリントする](#) を参照してください。

## ライブラリー パネル

[ライブラリー] パネルでは、画像の読み込み、整理、表示を行うことができます。各画像のメタデータ情報にアクセスすることもできます。

[ライブラリー] パネルには、[プロジェクト] および [メタデータ] の 2 つのタブがあります。どちらかのタブをクリックして、コンテンツを表示します。



### プロジェクト タブ

[プロジェクト] をクリックすると、ライブラリー中のすべての画像にアクセスすることができます。ライブラリーに画像を読み込むと、画像場所および関連画像の情報 (各画像に行った調整を含む) がトラッキングされます。必要に応じて、新規のプロジェクトを追加したり、既存のプロジェクトを開いたり、スマートコレクション、アルバム、フォルダー、タグを新規プロジェクトとして書き出したりすることができます。

[プロジェクト] タブでは、読み込んだ画像をアルバム、フォルダー、キーワードタグなどで整理することもできます。

### スマート コレクション

画像は [スマート コレクション] に自動的に整理され、閲覧が簡単にできます。画像を読み込み、評価、却下するたびに、[スマート コレクション] は更新されます。

- **すべての画像:**現在のプロジェクト データベースに読み込まれたすべての画像を表示します。
- **最新読み込み:**最近ライブラリーに読み込まれた画像を表示します。

- **1 つ星以上**:1 つ星以上の画像を表示します。
- **5 つ星**:5 つ星の画像を表示します。
- **却下**:却下された画像を表示します。

[スマート コレクション] のフォルダーを右クリックすると、画像を書き出したり、選択したコレクション中の画像を入れて新規プロジェクトを作成したりできます。[スマート コレクション] 中のフォルダーの **[名前の変更]**、**[編集]**、**[削除]** を行うこともできます。

規則を指定して、カスタムのスマート コレクションを作成することもできます。カスタムのスマート コレクションを作成するには、次の操作を行います。

1. **[プロジェクト]** タブから [スマート コレクション] セクションの  をクリックします。
2. **[スマート コレクションの作成]** を選択します。
3. 次の情報を入力します。
  - **名前**:新しいコレクション名を入力します。
  - **一致**:規則のうち **[いずれか]**、**[すべて]**、**[なし]** を選択します。
4. スマート コレクションに含める画像の規則をドロップダウンから選択します。
5. **[作成]** ボタンをクリックします。選択した規則に基づいて、コレクションが作成されます。

## フォルダー

ライブラリーに画像を読み込むと、読み込むソースの構造に基づいて、フォルダーに整理されます。

フォルダーを右クリックすると、次の内容が表示されます。

- **フォルダーを同期**:フォルダーを最新の状態に更新します。画像を追加、削

除したり、フォルダー以外に移動した場合にこの機能を使います。次のようにフォルダーを同期します。

## フォルダー同期オプション

変更が検出されると、次のオプションが有効になります。

- **新規画像の読み込み**:フォルダーに画像が追加されると、このオプションが有効になります。表示される枚数をフォルダーに読み込みます。
- **読み込み前に読み込みダイアログを表示**:読み込む前に、[画像の読み込み] ウィンドウで確認します。このオプションを選択しない場合は、バックグラウンドで画像が読み込まれます。
- **不明画像の削除**:フォルダーに不明な画像がある場合に、このオプションが有効になります。表示される枚数をフォルダーから削除します。[不明画像の表示] ボタンをクリックして、不明な画像を表示します。

[同期] ボタンをクリックして、処理を開始します。

- **不明フォルダーの検索**:選択したフォルダーが別の場所に移動している場合、このオプションから検索します。 ボタンをクリックして、不明フォルダーの [新規の場所] を指定します。
- **画像の書き出し**:選択したフォルダー中の画像 (適用した変更も含む) を書き出します。詳細は、[「画像の書き出しと共有を行う」](#) を参照してください。
- **新規プロジェクトとしてフォルダーを書き出し**:選択したフォルダー中の画像で新規のプロジェクト データベースを作成します。
- **フェイス タグ**:選択したフォルダー中のすべての画像を分析し、検出された顔にタグを付ける場合に、このオプションを選択します。詳細は、[「フェイス タグを付ける」](#) を参照してください。
- **ライブラリーから削除**:選択したフォルダーおよびフォルダー中のすべての画像をライブラリーから削除します。

- **ファイル保存先**: 選択したフォルダーおよびすべてのコンテンツを Windows エクスプローラーで表示します。
- **フォルダー名の変更**: 選択したフォルダーに別の名前を付けます。

## アルバム

画像をカスタムのアルバムに整理することができます。新規のアルバムを作成するには、次の操作を行います。

1. **[プロジェクト]** タブから **[アルバム]** セクションの  をクリックします。
2. ポップアップ メニューには、次の内容が表示されます。
  - **[選択した画像でアルバムを作成]** を選択して、選択したすべての画像を入れて新規のアルバムを作成します。
  - **[空のアルバムを作成]** を選択して、空のアルバムを作成します。
  - **[空のアルバム セットを作成]** を選択して、新規のアルバム セットを作成します。アルバム セットは、複数のアルバムから成ります。アルバム セットには直接画像は追加できませんが、複数の画像が入った複数のアルバムを含めることができます。
3. ダイアログの **[アルバム名]** に名前を入力し、**[作成]** をクリックしてライブラリーに追加します。

ライブラリーのアルバムに画像を追加するには、フォト ブラウザー パネルからライブラリーのアルバムにドラッグします。



アルバムを右クリックすると、次の内容が表示されます。

- **新規プロジェクトとしてアルバムを書き出し**: 選択したアルバム中の画像を入れて、新規のプロジェクト データベースを作成します。
- **画像の書き出し**: 選択したアルバム中の画像 (適用した変更も含む) を書き出します。詳細は、[「画像の書き出しと共有を行う」](#) を参照してください。
- **フェイス タグ**: 選択したアルバム中のすべての画像を分析し、検出された顔にタグを付ける場合に、このオプションを選択します。詳細は、[「フェイス タグを付ける」](#) を参照してください。
- **名前の変更**: 選択したアルバムに別の名前を付けます。
- **削除**: ライブラリーから選択したアルバムを削除します。アルバムに含まれる画像は、プロジェクト ライブラリーからは削除されません。

## タグ

プロジェクト ライブラリー中の画像にキーワード タグを追加することができます。タグは、画像を管理する場合や、共有する場合に、タグ キーワードから画像を検索できるため便利です。

新規のタグを作成するには、次の操作を行います。



**注:** [メタデータ] タブからも新規のタグを作成することができます。

1. **[プロジェクト]** タブから **[タグ]** セクションの  をクリックします。
2. ポップアップ メニューには、次の内容が表示されます。
  - **[タグの作成]** を選択して、プロジェクト ライブラリーに新規のタグを作成します。
  - **[選択した画像のタグを作成]** を選択して、新規のタグを作成し、選択したすべての画像に追加します。

3. ダイアログの **【タグ名】** に名前を入力します。



**注:**  をクリック時に既存のタグが選択されている場合、**【～に入れる】** オプションが表示されます。このオプションを選択すると、選択したタグのサブカテゴリとして新しいタグが追加されます。このオプションを選択解除すると、選択したタグと同じレベルに追加されます。

4. **【作成】** をクリックして、ライブラリーに追加します。

ライブラリーの画像にキーワード タグを追加するには、フォト ブラウザー パネルからライブラリーのタグにドラッグします。

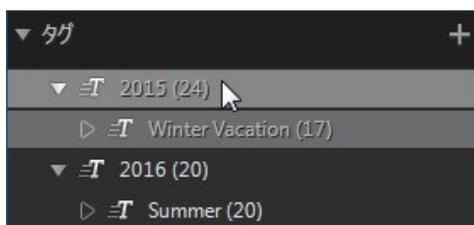
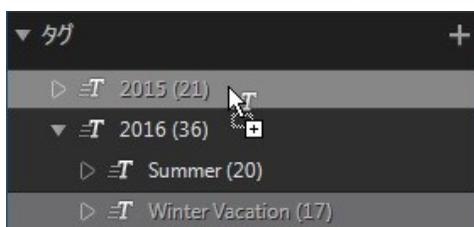


タグを右クリックすると、次の内容が表示されます。

- **新規プロジェクトとしてタグを書き出し:** 選択したタグが付けられた画像を入れて、新規のプロジェクト データベースを作成します。
- **画像の書き出し:** 選択したタグ中の画像 (適用した変更も含む) を書き出します。詳細は、[「画像の書き出しと共有を行う」](#) を参照してください。
- **フェイス タグ:** 選択したキーワード タグからすべての画像を分析し、検出された顔にタグを付ける場合に、このオプションを選択します。詳細は、[「フェイス タグを付ける」](#) を参照してください。
- **名前の変更:** 選択しタグに別の名前を付けます。
- **削除:** ライブラリーから選択したタグを削除します。タグが付けられた画像は、プロジェクト ライブラリーからは削除されません。



**注:** タグをドラッグ&ドロップして、タグの構造 (配置位置) を変更することもできます。タグを他のタグの上にドロップすると、そのタグのサブカテゴリーとして表示されます。



## 顔

画像にフェイス タグ\* を付けると、人物別にこのセクションに追加されます。リストから人をクリックすると、タグ付けされたその人の画像がフォト ブラウザー パネルにすべて表示されます。



**注:** \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

フェイス タグを付けていない場合は、ライブラリーからフォルダー/アルバム/ス

マート コレクション/タグを選択して、フォト ブラウザー パネルから画像を選択して、**[フェイス タグ]** ボタンをクリックします。フェイス タグに関する詳細は、[「自動的にフェイス タグを付ける」](#) を参照してください。人物と顔の管理に関する詳細は、[「ライブラリーの顔を管理する」](#) を参照してください。

リストの顔 (人の名前) を右クリックすると、次のオプションが表示されます。

- **この顔の名前を変更:** 選択した顔に別の名前を付けます。
- **画像の書き出し:** フェイス タグを含む画像 (適用した変更も含む) を書き出します。詳細は、[「画像の書き出しと共有を行う」](#) を参照してください。
- **新規プロジェクトとして顔を書き出し:** フェイス タグが付けられた画像を入れて、新規のプロジェクト データベースを作成します。
- **この人を削除:** ライブラリーから選択したフェイス タグと人物を削除します。タグが付けられた画像は、プロジェクト ライブラリーからは削除されません。

## フェイス タグを付ける

ライブラリー中の画像を分析して、顔を検出することができます。分析結果を見て、手動でフェイス タグ\* を付けることができます。タグ付けが完了すると、メディア ライブラリーの **[フェイス タグ]** セクションに配置されます。Facebook でも共有することができます。



**注:** \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

## 画像中の顔を分析する

顔認識技術により、画像中の顔が自動で検出されます。顔を検出するには、次の操作を行います。

1. 分析する画像をフォト ブラウザー パネルからすべて選択します。

2.  ボタンをクリックします。画像が分析され、すべての顔が検出されます。
3. 分析プロセスが完了すると、[フェイス タグ] ウィンドウが表示されます。分析した顔の管理に関する詳細は、[「ライブラリーの顔を管理する」](#)を参照してください。

## ライブラリーの顔を管理する

顔の分析が完了すると、[フェイス タグ] ウィンドウに顔のグループ分けがされます。顔写真を一枚一枚確認して、すでに登録した人から選択するか、新しい人を追加します。スキップして後から追加することもできます。

[フェイス タグ] ウィンドウにアクセスするには、次の操作を行います。

- フォト ブラウザー パネルから画像を選択し、 ボタンをクリックします。顔の分析が完了すると [フェイス タグ] ウィンドウが表示されます。
- ライブラリー パネルの **[顔]** セクションから、**[不明]** 横の  をクリックして、次のオプションのいずれかを選択します。
  - **[選択した画像にフェイス タグを付ける]** を選択すると、選択されている画像を分析してフェイス タグが付けられます。
  - **[前に名前を付けなかった顔にタグを付ける]** を選択すると、前に分析した顔に引き続きタグと名前を付けることができます。
  - **[最後に行った処理を続行]** を選択すると、前回タグ付けを完了する前に分析処理をキャンセルした場合、その処理を続行します。

[フェイス タグ] ウィンドウでは、タグ付けした顔を、次のように管理することができます。



**注:**グループ ブラウザーにグループ分けされた顔が表示されます。顔のグループを選択して、それを表示してフェイス タグを付けます。グループ ブラウザーを表示するには  を、非表示にするには  をクリックします。

- メディア ライブラリーのグループでフェイス タグを付けたことがない人は、**[選択]** をクリックして **[新しい人の追加]** に名前を入力します。**[OK]** をクリックして、人物を追加して画像にタグを付けます。



**注:**グループの中に一致しない画像がある場合、タグ付けの前にそれを選択解除すると、それは含まれません。

- チェック ボックスをチェックし **[選択]** ボタンをクリックして、リストからその人を選択します (グループの顔に一致するもの)。
- タグ付けする人の名前が提案リストにある場合は、その名前のボタンを選択します。



**注:**[フェイス タグ] ウィンドウでタグ付けをした顔の上にマウスを置き、 をクリックすると、タグを付けた部分が表示されます。

- タグ付けを無視するには **[スキップ]** を選択します。**[スキップ]** タブをクリックすると、いつでもタグを付けることができます。

完了したら **[完了]** ボタンをクリックして、[フェイス タグ] ウィンドウを閉じます。



**注:**一部の画像にフェイス タグを付けた後、ライブラリーから他の画像を選択して、人名横の  をクリックして **[選択した画像からこの人物の他の顔を検索]** を選択します。選択したすべての画像が分析され、この人物が含まれる他の画像が表示されます。

## 手動でフェイス タグを付ける

自動スキャンがうまくできなかった場合は、手動でもフェイス タグを付けることができます。

手動でフェイス タグを付けるには、次の操作を行います。

1. [ライブラリー] モジュールで、[\[フォトビューアー ツールバー\]](#) のフェイス タグ ツールが有効であることを確認します。
2. フェイス タグを付ける画像をブラウザー パネルから選択します。
3. フォト ビューアー ウィンドウ下の  ボタンをクリックして、フェイス タグ エディターを開きます。
4. 画像から検出された顔部分にフェイス タグ ボックスが付けられます。1 つもボックスが表示されない場合、 ボタンをクリックして追加します。
5. 必要に応じて、顔の大きさに合わせてボックスのサイズを手動で変更します。
6. 次のいずれかを行います。
  - **[名前なし]** をクリックして、**[新しい人の追加]** の欄にこの人の名前を入力します。**[OK]** をクリックして、人物を追加して画像にタグを付けます。
  - **[名前なし]** をクリックして、リストからその人の名前を選択します。
  - 同一人物だと思われる人物がいれば、画像の下にその人の名前が表示されます。正しければ、名前下のチェック マークをクリックします。正しくなければ、その名前をクリックして、リストから他の人を選択します。新しい人の場合は、**[新しい人の追加]** の欄にその人の名前を入力して、**[OK]** をクリックします。
7. 必要に応じて、以上のステップを繰り返して他にもフェイス タグを付けます。



**注:** タグ付けされた顔の上にマウスを置いて **[X]** をクリックすると、タグ情報をいつでも削除することができます。

## メタデータ タブ

**[メタデータ]** タブをクリックすると、選択した画像の詳細埋め込み情報が表示されます。**[メタデータ]** タブには、EXIF カメラ情報および取り込んだ画像の情報 (取り込み日、シャッター スピード、露出情報など) が表示されます。また、手動

で入力可能な IPTC メタデータ (連絡先や著作権情報など) も表示されます。



**注:**[メタデータ] タブに表示される EXIF メタデータは、撮影時に埋め込まれた情報に基づきます。

[メタデータ] タブでは、次の設定も行えます。

- 星の数を選択して、各画像の評価を行います。



- をクリックして、気に入った画像や今後使う可能性のある画像にフラグを付けます。その後、フォト ブラウザー パネルでフラグが付いた画像をフィルターすることができます。
- をクリックして、不要な画像を却下します。
- 必要に応じて、EXIF の取り込み日\* を編集することができます。**[取り込み日]** の欄をクリックして、日付を [YYYY-MM-DD hh:mm:ss] の形式で入力します。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

- 画像に IPTC メタデータを追加します。IPTC メタデータ情報を追加するすべての画像を選択して、IPTC フィールドの横をクリックして、メタデータを入力します。



- 画像に IPTC 著作権情報を入力します。著作権情報を追加するすべての画像を選択して、**[著作権]** セクションの **[著作権ステータス]** のドロップダウンから選択します。次に、**[著作権]** セクションの横スペースをクリックして、著作権情報を入力します。



- **[タグ]** を選択して、選択した画像に付けられたすべてのタグを表示します。必要に応じて、選択したすべての画像に新規のタグを作成することができます。入力欄にタグを入力して、 をクリックします。



既存のタグを選択した画像に追加することもできます。フィールドにタグ名を入力して、 をクリックします。





- 画像からタグを削除するには、タグの上にマウスを移動して、 をクリックします。

## 調整パネル

[調整] パネルでは、調整ツールから画像の補正や調整を行うことができます。[調整] パネルのツールに関する詳細は、[「調整」](#) を参照してください。

## 編集パネル

[編集] ウィンドウでは、[編集] パネルが表示されます。ここからすべての編集オプションにアクセスすることができます。[編集] パネルのオプションに関する詳細は、[「編集」](#) を参照してください。

## レイヤー マネージャー

[レイヤー] モジュールの [レイヤー マネージャー] では、新しい画像に含まれるすべてのレイヤーを管理することができます。レイヤー マネージャーに関する詳細は、[「レイヤー マネージャーを使用する」](#) を参照してください。

## スライドショー パネル

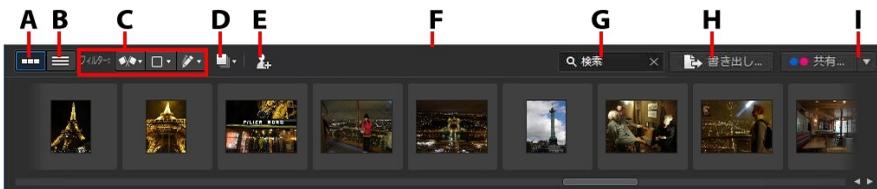
[スライドショー] モジュールでは、[スライドショー] パネルからスライドショーの設定を行うことができます。[スライドショー] パネルのコントロールに関する詳細は、[「スライドショー」](#) を参照してください。

## プリント パネル

[プリント] ウィンドウの [プリント] パネルのオプションを使って、プリント画像を設定します。[プリント] パネルのコントロールに関する詳細は、[「プリントを行う」](#) を参照してください。

## フォト ブラウザー パネル

フォト ブラウザー パネルでは、プロジェクト ライブラリー中のすべての画像を閲覧することができます。[ライブラリー] パネルでコレクション、フォルダー、アルバム、タグなどを選択した場合、それらの画像がフォト ブラウザー パネルに表示されます。



A - サムネイル ビュー、B - リスト ビュー、C - 画像のフィルター、D - 画像のスタック、E - フェイス タグ、F - パネル サイズの変更、G - 検索、H - 画像の書き出し、I - 画像の共有

パネルから画像を選択して、フォト ビューアー ウィンドウで表示します。



**注:**プレビューのレンダリングにかかる時間は、読み込み中の [ファイル処理] 設定のプレビュー画質によって異なります。詳細は、[「ファイル処理の基本設定」](#)の「**プレビュー キャッシュ**」を参照してください。

パネルで画像を閲覧中に、次の操作を行うことができます。

-  を選択して、画像を[サムネイル ビュー]で表示します (大きいサムネイルを含む)。
-  を選択して、画像の詳細情報 (取り込み日、絞り、シャッター スピードなど) を表示します。[リスト ビュー] では、列のヘッダーをクリックして、パネル中の画像を並べ替えることもできます。



**注:**[リスト ビュー] で画像を並べ替える場合に、[「ブラウザーのみ」](#)を使うと見やすくなります。詳細は、[「ビュー モードを選択する」](#)を参照してください。

- [サムネイル ビュー] で画像を選択し、星の数を選択して画像の評価を行います。



- [サムネイル ビュー] で画像を選択し、 をクリックして、気に入った画像や今後使う可能性のある画像にフラグを付けます。
- [サムネイル ビュー] で画像を選択し、 をクリックして、好きでない、または今後使わない画像を却下します。
- カラー ラベルを使って、画像をグループ分けすることもできます。ラベルを付けるには、フォト ブラウザー パネル中の画像を右クリックして、[「ラベル」](#) オプションを選択し、リストからカラーを選択します。

- パネル (またはビューアー) の画像を右クリックして **【同じフォルダーの画像を表示】** を選択すると、選択した画像と同じフォルダーの画像のみ (ライブラリー中) が表示されます。
- パネル (またはビューアー) の画像を右クリックして **【同じアルバムの画像を表示】** を選択すると、選択した画像と同じアルバムの画像のみ (ライブラリー中) が表示されます。
-  をクリックして、パネル中の画像をフラグ付き、却下でフィルターします。
-  をクリックして、パネル中の画像をラベルでフィルターします。
-  をクリックして、パネル中の画像を調整あり、なしでフィルターします。
-  をクリックして、ブラウザー パネルの画像をスタック\* します。詳細は、[「画像をスタックする」](#) を参照してください。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

- 画像を右クリックして **【仮想画像の作成】** を選択すると、編集用にコピーを作成することができます。詳細は、[「仮想画像を作成する」](#) を参照してください。
- フォト ブラウザー パネルの上端をクリック&ドラッグして、パネルおよびサムネイルのサイズを変更します (サムネイル ビューで表示時)。
- [ライブラリー] モジュールの **【フェイス タグ】**\* をクリックすると、ブラウザー パネルで選択した画像中の顔にすべてタグが付けられます。詳細は、[「画像から顔を分析する」](#) を参照してください。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

- **【書き出し】** をクリックして、選択した画像 (適用した調整も含む) を書き出

します。詳細は、[「画像の書き出しと共有を行う」](#) を参照してください。

- **[共有]** をクリックして、Flickr または Facebook に選択した画像をアップロードします。詳細は、[「画像を共有する」](#) を参照してください。
- フォト ブラウザー キャンバス エリア (画像周りの部分) をダブルクリックすると、フォト ブラウザー パネルは非表示になり、画像が大きく表示されます (ビューアーのみモード)。もう一度ダブルクリックすると、ブラウザー パネル (ビューアー&ブラウザー モード) が再度表示されます。

## 画像をスタックする

画像のスタック\* 機能を使うと、フォト ブラウザー パネルの画像を簡単にグループ化することができます。画像を手動でスタックするか、[自動スタック] 機能を使ってグループ化します。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## 画像を自動でスタックする

[自動スタック] 機能を使うと、撮影された日時に基づいて画像がスタックされます。

フォト ブラウザー パネルの画像を自動的にスタックするには、次の操作を行います。

1. スタックする画像をフォト ブラウザー パネルからすべて選択します。
2. をクリックして、**[自動スタック]** を選択します。
3. ダイアログのスライダーを使って、画像のスタック間の時間 (最大 1 時間) を設定します。スライダーを左にドラッグするとスタックは多く、右にドラッグすると少なくなります。



**注:**作成されるスタックの数は、ダイアログの下に表示されます。

4. **[OK]** をクリックします。設定に基づいて、画像がスタックされます。

## 画像を手動でスタックする

[手動スタック] 機能を使うと、各スタックに入れる画像を手動で選択することができます。

フォト ブラウザー パネルの画像を手動でスタックするには、次の操作を行います。

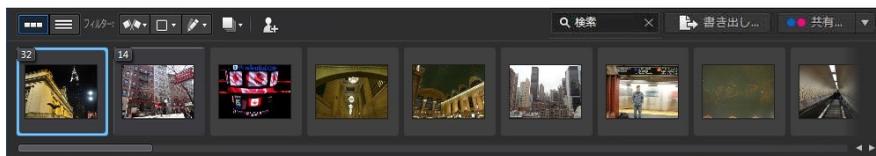
1. 1つのスタックに入れる画像をフォト ブラウザー パネルからすべて選択します。
2.  をクリックして、**[手動スタック]** を選択します。
3. 選択された画像がスタックに入ります。



**注:**必要に応じて何度でもこの手順を繰り返して、フォト ブラウザー パネル中の画像をスタックすることができます。

## スタックした画像を表示する

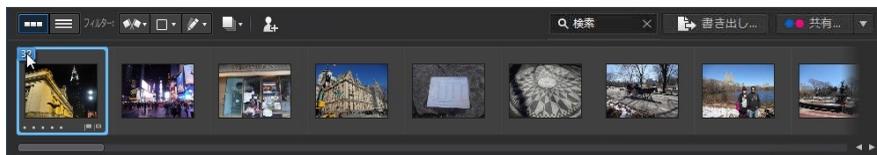
フォト ブラウザー パネルの画像をスタックしたら、画像をさらに簡単にブラウズできるようになります (特に多数の画像をブラウズする場合)。スタックは、フォト サムネイルの左上に数字で表示されます。各スタックの最初の画像が表示されます。





**注:**スタックのトップ画像は、スタック中の画像を一番前にドラッグすることで変更できます。

スタック中の画像は、数字をクリックすると展開、表示されます。



フォト ブラウザー パネルのすべてのスタックを開き、すべての画像を表示するには、 をクリックして **[すべてのスタックを展開]** を選択します。パネルにスタックのみを表示するには、**[すべてのスタックを折りたたむ]** を選択します。

既存のスタックを他のスタックの上にドラッグすると、2つのスタックが結合します。スタックからすべての画像を削除するには、スタックを選択して  をクリックし、**[スタック解除]** を選択します。

## スタックを分割する

スタック中の画像を 2 つのスタックに分割するには、次の操作を行います。

1. 分割するスタックを選択します。
2. 必要に応じて、スタック左上の数字をクリックしてスタックを展開し、その中のすべての画像を表示します。
3. 新しいスタックに入れる画像 (新しいスタックの開始位置) をクリックします。
4.  をクリックして、**[スタックの分割]** を選択します。
5. 選択された画像以降がすべて新しいスタックに入ります。

## 画像を検索する

ブラウザー パネルから特定の画像を検索するには、検索機能でキーワード タグを使って検索します。

ブラウザー パネルから画像を検索するには、次の操作を行います。

1. ブラウザー パネル上の検索欄にキーワードを入力します。



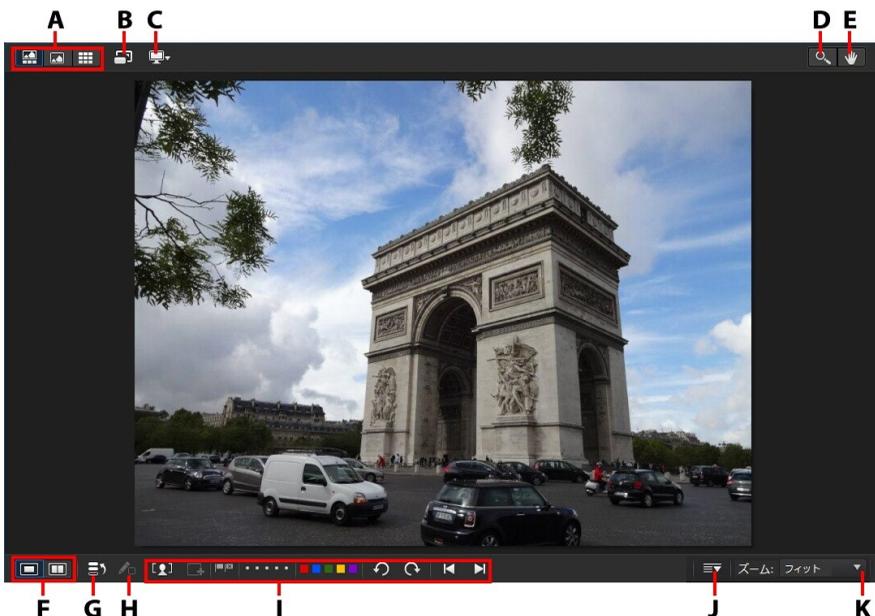
2. 入力したキーワードに基づいて、画像がフィルターにかけられます。



**注:**  をクリックして検索結果を消去すると、ブラウザー パネルにすべての画像が表示されます。

## フォト ビューアー ウィンドウ

フォト ビューアー ウィンドウには、フォト ブラウザー パネルで選択した画像のプレビューが表示されます。画像に適用した調整も表示されます。



A - ビュー モードの選択、B - フル スクリーンで表示、C - セカンダリー モニター ディスプレイ モード、D - ズーム ツール、E - パン ツール、F - ビューアー ディスプレイ モードの選択、G - 履歴の表示、H - 元画像の表示、I - フォト ビューアー ツールバー、J - ツールバーのカスタマイズ、K - ビューアー ズーム

## ビュー モードを選択する

画像を閲覧、表示中に、フォト ビューアー ウィンドウのボタンから、次のビュー モードを選択します。

-  **ビューアー&ブラウザー モード** - フォト ビューアー ウィンドウおよびフォト ブラウザー パネルを表示します。 画像の閲覧が簡単にできます。
-  **ビューアーのみモード** - 画像を大きく表示します。
-  **ブラウザーのみモード** - フォト ブラウザー パネルを大きく表示しま

す。リスト ビューで画像を並べ替える際に最適です。



**注:** フォト ブラウザー キャンバス エリア (画像周りの部分) をダブルクリックすると、フォト ブラウザー パネルは非表示になり、画像が大きく表示されます (ビューアーのみモード)。もう一度ダブルクリックすると、ブラウザー パネル (ビューアー & ブラウザー モード) が再度表示されます。

プロジェクト ライブラリーで画像をプレビュー、または調整を行う場合は、 を選択して現在の画像をフル スクリーンで表示します。フル スクリーン モードで  をクリックすると、[ライブラリー] / [調整] / [編集] パネルを表示することができます。

## ビューアー ディスプレイ モードを選択する

フォト ビューアー ウィンドウには複数のディスプレイ モード (比較、ミラー、2つ以上のディスプレイで表示) があります。



**注:** コンピューターに 2 つ以上のディスプレイを接続している場合、プライマリー デバイスは **[メイン モニター]**、セカンダリー デバイスは **[セカンダリー モニター]** として表示されます。 ボタンをクリックして、セカンダリー モニターのディスプレイ モード オプションを表示します。

フォト ビューアー ウィンドウの左下のボタンをクリックして、ディスプレイ モードを設定します。



**注:** 利用可能なボタン/モードは、使用するモジュールによって異なります。

### メイン モニター

-  **1 枚表示** - [ライブラリー] および [調整] モジュールで選択した画像を 1 つのプレビュー ウィンドウで表示します。
-  **2 枚を比較** - プロジェクト ライブラリーで画像を閲覧する場合に、ライブラリー中の 2 つの異なる画像を比較します。左に現在の画像が、右に

比較対照の候補の画像が表示されます。[現在の画像として設定] ボタンをクリックして、候補の画像を現在の画像として設定します。またはそれを使って他の画像と比較します。このモードで画像を拡大表示すると、次のボタンが利用できます。

-  **フォーカスをリンク** - 拡大表示で比較時に、フォーカス部分を同時に動かします。
-  **同期** - 拡大表示で比較時に、フォーカス部分を同期します。
-  **複数を表示** - プロジェクト ライブラリーで画像を閲覧する場合に、複数の画像を同時に表示します。複数の画像を選択するには、[Ctrl] キーを押しながら複数の画像を選択します。この表示では、各画像を評価、フラグ付け、却下をすることができます。画像の上にマウスを置いて、画像右上の X をクリックすると、その画像を削除することができます。
-  **前後の比較** - [調整] モジュールでこのボタンをクリックし、元の画像 (前) および調整後の画像 (後) の比較画像を表示します。比較モードには 4 つのオプションがあります。
  -  **左右** - 左に元の画像、右に調整後の画像が配置されます。
  -  **分割 - 左右** - 1 枚の画像が 2 つに分割され、左に元の画像、右に調整後の画像が配置されます。
  -  **上下** - 上に元の画像、下に調整後の画像が配置されます。
  -  **分割 - 上下** - 1 枚の画像が 2 つに分割され、上に元の画像、下に調整後の画像が配置されます。

## セカンダリー モニター

2 つ以上のモニターをコンピューターに接続し、デスクトップを拡張している場合、 ボタンをクリックして、セカンダリー モニター用のディスプレイ モー

ドを選択します。

-  **ミラー**:ビューアー表示をセカンダリー モニターにコピーします。
-  **交互**:表示中の画像のセカンダリー ビューを表示します。例えば、[標準] モードで画像を表示する場合、セカンダリー モニターにはフル スクリーンで表示されます。[2 枚を比較] モードでは、2 つのうち 1 つの画像を選択し、セカンダリー モニターにフル スクリーンで表示します。
-  **なし**:セカンダリー モニターに何も表示しない場合に選択します。

## 履歴

[調整] または [編集] モジュールで  をクリックすると、表示中の画像に行った調整と編集の履歴が表示されます。詳細は、[「履歴を表示する」](#)を参照してください。

調整/編集処理中に  ボタンを押し続けると、一時的に元の画像が表示されません。



**注:**[ライブラリー] モジュールでは、これらの 2 つのボタンは非表示になり、 と  に置き換えられます。これらのボタンを使って、選択した画像中の人物に手動でタグを付けることができます。詳細は、[「手動でフェイス タグを付ける」](#)を参照してください。

## フォト ビューアー ツールバー

[ライブラリー]、[調整]、[編集] モジュールでは、フォト ビューアー ツールバーから、画像管理に便利な複数のツールにアクセスすることができます。

 をクリックして、フォト ビューアー ツールバーのツールをカスタマイズします。次のツールが設定できます。

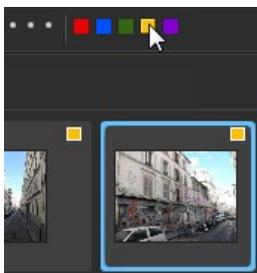
- **フェイス タグ ツール**:選択した画像に手動でフェイス タグを付けます。詳細は、[「手動でフェイス タグを付ける」](#)を参照してください。
- **フラグ**:画像を表示中に  をクリックして、好きな画像 (後で使う可能性が

あるもの) にフラグを付けます。画像を表示中に  をクリックして、不要な画像を却下します。

- **レーティング:**画像を表示中に、ツールバーまたは画像の左下で星の数を選択して画像の評価を行います。



- **カラー ラベル:**画像を表示中に、画像にラベル表示する色を選択します。カラー ラベルを使って、画像のグループ分けをすることができます。



- **回転:**画像を表示中に  をクリックすると左に 90 度、 をクリックすると右に 90 度回転します。
- **前/次:**画像を表示中に  をクリックしてブラウザー パネルで前の画像を選択するか、 をクリックして次の画像を選択します。

## ビューアーズーム

フォトビューアーウィンドウで画像をプレビュー時に、**[ズーム]** ドロップダウンからプレビューするサイズを選択することができます。**[フィット]** を選択すると、ビューアーウィンドウに合わせて画像のサイズが変更されます。

画像を拡大すると、ドロップダウンの上にナビゲーションサムネイルが表示されます。四角をクリック&ドラッグして、表示する部分を指定します。



**注:**ナビゲーション サムネイルを表示するには、**[ズーム]** ドロップダウンの **[ナビゲーション]** オプションを選択する必要があります。

フォト ビューアー ウィンドウで画像を表示する時、次のズーム&パン ツールを使用することもできます。

-  - 選択してマウスを左クリックすると、画像が拡大します。マウスを右クリックすると、縮小します。



**注:**左のマウス ボタンを押しながら四角を描くと、指定した部分が拡大されます。

-  - クリックすると、拡大した部分をパンすることができます。画像をクリック&ドラッグすると、他の部分が表示されます。

## 第 4 章:

# PhotoDirector のプロジェクト

CyberLink PhotoDirector に画像を読み込むと、プロジェクトは自動的に .phd ファイル形式で保存されます。**[ファイル]** メニューのオプションで、新しいプロジェクトを作成したり、既存のプロジェクトを開きます。



**注:** CyberLink PhotoDirector プロジェクト (.pdd) ファイルには、ライブラリーの画像リストと、画像に行ったすべての編集、調整ログが含まれます。プロジェクト ファイルには、画像は含まれません。プロジェクトと画像をバックアップするには、プロジェクトの書き出し機能を使います。詳細は、[「プロジェクトを書き出す」](#)を参照してください。

サイバーリンク クラウド\* の契約ユーザーは、保存したプロジェクトをサイバーリンク クラウドにアップロードすることもできます。詳細は、[「サイバーリンククラウドのプロジェクト」](#)を参照してください。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## プロジェクトを書き出す

CyberLink PhotoDirector のプロジェクトを新しいプロジェクトとして書き出すことができます。プロジェクトには、すべての画像、著作権情報、タグなどが書き出されます。プロジェクト素材をフォルダーにまとめてサイバーリンク クラウド\* にアップロードすることもできます。書き出したプロジェクトは、CyberLink PhotoDirector を実行する他のコンピューターに読み込むことができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

プロジェクトを書き出すには、**[ファイル] > [プロジェクトの書き出し]** を選択します。サイバーリンク クラウドの契約ユーザーは、**[ファイル] > [サイバーリンク クラウドにプロジェクト素材をまとめて保存、アップロード]** を選択すると、サイバーリンク クラウドのフォルダーにバックアップすることができます。

## サイバーリンク クラウドのプロジェクト

サイバーリンク クラウドの契約ユーザーは、**[ファイル] > [サイバーリンク クラウドにプロジェクトをアップロード]** を選択すると、サイバーリンク クラウド\* にプロジェクト ファイルを保存することができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

サイバーリンク クラウドに保存されるプロジェクト (プロジェクト素材としてまとめて保存されたフォルダーを含む) を開くには、**[ファイル]** メニューから **[サイバーリンク クラウドからプロジェクトをダウンロード]** を選択します。表示されるウィンドウからプロジェクトを選択し、**[ダウンロード]** をクリックします。



**注:**サイバーリンク クラウドに保存されるバック プロジェクト (プロジェクト素材をまとめて保存) を開く場合、プロジェクト ファイルとすべてのプロジェクト メディアはローカル コンピューターにダウンロードされ、**[サイバーリンク クラウドの基本設定]** で指定されるダウンロード フォルダーに保存されます。

## 第 5 章： 調整

この章では、画像の調整方法を説明します。調整プリセットおよび画像のクイック編集方法についても説明します。

**[調整]** ボタンから **[手動]** タブをクリックして、画像への調整を開始します。画像を調整しても、元の画像ファイルは自動的に調整されません。すべての調整ログが記録され、書き出し、プリント、共有する場合に各画像に調整が適用されます。

調整処理中に、次の操作が行えます。

-  をクリックすると、元の画像が表示されます。
-  をクリックすると、[履歴] に画像の調整ログが表示されます。詳細は、[「履歴を表示する」](#) を参照してください。
- 調整パネル下の **[リセット]** をクリックすると、調整前の画像に戻ります。

## 仮想画像を作成する

画像への調整を開始する前に、仮想画像を作成してコピーを行います。フォト ブラウザー パネルの画像を右クリックして、**[仮想画像の作成]** を選択します。

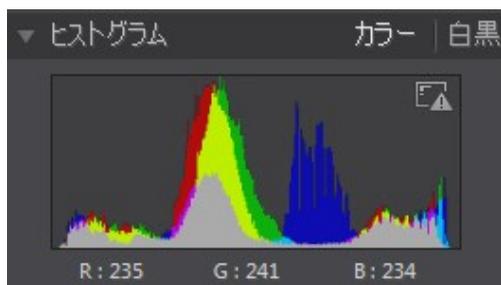
仮想画像は、ハード ドライブ中の実際の画像とは異なります (書き出さない限り)。これにより、同じ画像に異なるセットの調整を同時に行い、異なる出来の画像を一緒に書き出すことができます。

仮想画像は、何枚でも作成することができます。フォト ブラウザー パネルに次のように表示されます。



## ヒストグラム

[ヒストグラム] は、画像の色調の傾向をグラフで示したものです。下のヒストグラムは、画像のメタデータ情報の一部です。



グラフの X 軸は 0 から 255 の RGB 色調で、Y 軸はこの値のピクセル数を示します。

ヒストグラムは、RGB (レッド、グリーン、ブルー) の色から成り立ちます。グレーは 3 つの色が重なった部分を、イエロー、マゼンタ、シアンは、2 つの色が重なった部分を示します。



**注:** 選択したピクセル上にマウス ポインターを持っていくと、RGB の値が表示されます。

## 白黒画像に変換する

選択した画像をヒストグラムを使って、白黒 (グレースケール) に変換することができます。

変換するには、**[白黒]** を選択します。カラーに戻すには、ヒストグラム上の **[カラー]** を選択します。



**注:**画像を白黒に変換すると、調整パネルの白黒セクションが有効になります。白黒画像の明度調整に関する詳細は、[「白黒ミックス」](#) を参照してください。

## 露光部分を表示する

ヒストグラムを使うと、画像が正確に撮影されたか確認することができます。ヒストグラムの左側は露光不足 (暗いピクセルが多く含まれる) を、右側は露光過度 (明るいピクセルが多く含まれる) を示します。



をクリックすると、露光過度および露光不足の部分が表示されます。



露光過度の部分は赤色で表示されます。露光不足の部分は青色で表示されます。



をクリックすると、非表示になります。

## 部分調整ツール

特定の部分のみを修正するには [部分調整ツール] を使います。これらのツールでは、切り抜き、傾き調整、スポット補正、赤目補正などができます。

部分調整ツールで利用できる機能は、次の通りです。

- [画像を切り抜き、回転する](#)
- [スポット補正を行う](#)
- [赤目補正を行う](#)
- [調整ブラシを使用する](#)
- [調整セレクションを使用する](#)
- [グラデーション マスクを使用する](#)

部分調整ツールをアイコンから選択します。

## 画像を切り抜き、傾き調整を行う

不要な部分を切り抜いたり、回転したり (最大45 度)、傾きを補正したりすることができます。

画像を切り抜き、回転する際に、フォト ビューアー ウィンドウ右下の [ツールオーバーレイ] ドロップダウンからオーバーレイを選択することもできます。オーバーレイを使うと、切り抜きおよび傾き補正がさらに正確にできます。

### 画像を切り抜く

画像を切り抜くには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、切り抜きおよび回転のオプションを表示します。
2. 切り抜くには、次のいずれかを行います。

-  をクリックして、手動で切り抜きます。画像をクリック&ドラッグして、切り抜く部分を手動で設定します。
- **[領域]** のドロップダウンから、切り抜く形を選択します。カスタムの形を作成するには、**[カスタム入力]** を選択し、**縦横比** を入力し、**[OK]** をクリックします。



**注:**切り抜く領域のサイズを手動で変更するには、 をクリックします。切り抜く部分の縦横比を保持するには、 をクリックします。

3. 切り抜く部分のサイズを変更するには、四角枠をクリック&ドラッグします。
4. 切り抜く部分を移動するには、四角枠の中をクリック&ドラッグします。
5. **[完了]** をクリックして、画像を切り抜きます。

## 画像の傾きを調整する

画像の傾きを調整するには、次の操作を行います。



**注:**傾きを調整すると、四角枠に合わせて画像の一部がカットされます。画像を右クリックし、**[右回転/左回転]** を選択して、90 度回転することもできます。

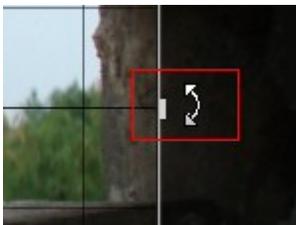
1.  をクリックして、切り抜きおよび傾き調整のオプションを表示します。
2. 傾きを調整するには、次のいずれかを行います。
  -  をクリックし、画像中をクリック&ドラッグして、水平、垂直にする線を引きます。下の画像のように、レベルがわかる部分に線を引くと、より最適に表示されます。



- [角度] スライダーをクリック&ドラッグして、水平、垂直レベルになるまで

回転します。

- 切り抜き部分の外にマウスを移動すると、カーブのマウス ポインターが表示されます。画像をクリック&ドラッグして、手動で傾きを調整します。



3. 切り抜く部分を移動するには、四角枠の中をクリック&ドラッグします。切り抜く部分のサイズを変更することもできます。
4. **【完了】** をクリックします。指定部分を切り抜くことで、四角く表示されます。

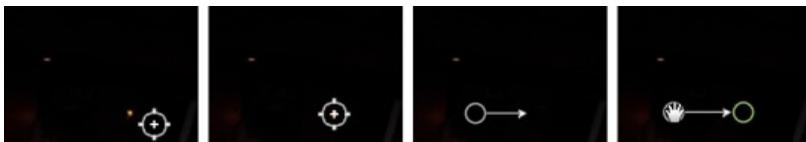


## スポット補正を行う

[スポット補正] ツールを使うと、画像の汚れや傷などを修正することができます。

スポット補正を行うには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、[スポット補正] ツールを開きます。
2. スポット補正のオプションを次のように設定します。
  - **複製/修復:**[複製] を選択すると、指定した部分をコピーして、スポットをカバーします。[修復] を選択すると、スポットの画像情報 (基調や明暗など) を残した状態で修復します。
  - **サイズ:**スポットのサイズを設定します。
  - **ぼかし:**トランジション レベル (カバーする部分およびその部分のピクセル) を設定します。
  - **不透明度:**カバーする部分の不透明度を設定します。
3. 補正する部分をクリックし、コピー元の部分にドラッグします。



4. **[完了]** をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## インテリジェント スポット補正を使用する

多数の画像の同じ位置にほこりなどが写っている場合、インテリジェント スポット補正機能を使って一度に修正することができます。この機能は、レンズ付着等が原因で起こる場合に適しています。

複数の画像にインテリジェント スポット補正を適用するには、次の操作を行います。

す。

1. 最初の画像に、上で説明するスポット補正を実行します。
2. **[コピー]** ボタンをクリックします。
3. [調整のコピー] ウィンドウの **[スポット補正]** を選択して、次を選択します。
  - **手動**: 複数の画像の同じ場所にスポットがあり、同じような背景で撮影されている場合に、このアイテムを選択します。
  - **自動**: 各画像から自動的に正しいピクセルが検出され、補正されます。複数の画像背景が元の画像と異なる場合に、このアイテムを選択します。
4. **[コピー]** をクリックして、[調整のコピー] ウィンドウを閉じます。
5. フォト ブラウザー パネルから、補正を必要とする類似するスポットが含まれるすべての画像を選択します。
6. **[貼り付け]** をクリックします。選択されたすべての画像に、スポット補正がコピーされます。

## 赤目補正を行う

[赤目補正] ツールを使って、赤目を補正することができます。

赤目補正を行うには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、[赤目補正] ツールを開きます。
2. 赤目の部分をクリックします。赤目補正のサイズは、マウスをドラッグして変更します。



3. 赤目が自動検出され、補正が可能になります。自動的に検出されない場合は、赤目部分の中心をクリック&ドラッグし、スライダーを使って次のように補正します。
  - **瞳の大きさ**:瞳の大きさを調整します。
  - **暗度**:暗度を調整します。
4. **[完了]** をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## 調整ブラシを使用する

調整ブラシを選択するか、調整する部分にブラシをかけます。

調整ブラシを使うには、次の操作を行います。



**注**:マスクを使って、複数の部分を調整することができます。詳細は、[「複数のブラシ調整のマスクを使用する」](#)を参照してください。

1.  をクリックして、調整ブラシのコントロールを開きます。
2. 画像をクリック&ドラッグして、ブラシ ストロークを適用します。適用する部分にマスクの色が表示されます。



**注**:ブラシ オプションの調整を開始すると、マスクの色は消えます。詳細は、[「複数のブラシ調整のマスクを使用する」](#)を参照してください。

3. 調整ブラシのオプションを次のように設定します。
  - **ブラシ/消しゴム**:**[ブラシ]** を選択して、調整を適用します。適用した調整のうち、不要部分を消すには、**[消しゴム]** を使います。
  - **サイズ**:ブラシまたは消しゴムのサイズを設定します。マウス スクロール ホイールを使って、ブラシの直径を調整することもできます。
  - **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**:ブラシ ストロークの適用レベルを設定します。

- **エッジに合わせる**:エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
4. スライダーを使って、**[ホワイト バランス]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ホワイト バランス」](#) を参照してください。
  5. スライダーを使って、**[色調]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「色調」](#) を参照してください。
  6. スライダーを使って、**[HSL/カラー]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「HSL/カラー」](#) を参照してください。
  7. スライダーを使って、**[ディテール]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ディテール」](#) を参照してください。
  8. 調整を適用する他の部分をクリック&ドラッグします。スライダーを使って、調整を適用します。
  9. **[完了]** をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## 複数のブラシ調整のマスクを使用する

最大 5 つのブラシ調整を画像に適用することができます。調整オプションを変更して、ブラシを使って画像に適用する場合、色付きのマスクが自動的に作成されます。

マスク ラベルは、ブラシ パネルの **[マスク]** のドロップダウンに表示されます。



新しい調整マスクを作成するには、次の操作を行います。

1. **[マスク]** ドロップダウンから **[新規]** を選択して、新しいマスクを作成します。



2. ブラシ ストロークを適用し、スライダーを使って調整を行います。
3. **[マスク]** ドロップダウンから別の色を選択すると、その色のマスクが付けられます。



4. 各マスクの上に、カラー ラベルが付けられます。



**注:**画像からマスクを削除するには、カラー ラベルの点をクリックして、キーボードの [Delete] キーを押します。

5. カラー ラベルをクリックしてマスクを切り替えると、調整が適用される部分が表示されます。



## 調整セレクションを使用する

[調整セレクション] では、調整する画像のピクセルのみを選択することができます。画像中のオブジェクトや類似する色の部分のみを選択、調整したりすること

ができます。

調整セレクションを使うには、次の操作を行います。



**注:** マスクを使って、複数の部分を調整することができます。詳細は、[「複数の調整セレクションのマスクを使用する」](#)を参照してください。

1. をクリックして、調整セレクションのコントロールを開きます。
2. 調整セレクションのオプションを次のように設定します。
  - **ブラシ/消しゴム:** **[ブラシ]** を選択して、調整する部分 (ピクセル) を選択します。 **[消しゴム]** を選択して、部分 (ピクセル) を選択解除します。
  - **サイズ:** 選択ツールのサイズを設定します。マウス スクロール ホイールを使って、選択ツールの直径を調整することもできます。
  - **インテリジェント:** ブラシを使ってピクセルを選択する場合は、このオプションを有効にします。有効にするとブラシ ストロークを適用する場合、類似するプロパティーを持つすべてのピクセルが選択されます。
  - **ぼかし:** トランジション レベル (選択部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
3. **[ブラシ]** を選択して部分をクリックすると、類似するピクセルの範囲が自動的に選択されます。調整しないピクセルが含まれる場合は、**[消しゴム]** を使って選択解除します。



**注:** 選択する部分にマスクの色が表示されます。詳細は、[「複数の調整セレクションのマスクを使用する」](#)を参照してください。

4. 画像から部分を選択したら、**[シフト]** スライダーで、選択した部分を拡大/縮小します。スライダーを左にドラッグすると縮小し、右にドラッグすると拡大します。
5. スライダーを使って、**[ホワイト バランス]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ホワイト バランス」](#)を参照してください。

6. スライダーを使って、**[色調]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「色調」](#) を参照してください。
7. スライダーを使って、**[HSL/カラー]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「HSL/カラー」](#) を参照してください。
8. スライダーを使って、**[ディテール]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ディテール」](#) を参照してください。



**注:** 必要に応じて、ブラシ ツール下の  ボタンをクリックして、選択したピクセルを反転します。選択すると、選択部分以外に調整が適用されません。

9. **[完了]** をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## 複数の調整セレクションのマスクを使用する

最大 5 つの選択した調整を画像に適用することができます。部分を選択し、調整オプションを変更する場合、色付きのマスクが自動的に作成されます。

マスク ラベルは、ブラシ パネルの **[マスク]** のドロップダウンに表示されます。



新しい調整マスクを作成するには、次の操作を行います。

1. **[マスク]** ドロップダウンから **[新規]** を選択して、新しいマスクを作成します。



2. 部分を選択し、スライダーを使って調整を行います。
3. **[マスク]** ドロップダウンから別の色を選択すると、その色のマスクが付け

られます。



4. 各マスクの上に、カラー ラベルが付けられます。



**注:**画像からマスクを削除するには、カラー ラベルの点をクリックして、キーボードの [Delete] キーを押します。

5. カラー ラベルをクリックしてマスクを選択すると、調整が適用される部分 (ピクセル) が表示されます。

## グラデーション マスクを使用する

グラデーション マスクを使って、広範囲にグラデーションを適用することができます。

グラデーション マスクを使うには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、[グラデーション マスク] ツールを開きます。

2. 画像をクリック&ドラッグして、グラデーションの部分を実用します。適用する部分にマスクの色が表示されます。



**注:**グラデーション マスク オプションの調整を開始すると、マスクの色は消えます。詳細は、[「複数のグラデーション マスクを使用する」](#)を参照してください。

3. スライダーを使って、**[ホワイト バランス]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ホワイト バランス」](#)を参照してください。
4. スライダーを使って、**[色調]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「色調」](#)を参照してください。
5. スライダーを使って、**[HSL/カラー]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「HSL/カラー」](#)を参照してください。
6. スライダーを使って、**[ディテール]** を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ディテール」](#)を参照してください。
7. **[完了]** をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## 複数のグラデーション マスクを使用する

最大 5 つのグラデーション マスクを設定することができます。調整オプションを変更して、グラデーション マスクを使う場合、色付きのマスクが自動的に作成されます。

マスク ラベルは、グラデーション マスクの **[マスク]** のドロップダウンに表示されます。



新しいグラデーション マスクを作成するには、次の操作を行います。

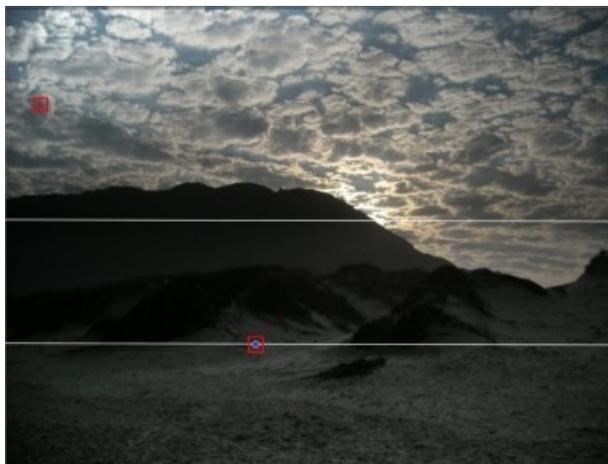
1. **[マスク]** ドロップダウンから **[新規]** を選択して、新しいマスクを作成します。



2. 画像をクリック&ドラッグして、グラデーションの部分を実用します。
3. スライダーを使って調整を行います。
4. **[マスク]** ドロップダウンから別の色を選択すると、その色のマスクが付けられます。

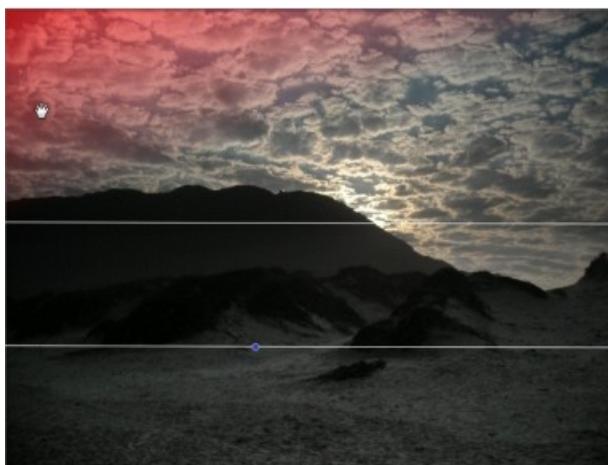
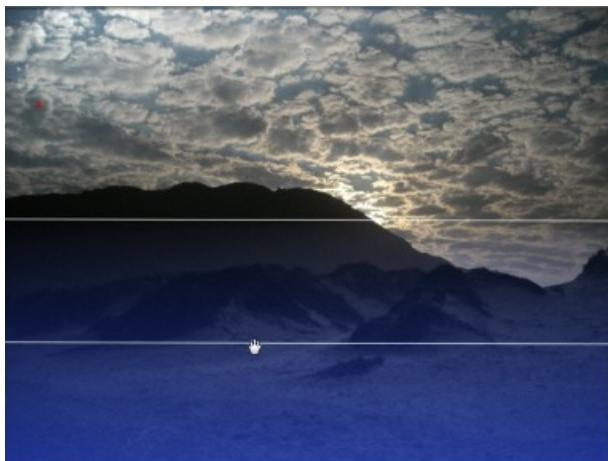


5. 各グラデーション マスクの上に、カラー ラベルが付けられます。



**注:**画像からマスクを削除するには、カラー ラベルの点をクリックして、キーボードの [Delete] キーを押します。

6. カラー ラベルをクリックしてマスクを切り替えると、グラデーションが適用される部分が表示されます。



## 円形フィルターを使用する

円形フィルター\* ツールを使うと、円形のマスク部分に調整を適用することができます。円形フィルターを使って画像の特定部分をハイライトしたり、周辺光量効果を手動で作ることもできます。



**注:** \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

円形フィルターを使うには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、[円形フィルター] ツールを開きます。
2. 画像をクリック&ドラッグすると、ハイライトを付ける部分に円形のマークが配置されます。円形が配置されたら、4つの白い点をクリック&ドラッグして、必要な形に変更します。円形外にある緑色の制御点をクリック&ドラッグすると、回転もできます。円形の中をクリック&ドラッグして、他の場所に移動することもできます。



**注:** 円形部分にマスクの色が表示されます。円形フィルター マスク オプションの調整を開始すると、マスクの色は消えます。詳細は、[「複数の円形フィルター マスクを使用する」](#)を参照してください。

3. スライダーを使って、[ホワイト バランス] を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ホワイト バランス」](#)を参照してください。



**注:** 調整を開始すると、円形の外の部分が調整されます。円形の中の部分に調整を適用するには、 ボタンを選択します。

4. スライダーを使って、[色調] を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「色調」](#)を参照してください。



**注:** [グラデーション] スライダーを使って、円の端のグラデーションのサイズを設定することができます。

5. スライダーを使って、[HSL/カラー] を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「HSL/カラー」](#)を参照してください。
6. スライダーを使って、[ディテール] を調整します。調整オプションに関する詳細は、[「ディテール」](#)を参照してください。
7. [完了] をクリックし調整を完了して、パネルを閉じます。

## 複数の円形フィルター マスクを使用する

円形フィルター マスク (最大 5 つ) を使って、複数の部分にハイライトをつけることができます。円形フィルターの円を作成すると、色つきのマスク ラベルが自動的に作成されます。

マスク ラベルは、円形フィルター マスクの **[マスク]** のドロップダウンに表示されます。



新しい円形フィルター マスクを作成するには、次の操作を行います。

1. **[マスク]** ドロップダウンから **[新規]** を選択して、新しいマスクを作成します。



2. 画像をクリック&ドラッグして、他の場所に円を追加します。
3. スライダーを使って調整を行います。
4. **[マスク]** ドロップダウンから別の色を選択すると、その色のマスクが付けられます。



5. 各円形フィルター マスクの上に、カラー ラベルが付けられます。



**注:**画像からマスクを削除するには、カラー ラベルの点をクリックして、キーボードの [Delete] キーを押します。

6. カラー ラベルをクリックしてマスクを切り替えると、円形フィルターが適用される部分が表示されます。





## 部分調整オプション

部分調整 (調整ブラシ、調整セレクション、グラデーション マスク) を使用時に、次のオプションが設定できます。

### ホワイト バランス

- **色温度**: 選択した範囲の色温度を調整します。マイナスの色温度は寒色で、プラスの色温度は暖色になります。
- **色かぶり**: 選択した範囲のカラー レベルを調整します。

### 色調

- **露光量**: 露光過度または露光不足の部分を調整します。露光過度の場合はスライダーを左に、露光不足の場合はスライダーを右に移動します。
- **明度**: 部分的に明度を調整します。
- **コントラスト**: コントラストを調整します。主に中間調で効果が現れます。

- **明瞭度**:明瞭度を調整します。
- **自然な彩度**:部分をさらに明るく、ビビッドな色に補正します。
- **彩度**:部分的に彩度を調整します。

## HSL/カラー

HSL/カラーのオプションに関する詳細は、[「HSL/カラー」](#) を参照してください。

## ディテール

### シャープネス

- **適用量**:画像に適用するシャープネスの適用量を調整します。

### ノイズ軽減

部分的にシャープネスを適用すると、画像のノイズが目立つ場合があります。ノイズを軽減するには、次のように調整します。

- **輝度**:色の明るさをわずかに調整して、輝度ノイズになる不要な点を軽減します。
- **ディテール**:輝度ノイズを軽減時に失われたディテールを調整/回復します。
- **テクスチャー**:輝度ノイズを軽減時に失われたテクスチャーを調整/回復します。
- **カラー**:色の彩度をわずかに調整して、カラー ノイズになる不要な点を軽減します。
- **ディテール**:カラー ノイズを軽減時に失われたディテールを調整/回復します。

# 全体調整ツール

全体調整ツールを使うと、画像全体を変更することができます。全体調整ツールで利用できる機能は、次の通りです。

- [ホワイトバランス](#)
- [色調](#)
- [HDR エフェクト](#)
- [レベル](#)
- [カーブ](#)
- [HSL/カラー](#)
- [白黒ミックス](#)
- [明暗別色補正](#)
- [ディテール](#)
- [レンズ補正](#)

## ホワイト バランス

[ホワイト バランス] を使って、ホワイト バランスを調整します。

ホワイト バランスを調整するには、次の操作を行います。

1. **[色温度]** スライダーで、色温度を調整します。マイナスの色温度は寒色で、プラスの色温度は暖色になります。
2. **[色かぶり]** スライダーで、色かぶりを調整します。

ホワイト バランスを使って色を補正するには、次のいずれかを行います。

-  をクリックして、スポイトで画像中のピクセル (グレーと思われる部分) を選択します。



色が自動的に補正されます。

- ドロップダウンから **[自動]** を選択すると、ホワイト バランスが自動的に補正されます。



**注:** ホワイト バランスを元の画像の色に戻すには、ドロップダウンから [元画像] を選択します。

## RAW 画像のホワイト バランス

RAW 画像形式では、複数のホワイト バランスのプリセットが利用できます。



リストからプリセットを選択すると、ホワイト バランスが自動的に補正されま

す。

## 色調

調整パネルの [色調] では、画像全体の色調を調整します。[色合い] では、明瞭度、自然な彩度、彩度の度合いを調整します。調整の度合いによってヒストグラムの値が変化します。

色調レベルを調整するには、次の操作を行います。

1.  をクリックすると、色調が自動的に調整されます。
2. スライダーを使って、色調を次のように手で調整します。
  - **露光量**:露光過度または露光不足の画像を調整します。露光過度の場合はスライダーを左に、露光不足の場合はスライダーを右に移動します。
  - **コントラスト**:コントラストを調整します。主に中間調で効果が現れます。
  - **明るい (強)**:白に近い色を明るく/暗く表示します。明るい色を暗くすることで、コントラストを強調し、ハイライトがより目立つようになります。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、ハイライトのクリッピングを軽減します。右にドラッグすると明るくなり、白に近くなります。
  - **明るい**:露光過度で失われた部分および明るい部分のディテールを回復します。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、ハイライトで失われたディテールを回復します。右にドラッグすると明るくなります (より明るい部分をクリッピングすることなく)。
  - **中間調**:画像全体の明るさを調整します。中間調の色のみが変更されます。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、右にドラッグすると明るくなります。
  - **暗い**:シャドウおよび露光不足の部分を明るくして、暗い色の部分を補正します。スライダーを左にドラッグすると暗くなります (シャドウをクリッピングすることなく)。右にドラッグすると暗くなり、シャドウで失われたディテールを回復します。

- **暗い (強)**:黒に近い色を明るく/暗く表示します。暗い色を明るくすることで、コントラストを強調し、シャドウがより目立つようになります。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、暗い色がクリッピングされます。右にドラッグすると明るくなり、シャドウのクリッピングが軽減します。
3. 手動でスライダーをドラッグして、色合いを調整します。
- **明瞭度**:明瞭度を調整します。右にドラッグするとよりはっきりと、左にドラッグするとよりソフトに表示されます。
  - **自然な彩度**:画像をさらに明るく、ビビッドな色に補正します。
  - **彩度**:彩度を調整します。左にドラッグすると白黒になり、右にドラッグすると彩度が高まります。

## HDR エフェクト

調整パネルの [HDR エフェクト] では、HDR エフェクト\* を画像に適用します。



**注**:\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

HDR (ハイ ダイナミック レンジ) エフェクトを使って、エッジの明暗範囲を調整します。露出中の明るさコントラストによって失われたディテールを回復します。このエフェクトを使って、画像に印象的な色調を加えることもできます。



**注**:複数の画像を異なる露出で撮影し、リアルな HDR 画像を作成するには、[編集] モジュールを使います。詳細は、[「ブラケット HDR」](#)を参照してください。

## グロー

[グロー] スライダーを使って、コントラスト エッジに HDR グロー エフェクトまたは「ハロー」エッジを適用します。

- **強度**:画像に適用する HDR グロー エフェクトの適用量を調整します。
- **半径**:画像に適用する HDR グロー エフェクトの半径、またはエッジ コント

ラストの適用量を調整します。

- **バランス:**HDR グロー エフェクトのバランス (適用部分) を調整します。スライダーを右にドラッグすると、エッジのより明るい部分 (ハイライト) に適用されます。左にドラッグすると、エッジのより暗い部分 (シャドウ) に適用されます。

## エッジ

[エッジ] スライダーを使って、コントラスト エッジに HDR エフェクトを適用します。

- **強度:**画像に適用する HDR エッジ エフェクトの適用量を調整します。右にドラッグすると、コントラスト エッジがよりはっきりと表示されます。左にドラッグすると、ぼやけて表示されます。
- **半径:**画像に適用する HDR エッジ エフェクトの半径、またはエッジ コントラストの適用量を調整します。
- **バランス:**HDR エッジ エフェクトのバランス (適用部分) を調整します。スライダーを右にドラッグすると、エッジのより明るい部分 (ハイライト) に適用されます。左にドラッグすると、エッジのより暗い部分 (シャドウ) に適用されます。

## レベル

[調整] パネルの [レベル]\* セクションでは、カラー レベルを調整して、画像の色を再定義します。プリセットまたは手動でヒストグラムを調整します。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

プリセットで色を再定義するには、**[レベルプリセット]** のドロップダウンから、最適なプリセットを選択します。

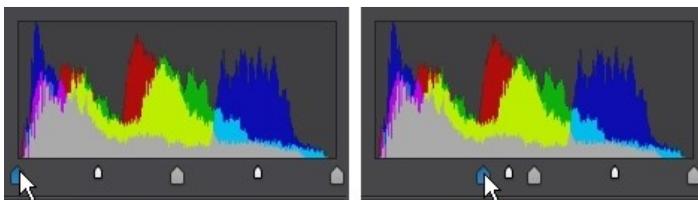
手動で画像の色を再定義するには、次の操作を行います。

1. 調整するカラー チャンネルのレベルを **R** (レッド)、**G** (グリーン)、**B** (ブルー) から選択します。**[RGB]** を選択すると、3 つのレベルが一度に調整されます。



**注:** 白黒画像の場合は、輝度または全体の明度のみを調整することができます。

2.  をクリックして、中間調のコントロールを表示します。
3. スライダーをドラッグして、カラー レベルを調整します。



**注:** 上記の例では、いくつかのピクセルが 0 の値であるかを再定義して、色を変更されます。

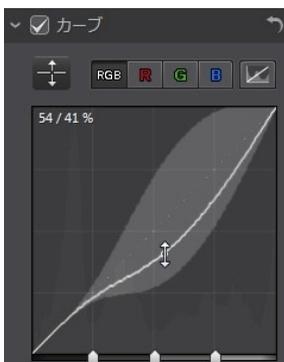
スライダーを左、右にドラッグすると暗い色で表示されます。スライダーを左にドラッグすると、明るい色で表示されます。

## カーブ

[カーブ]\* セクションでは、トーン カーブ グラフとコントロールを使って色調スケールや全体のコントラストを変更することができます。



**注:** \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。



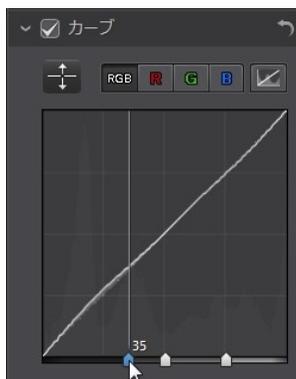
調整するカラー チャンネルの色調スケールを **R** (レッド)、**G** (グリーン)、**B** (ブルー) から選択します。**[RGB]** を選択すると、3 つの色調スケールが一度に調整されます。

カーブをクリックして上下にドラッグするか  ツールを使うと、特定の色調範囲で調整することができます。カーブ/ツールを下にドラッグすると、暗い色で表示されます。上にドラッグすると、明るい色で表示されます。



**注:**  ボタンをクリックすると、カーブをデフォルトの設定にリセットすることができます。

カーブを変更時に影響を受ける色調範囲を制限する場合、**[色調範囲]** のチェックボックスを選択します。トーン カーブ グラフ下の範囲コントロール スライダーをドラッグして、カーブの形と画像全体の色調スケールを微調整することができます。



**[色調範囲]** スライダーを使って、カーブに調整を行うこともできます。

- **ハイライト**:カーブの上部に影響し、露光過度で失われた部分および明るい部分のディテールを回復します。
- **ライト**:主にカーブの中央上部に影響し、より明るい画素の色調を調整します。
- **ダーク**:主にカーブの中央下部に影響し、より暗い画素の色調を調整します。
- **シャドウ**:カーブの下部に影響し、シャドウ部および露光不足の部分を明るくして、暗い色の部分を補正します。

カーブの範囲を自由に変更するには、**[色調範囲]** のチェックボックスを選択解除します。選択解除したら、好みに合わせてカーブを動かして、色調を調整します。

## HSL/カラー

[HSL/カラー] セクションでは、[色相]、[彩度]、[明度] を調整して、色を微調整します。2つの異なる方式で色が調整されますが、ほぼ同じ結果が表示されず。



**注:** 選択した画像を白黒に変換した場合は、[HSL/カラー] セクションは [白黒] と表示されます。白黒画像の明度調整に関する詳細は、[「白黒ミックス」](#) を参照してください。

## HSL

調整パネルの [HSL/カラー] セクションを開くと、HSL コントロールが表示されます。



スライダーを使うと、画像全体の色相、彩度、明度を同時に調整することができます。

### 色相

[色相] をクリックして、影または特定の色のレベルを微調整します。スライダーをドラッグして、8 色の範囲を調整します。

ツールを使って、特定の色を調整することもできます。 をクリックしてツールを有効にし、その色をクリック (マウスを下に押しながら)&ドラッグします。マウスを上ドラッグすると色相が上がり、下にドラッグすると下がります。

## 彩度

**[彩度]** をクリックして、彩度を調整します。スライダーを右にドラッグすると色の適用量が増え、左にドラッグすると下がります。スライダーを左端にドラッグすると、その色はなくなります。

 ツールを使って、特定の色を調整することもできます。 をクリックしてツールを有効にし、その色をクリック (マウスを下に押しながら)&ドラッグします。マウスを上ドラッグすると彩度が上がり、下ドラッグすると下がります。

## 明度

**[明度]** をクリックして、色の明るさを調整します。8色のスライダーを使って、特定の色を明るく/暗くします。

 ツールを使って、特定の色を調整することもできます。 をクリックしてツールを有効にし、その色をクリック (マウスを下に押しながら)&ドラッグします。マウスを上ドラッグすると明度が上がり、下ドラッグすると下がります。

## カラー

カラーパレットを使って、特定の色の色相、彩度、明度を調整することもできます。**[カラー]** をクリックして、カラーパレットとスライダーを表示します。



パレットのカラーを選択してから、色相、彩度、明度を調整します。スライダの調整方法は、上の HSL の説明を参照してください。[HSL] をクリックすると、HSLのスライダーに戻ります。

## 白黒ミックス

ヒストグラムで画像を白黒に変換すると、[HSL/カラー] セクションが [白黒] セクションに変わります。ここでは、変換した画像のグレースケール レベルまたは全体の明度を調整することができます。



グレースケール レベルを変更するには、[明度] スライダーで、元の色の明るさを調整します。

 ツールを使って、特定の色 (グレーの影) を調整することもできます。 をクリックしてツールを有効にし、その色をクリック (マウスを下に押しながら) & ドラッグします。マウスを上ドラッグすると明度が上がり、下ドラッグすると下がります。

## 明暗別色補正

[調整] パネルの [明暗別色補正]\* セクションでは、クリエイティブなエフェクト (ロモ エフェクトなど) を生成することができます。カラーを加えてモノクロの画像を作成することもできます。



注: \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

[明暗別色補正] には、次のコントロールがあります。

## ハイライト

ハイライト (最も明るい部分) の色相と彩度を調整します。

- **色相**: ハイライトの色相またはカラーを設定します。  をクリックして、スポイトでハイライトに使われる色 (色相、彩度共) を選択することもできます。
- **彩度**: 彩度のレベルを設定します。スライダーを右にドラッグすると彩度が高くなり、左にドラッグすると低くなります。

## バランス

- **[バランス]** スライダーを使って、ハイライトとシャドウに適用された明暗別色補正エフェクト間のバランスを設定します。スライダーを左にドラッグすると **[シャドウ]** スライダーの影響が強くなり、右にドラッグすると **[ハイライト]** スライダーの影響が強くなります。ハイライトとシャドウのバランスを平均にするには、**[バランス]** スライダーの値を 0 にします。

## シャドウ

シャドウ (最も暗い部分) の色相と彩度を調整します。

- **色相**: シャドウの色相またはカラーを設定します。  をクリックして、スポイトでシャドウに使われる色 (色相、彩度共) を選択することもできます。
- **彩度**: 彩度のレベルを設定します。スライダーを右にドラッグすると彩度が高くなり、左にドラッグすると低くなります。

## ディテール

ディテール部分のシャープネスを調整することができます。エッジにシャープネスを適用し、画像のディテールを強調します。

## 拡大ツール

拡大ツールを使って、指定する部分のシャープネスを確認します。拡大部分を変更するには、拡大ツールをクリックして、希望の部分までドラッグします。



拡大したい部分が表示部分と異なる場合は、 をクリックして表示部分を変更することもできます。その後、拡大したい部分をクリックします。

## シャープネスを変更する

シャープネスを変更するには、次のように調整します。

- **適用量:** 画像に適用するシャープネスの適用量を調整します。
- **半径:** エッジに適用するシャープネスの半径または範囲を調整します。



**注:** 半径マスクを表示するには、**[影響する部分を表示]** を選択します。チェックを入れてスライダーをドラッグすると、シャープネスが適用される範囲が確認できます。

- **エッジ マスク:** 検出されたエッジにマスクを適用します。マスクを適用すると、マスク部分のみにシャープネスが適用され、周りの部分には適用されません。



**注:**エッジ マスクを表示するには、**[影響する部分を表示]** を選択します。チェックを入れてスライダーをドラッグすると、検出されたエッジが確認できます。

## ノイズ軽減

シャープネスおよび他の調整を行うことで、画像のノイズが目立つ場合があります。 ボタンをクリックして、画像中のノイズを除去します。ノイズを軽減するには、次のスライダーを使います。

- **輝度:**色の明るさをわずかに調整して、輝度ノイズになる不要な点を軽減します。
- **ディテール:**輝度ノイズを軽減時に失われたディテールを調整/回復します。
- **テクスチャー:**輝度ノイズを軽減時に失われたテクスチャーを調整/回復します。
- **カラー:**色の彩度をわずかに調整して、カラー ノイズになる不要な点を軽減します。
- **ディテール:**カラー ノイズを軽減時に失われたディテールを調整/回復します。

## レンズ補正

[調整] パネルの [レンズ補正] セクションでは、[自動レンズ補正] を使って歪んだ画像を補正したり、手動で補正することができます (キーストーン エフェクト、魚眼歪み、周辺光量効果が含まれる場合)。必要に応じて、カスタムの周辺光量効果を追加することもできます。

## 自動レンズ補正

カメラで撮影された多くの画像に歪みがある場合、[自動レンズ補正]\* 機能を使って補正することができます (カメラのモデルおよびレンズに対応している場合)。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

[自動レンズ補正] を使うには、次の操作を行います。

1. フォト ブラウザー パネルから補正する画像を選択して、**[補正を有効化]** を選択します。
2. デフォルトでは、画像のメタデータが読み込まれ、自動的にドロップダウンから選択され、補正が適用されます。



**注:**ドロップダウンに **[なし]** が表示される場合、レンズに対応する補正プロファイルがないことを意味します。カメラのレンズ プロファイル検索に関する詳細は、[「DirectorZone からレンズ プロファイルをダウンロードする」](#) を参照してください。

3. 検出されたレンズが間違っている場合、他の **[メーカー]**、**[レンズ]**、**[プロファイル]** を手動で選択することもできます。



**注:**  ボタンをクリックすると、再度レンズ検出が行われ、ドロップダウンで行った変更はすべてリセットされます。

## DirectorZone からレンズ プロファイルをダウンロードする

CyberLink PhotoDirector に使用するカメラのレンズ プロファイルがない場合、 ボタンをクリックして DirectorZone から他のレンズ プロファイルをダウンロードすることができます。

ダウンロードが完了したら  ボタンをクリックして読み込みを行い、 をクリックしてプロファイルを更新します。読み込んだプロファイルが検出され、選択された画像が補正されます。

## キーストーン

[キーストーン] セクションでは、画像の遠近を補正することができます。画像が不適切な角度で撮影された場合に、スライダーを使って調整します。

スライダーを使って、遠近を次のように調整します。

- **垂直**: 垂直の遠近を調整します。対象物の上下から撮影された場合 (カメラが上下に傾いている場合など) に使用します。
- **水平**: 水平の遠近を調整します。対象物の左右から撮影された場合に使用します。

## 魚眼歪み

[魚眼歪み] セクションでは、歪んだ画像を補正することができます。[歪み] スライダーをドラッグすると、丸い歪みは補正され、中央から離れる線は直線に表示されます。例えば、左にドラッグすると中央に向かって丸みを帯びて表示されません。

## 色収差

[色収差] セクションでは、明暗を分離する境界に沿って、色の歪みやフリッジを除去することができます。これらのフリッジは、カメラ レンズがこれらの境界にあるすべての色にうまく焦点が合っていない場合に発生します。

スライダーを使って、色収差を次のように調整します。

- **ブルー/イエロー**: スライダーを左にドラッグすると、青に近い色のフリッジを除去します。右にドラッグすると、黄色に近い色のフリッジを除去します。
- **レッド/シアン**: スライダーを左にドラッグすると、赤に近い色のフリッジを除去します。右にドラッグすると、青緑色に近い色のフリッジを除去します。

## 周辺光量補正

次のスライダーを使って、カメラ レンズまたは光線環境による不要な周辺光量効果を補正します。

- **適用量**: 周辺光量の補正レベルを調整します。

- **中点:** スライダーを左にドラッグすると、周辺光量補正の適用部分が中心に向かって大きくなります。右にドラッグすると、端に向かって小さくなります。

## 周辺光量効果

カスタムの周辺光量効果を適用することができます。



**注:** 周辺光量効果のスライダーでも、不要な周辺光量効果を補正することができます。

- **影:** 周辺光量効果の影を調整します。スライダーを左にドラッグすると画像の端の部分が黒くなり、右にドラッグすると白くなります。
- **サイズ:** 周辺光量効果のサイズを調整します。スライダーを左にドラッグすると、周辺光量効果のサイズが画像の中心部分に近づきます。
- **丸み:** 周辺光量効果の全体の形を調整します。
- **ぼかし:** 周辺光量効果のエッジのシャープネスを調整します。スライダーを左にドラッグすると境界線がはっきりと表示され、右にドラッグするとぼかしの度合いが強くなります。

## 調整をコピーする

画像への調整を適用したら、すべての調整を他の画像にコピーすることができます。この機能は、同じ光線環境で撮影し、同様の調整をしたい画像が複数ある場合に便利です。

ライブラリー中の他の画像に調整をコピーおよび適用するには、次の操作を行います。

1. 調整パネル下の **[コピー]** をクリックします。
2. [調整のコピー] ウィンドウで、調整内容を選択または選択解除します。必要に応じて、コピーした調整をカスタマイズすることができます。

3. **【コピー】** ボタンをクリックします。
4. フォト ブラウザー パネルで、調整を適用するすべての画像を閲覧、選択します。
5. 調整パネル下の **【貼り付け】** ボタンをクリックすると、選択した画像に調整内容が適用されます。

## 調整プリセットを使用する

調整プリセットは、画像に適用可能な調整セット (保存されたもの) です。

DirectorZone から他のユーザーが作成したプリセットをダウンロード、読み込んだり、自分が作成したプリセットを保存して他の画像に適用したり、アップロードして共有したりすることができます。

**【プリセット】** タブを選択して、調整プリセットを表示します。



プリセットを参照中に  をクリックすると、現在選択している画像にそれぞれのプリセットのサムネイルプレビューが表示されます。  をクリックして、リストビューでプリセットを表示することもできます。

## DirectorZone からプリセットをダウンロードする

CyberLink や他の PhotoDirector のユーザーが作成した調整プリセットを DirectorZone からダウンロードすることができます。

DirectorZone から他の調整プリセットをダウンロードするには、次の操作を行います。

1.  をクリックします。DirectorZone がデフォルトの Web ブラウザーで開きます。
2. テンプレートをダウンロードするには、DirectorZone にサインインする必要があります。アカウントがない場合は、ページ上の **[アカウント作成]** のリンクをクリックして登録します。
3. **[PhotoDirector]** タブを選択して、ダウンロード可能な調整プリセットを表示します。
4. ダウンロードするプリセットの下の **[ダウンロード]** リンクをクリックします。
5. もう一度 **[ダウンロード]** をクリックします。
6. テンプレートをコンピューターに保存します。プリセット (.pdadj ファイル) を保存する場所を検索し、ダブルクリックして、**[プリセット]** ウィンドウにインストールします。

## マイ DirectorZone プリセット

[マイ DirectorZone] ウィンドウでは、DirectorZone にアップロードされている

カスタムのプリセットをダウンロードできます。DirectorZone のダウンロード履歴にあるプリセットやお気に入りのプリセットにアクセスしたり、ダウンロードすることもできます。

[マイ DirectorZone] のプリセットをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. [プリセット] タブの  をクリックします。
2. [マイ DirectorZone] タブをクリックします。
3. [マイ アップロード]、[ダウンロード履歴]、[お気に入り] や、検索キーワードを入力してプリセットをフィルターにかけます。
4. ダウンロードするすべてのプリセットを選択します。
5. [ダウンロード] をクリックしてコンピューターにダウンロードし、[プリセット] のライブラリーに読み込みます。



**注:**ダウンロードしたプリセットは、[プリセット] タブの **[ダウンロードしたプリセット]** セクションに配置されます。

## サイバーリンク クラウドからプリセットをダウンロード する

サイバーリンク クラウドの契約ユーザーは、サイバーリンク クラウド\* にバックアップされているプリセットをダウンロードすることができます。ダウンロードすると、これらのプリセットは [「サイバーリンク クラウドの基本設定」](#) で指定するダウンロード フォルダーに保存され、[プリセット] タブのプリセット ライブラリーにインポートされます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

サイバーリンク クラウドからプリセットをダウンロードするには、次の操作を行

います。

1. [プリセット] タブの  をクリックします。
2. **[マイ サイバーリンク クラウド]** タブをクリックします。
3. ドロップダウンからコレクションを選択するか、検索キーワードを入力してプリセットをフィルターにかけます。
4. ダウンロードするすべてのプリセットを選択します。
5. **[ダウンロード]** をクリックしてコンピューターにダウンロードし、プリセット ライブラリーに読み込みます。



**注:**ダウンロードしたプリセットは、[プリセット] タブの **[ダウンロードしたプリセット]** セクションに配置されます。

## カスタム プリセットを保存する

画像に適用した調整をカスタムのプリセットに保存し、他の画像にもそのプリセットを利用することができます。

カスタムの調整プリセットを保存するには、次の操作を行います。

1. [プリセット] タブの  をクリックするか、**[手動]** タブ下の **[保存]** をクリックします。
2. 新規プリセットのウィンドウには、次の情報を入力します。
  - **名前:**新しいプリセットの名前を入力します。
  - **保存先:**[プリセット] タブからプリセットを保存するフォルダーを選択します。カスタムのプリセットを新しいフォルダーに保存する場合は、**[新規フォルダー]** を選択します。
3. 必要に応じて、調整内容を選択/選択解除します。必要に応じて、調整をカスタマイズすることができます。
4. **[保存]** ボタンをクリックします。



**注:**プリセットを DirectorZone にアップロード、またはサイバーリンク クラウドにバックアップするには、**[アップロード]** ボタンをクリックします。プリセットをアップロードする方法は、[「プリセットを共有、バックアップする」](#)を参照してください。

## 画像にプリセットを適用する

[プリセット] ウィンドウの調整プリセットをライブラリー中の画像に適用することができます。

画像に調整プリセットを適用するには、次の操作を行います。

1. フォト ブラウザー パネルからプリセットを適用する画像を選択して、**[プリセット]** タブをクリックします。
2. プリセットの上にマウスを置くと、画像に調整が適用された状態でプレビューできます。
3. 使用する調整プリセットをクリックして適用します。

## プリセットを共有、バックアップする

DirectorZone にカスタマイズしたプリセットをアップロードして、CyberLink PhotoDirector の他のユーザーと共有することができます。サイバーリンク クラウドの契約ユーザーは、カスタマイズしたプリセットをサイバーリンク クラウド\* にバックアップすることができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

プリセットを共有、バックアップするには、次の操作を行います。

1. 次のいずれかを行います。
  - [新規プリセット] ウィンドウにカスタム プリセットの名前を入力して、**[アップロード]** をクリックします。
  - [プリセット] タブの **[自分が作成したプリセット]** セクションからプリセットを選択して、 をクリックします。

- [プリセット] タブの [**自分が作成したプリセット**] セクションのプリセットを右クリックして、[DirectorZone/サイバークラウドにアップロード] を選択します。
2. アップロード ウィンドウで、次のように情報を入力します。
    - **アップロード先**:プリセットのアップロード先を選択します。
    - **プリセット名**:アップロード後に表示されるプリセットの名前を入力します。
    - **このプリセットのスタイル**:プリセットのスタイルまたはカテゴリーを選択します。
    - **説明**:プリセットの説明を入力します。
    - **コレクション**:プリセットに追加するコレクションの名前を入力します。
    - **タグ**:プリセット検索用のキーワード検索タグを入力します。



**注**:複数のタグを入力する場合、スペースで区切ります。2 つの単語をタグとして入力するには、" " を使って囲みます。(例: "dollar bill")。

3. [**次へ**] をクリックして続行します。



**注**:DirectorZone にサインインしない場合、サインインのページが表示されます。

4. 著作権情報を確認したら、[**次へ**] をクリックしてアップロードを開始します。
5. [**閉じる**] をクリックして、アップロード ウィンドウを閉じます。

## プリセットを書き出し/読み込む

調整プリセットを書き出して、別のコンピューターに読み込むことができます。調整プリセットを書き出すには、次の操作を行います。

1. プリセットを右クリックして、[**書き出し**] を選択します。

2. プリセットのファイル名を入力して、書き出し先を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。プリセットは .pdadj ファイル形式で保存されます。

調整プリセットを読み込むには、次の操作を行います。



**注:** .pdadj ファイル形式の調整プリセットのみ読み込むことができます。DirectorZone からダウンロードした .pdadj 形式の調整プリセットは、ダブルクリックすることで読み込むことができます。

1. [ダウンロードしたプリセット] または [自分が作成したプリセット] セクションで、 をクリックして **[読み込み]** を選択します。
2. プリセット ファイルの保存先を検索して、**[開く]** を選択して読み込みを行います。

## 履歴を表示する

フォト ビューア一下の  ボタンをクリックすると、画像に適用したすべての調整/編集内容が表示されます。

履歴の項目上にマウスを置くと、サムネイル画像にその時の状態が表示されます。

必要に応じて履歴項目を選択すると、調整/編集前の状態に戻ります。**[適用]** をクリックして、[履歴] ウィンドウを閉じます。

## 調整をオン/オフにする

画像に適用した調整をオフにすることができます。**[リセット]** をクリックすると適用した調整がすべてリセットされますが、このオプションでは調整のうちの 1 つがリセットされます。

特定の調整のチェック ボックスを選択解除することで、調整がオフになります。



チェック ボックスを選択し直すと、調整がオンになります。



**注:**  ボタンをクリックして、調整セットをデフォルト値にリセットすることもできます。

## 第 6 章:

# 編集

この章では、[編集] モジュールの機能について説明します。このモジュールでは、[ビューティーメイク] ツールで顔を補正したり、エフェクトを追加したり、オブジェクトや背景を除去したり、画像を結合してパノラマや HDR 画像を作成したり、画像、フレーム、透かしを追加したりすることができます。[編集] ボタンをクリックして、編集を開始します。



**注:**[編集] モジュールを開くと、画像の仮想コピーが作成されます。前に行った調整はこのコピーに適用され、さらにシームレスな編集が可能です。仮想コピーを調整しても、元の画像ファイルは **編集されません**。編集を適用するにはウィンドウの **[保存先]** ボタンをクリックするか、新しい画像として書き出すか、共有/プリントを行う必要があります。編集した画像の書き出しに関する詳細は、[「画像を書き出す方法」](#) を参照してください。

編集処理中に、次の操作が行えます。

- をクリックすると、元の画像が表示されます。
- をクリックして、[履歴] に画像の編集ログを表示します。詳細は、[「履歴を表示する」](#) を参照してください。
- [編集] パネル下の **[クリア]** をクリックすると、現在のウィンドウで行った未保存の変更がすべてクリアされます。ここでは、[編集] ウィンドウに入る前に行った調整、または他の [編集] 機能で行った編集内容はクリアされません。

## ビューティーメイク

[ビューティーメイク]\* セクションでは、[\[ポディーシェイパー\]](#)、[\[スキンツール\]](#)、[\[フェイスツール\]](#) で人物の調整を行うことができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、[当社 Web サイトのバージョン表](#)を参照してください。

## フェイス ツール

[フェイス ツール] オプションをクリックすると、[\[小顔\]](#) で顔をほっそりさせたり、[\[テカリ消し\]](#)、[\[アイ ツール\]](#)、[\[しわ消し\]](#)、[\[歯ブラシ\]](#) を使って美顔効果をつけることができます。



**注:**[フェイス ツール] パネルの各タブを開くと、自動的に美顔効果が適用されます。[\[元に戻す\]](#) ボタンをクリックすると、[フェイス ツール] タブに入った最初の状態に戻ります。

1 枚の画像から 2 つ以上の顔が検出された場合、編集する顔を選択して、美顔効果を適用します。他の人の顔を編集するには、 をクリックして選択します。

完了したら [\[保存先\]](#) ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

### 小顔

[小顔] ツールを使うと、顔をほっそりとさせることができます。[小顔] ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2. [\[パーツ ポイントの表示\]](#) オプションを選択すると、顔の輪郭にポイントが表示されます。必要な場合、顔の輪郭、パーツに合わせてポイントを移動させます。
3. [\[強度\]](#) スライダーで小顔レベルを調整します。右にドラッグするとほっそりと、左にドラッグするとより丸くなります。

### テカリ消し

[テカリ消し] ツールを使うと、顔のテカリを除去することができます。[テカリ消し] ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。

2. **【パーツ ポイントの表示】** オプションを選択すると、顔のパーツポイント（目、鼻、口、あご、頬）が表示されます。必要な場合、顔の輪郭、パーツに合わせてポイントを移動させます。
3. **【強度】** スライダーでテカリ レベルを調整します。

## アイ ツール

[アイ ツール] を使うと、目を大きくしたり、目の下のくまを消したり、目を明るくしたり、まつ毛や眉毛などを濃くしたりすることができます。[アイ ツール] を使うには、 タブをクリックして、次のオプションを使います。



**注:**[**パーツ ポイントの表示**] オプションを選択すると、目の周りにポイントが表示されます。必要な場合、目の位置に合わせてポイントを移動させます。

### デカ目

[デカ目] ツールを使うと、目を大きくすることができます。**【強度】** スライダーで、目の大きさを調整します。右にドラッグすると目が大きく、左にドラッグすると小さくなります。

### くま消し

[くま消し] ツールを使うと、目の下のくまを除去することができます。**【強度】** スライダーで、除去レベルを調整します。

### アイ ブリンガー

アイ ブリンガーのブラシを使うと、目を明るくしたり、まつ毛、まゆ毛、その他のパーツをはっきりさせることができます。

目を明るくするには、次の操作を行います。

1.  が選択されていることを確認します。
2. [ブラシの設定] では、次のように設定します。

- **サイズ**:ブラシのサイズを設定します。
  - **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**:ホワイトニングの強度を設定します。
  - **エッジに合わせる**:エッジに合わせてホワイトニングを制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
3. 白目部分をクリック&ドラッグして、ブラシ ストロークを適用します。



**注**:ブラシ部分を修正するには、 をクリックして消しゴムを有効にします。マウスを使って、間違っ  
てブラシをかけた部分を消去します。

目の黒い部分を強調するには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、アイラッシュ/アイブロウ ブラシを選択します。
2. [ブラシの設定] では、次のように設定します。
  - **サイズ**:ブラシのサイズを設定します。
  - **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**:強度または濃さを設定します。
  - **エッジに合わせる**:エッジに合わせて濃さを制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
3. 暗くする部分をクリック&ドラッグして、ブラシ ストロークを適用します。



**注**:ブラシ部分を修正するには、 をクリックして消しゴムを有効にします。マウスを使って、間違っ  
てブラシをかけた部分を消去します。

## しわ消し

[しわ消し] オプションを使うと、顔のしわを取り除くことができます。[しわ消し] ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2.  が選択されていることを確認します。
3. **[サイズ]** スライダーで、ブラシのサイズを設定します。
4. しわの部分にブラシをかけます。



**注:** 選択部分を修正するには、 をクリックして消しゴムを有効にします。マウスを使って、間違っ  
てブラシをかけた部分を消去します。

5. 完了したら、**[次へ]** をクリックします。
6. 選択した部分をクリックして、なめらかな肌の部分（しわのない部分など）にドラッグします。
7. **[サイズ]** スライダーでサイズを調整して、しわをカバーします。



**注:** 上の手順を繰り返して、他のしわも取り除きます。一度に複数の部分を選択することもできます。

## 歯ブラシ

歯ブラシを使うと、歯にホワイトニング効果をつけることができます。歯ブラシを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2.  が選択されていることを確認します。
3. **[ブラシの設定]** では、次のように設定します。

- **サイズ**:ブラシのサイズを設定します。
  - **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**:ホワイトニングの強度を設定します。
  - **エッジに合わせる**:エッジに合わせてホワイトニングを制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
4. 歯をクリック&ドラッグして、ブラシ ストロークを適用します。



**注**:ブラシ部分を修正するには、 をクリックして消しゴムを有効にします。マウスを使って、間違っ  
てブラシをかけた部分を消去します。

## スキン ツール

[**スキン ツール**] オプションをクリックすると、[\[スキン スムーザー\]](#) と [\[スキン トーン\]](#) を使って美肌効果をつけることができます。

完了したら [**保存先**] ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## スキン スムーザー

[**スキン スムーザー**] のオプションを使うと、顔の肌をスムーズに補正することができます。スキン スムーザーのブラシを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2.  が選択されていることを確認します。
3. [**ブラシの設定**] では、次のように設定します。
  - **サイズ**:ブラシのサイズを設定します。

- **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**:スムーズの強度を設定します。
  - **エッジに合わせる**:エッジに合わせてスムーズを制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
4. **[ディテール微調整]** オプションを選択すると、次の 2 つのスライダーが有効になり、スムーズの適用量を調整し、ディテールを調整/回復することができます。
- **スムーズ**:画像のブラシ部分に適用するスムーズの適用量を調整します。
  - **ディテール**:顔をスムーズ時に失われたディテールを調整/回復します。
5. スムーズにする肌部分をクリック&ドラッグして、ブラシ ストロークを適用します。



**注**:ブラシ部分を修正するには、 をクリックして消しゴムを有効にします。マウスを使って、間違っ  
てブラシをかけた部分を消去します。

## スキン トーン

[スキン トーン]\* の機能を使うと、肌の色を調整することができます。[スキン トーン] を使うには、次の操作を行います。



**注**:\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

1.  タブをクリックします。
2.  が選択されていることを確認し、肌の部分を選択します。肌の色が検出され、マスク以外の肌の部分が調整されます。マスク プレビュー ウィンドウでマスク部分を確認できます。



**注:**肌は、マスク プレビュー ウィンドウでは肌色系の色で表示されます。白い部分は、スキン トーンが適用されない部分を示します。

- 必要に応じて、**[許容量]** スライダーでマスク部分を調整します。スライダーを左にドラッグするとマスクの範囲が狭まり、右にドラッグすると広がります。
- 微調整ツールを使うと、マスク部分を手動で調整することができます。



**注:**微調整ツールを使用時に **[ビューアでマスクを表示]** オプションを選択すると、プレビュー ウィンドウでマスクを確認することができます。

- クリーナー ツールを使って、編集しない部分を白くマークします。例えば、歯や淡い色の服などの肌色以外の色をマークします。
  - 回復ツールを使って、前の手順で消してしまった肌の部分をマークします。
  - サイズ:**微調整ツール ブラシのサイズを設定します。
  - ぼかし:**トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - エッジに合わせる:**エッジに合わせて適用部分を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
- 肌の色 (ファンデーション) を選択します。肌の色をカスタマイズするには をクリックして、カラー ピッカーで選択します。
  - スライダーを使って、肌の色を次のように微調整します。
    - 強度:**色の強さを調整します。
    - 温度:**肌色の色温度を調整します。左にドラッグすると寒色に、右にドラッグすると暖色になります。
    - 色かぶり:**色かぶりのレベルを調整します。

## ボディーシェイパー

[ボディーシェイパー] オプションをクリックすると、[\[歪みツール\]](#)、[\[メッシュツール\]](#)、[\[手動メッシュツール\]](#)を使って体の線を修正することができます。

完了したら **[保存先]** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メインメニューに戻ります。

### 歪みツール

[歪みツール] を使うと、部分的にワープしたり、オブジェクトの形を変更したりすることができます。[歪みツール] でオブジェクトをワープするには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。



**注:**[歪みツール] を使う前に、 をクリックして [保護ブラシの追加] を有効にし、使用することができます。保護する部分または歪みツールのエフェクトを付けない部分にブラシをかけます。**[サイズ]** スライダーでブラシのサイズを設定して、保護する部分にブラシをかけます。**[マスクを表示]** オプションを選択すると、ブラシをかけた部分が表示されます。 ボタンをクリックして、保護しない部分を消去します。

2.  ボタンをクリックして、マウスをドラッグして部分的にワープします (動く方向に周りのピクセルをドラッグ)。**[サイズ]** スライダーで、歪みのサイズを設定します。**[強度]** スライダーで、マウスドラッグ時の歪み度を変更します。
3.  ボタンをクリックして、マウスをドラッグして部分的に縮めるか、くぼみを付けます。**[サイズ]** スライダーで、歪みのサイズを設定します。**[強度]** スライダーで、マウスドラッグ時の歪み度を変更します。
4.  ボタンをクリックして、マウスをドラッグして膨張させます。**[サイズ]** スライダーで、歪みのサイズを設定します。**[強度]** スライダーで、マウス

ス ドラッグ時の歪み度を変更します。

5. 画像に適用した歪み部分を削除するには、リカバー ブラシを使うことができます。 ボタンをクリックして、歪みを回復/削除する部分にブラシをかけます。**[サイズ]** スライダーで、リカバー ブラシのサイズを設定します。**[強度]** スライダーで、マウス ドラッグ時の回復度を変更します。

## メッシュ ツール

[メッシュ] ツールを使うと、オブジェクト変形で使用するメッシュ グリッドを作成することができます。[メッシュ] ツールでオブジェクトを変形するには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2. **[行]** スライダーで、メッシュ グリッドの行数を設定します。
3. **[列]** スライダーで、メッシュ グリッドの列数を設定します。
4. コントロール ポイント (各行と列が交わる点) をクリック&ドラッグして、希望の位置にドラッグして、オブジェクトを変形します。



**注:**コントロール ポイントを元の位置にリセットするには、それをダブルクリックします。

5. オブジェクトが希望の形になるまで、コントロール ポイントをクリック&ドラッグし続けます。



**注:**必要に応じて **[メッシュを表示]** オプションを選択解除すると、メッシュ グリッドが非表示になります。

## 手動メッシュ ツール

[手動メッシュ] ツールを使って、コントロール ポイントを手動で追加し、カスタムのメッシュ グリッドを作成して、オブジェクトを変形することができます。

[手動メッシュ] ツールでオブジェクトを変形するには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2.  が選択されていることを確認します。
3. 必要に応じて、画像をクリックしてコントロール ポイントを追加します。オブジェクト変形に必要なコントロール ポイントをすべて追加するまで、このプロセスを続けます。メッシュ グリッド ラインが交わる部分には、自動的にコントロール ポイントが追加されます。



**注:**コントロール ポイントを削除するには、それを右クリックします。

4. コントロール ポイントをクリック&ドラッグして、希望の位置にドラッグして、オブジェクトを変形します。



**注:**コントロール ポイントを元の位置にリセットするには、それをダブルクリックします。

5. オブジェクトが希望の形になるまで、コントロール ポイントをクリック&ドラッグし続けます。



**注:**必要に応じて **[メッシュを表示]** オプションを選択解除すると、メッシュが非表示になります。

## フォト エフェクト

[フォト エフェクト]\* セクションでは、[カラー エフェクト]、[ぼかしツール]、[粒子エフェクト] をつけることができます。



**注:**各画像には、エフェクトは 1 種類のみ適用することができます。

## カラー エフェクト

[カラー エフェクト] オプションをクリックすると、画像に [白黒]、[セピア]、[色かぶり] のエフェクトを適用することができます。[カラー スプラッシュ] を使って、選択した色のみを残すこともできます。

完了したら [保存先] ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

### 白黒

[白黒] オプションをクリックすると、白黒に変換されて表示されます。

### カラー エフェクトをカスタマイズする

 をクリックして [エフェクト消去ブラシ] を有効にし、希望する部分をクリック&ドラッグすると、カラー エフェクトが消去されます。次のブラシ設定で、ブラシのスタイルをカスタマイズします。

- **サイズ:** ブラシのサイズを設定します。
- **ぼかし:** トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
- **強度:** ブラシの強度を設定します。
- **エッジに合わせる:** エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。



**注:** ブラシ部分を修正するには、 をクリックして [エフェクト復元ブラシ] を有効にします。マウスを使って、間違っで消去した部分を復元します。

### セピア

**[セピア]** オプションをクリックすると、濃い灰褐色色により、月日の経過した古い写真のような効果がかかります。**[適用量]** スライダーで、適用するエフェクトのレベルを調整します。

## カラー エフェクトをカスタマイズする

 をクリックして [エフェクト消去ブラシ] を有効にし、希望する部分をクリック&ドラッグすると、カラー エフェクトが消去されます。次のブラシ設定で、ブラシのスタイルをカスタマイズします。

- **サイズ:** ブラシのサイズを設定します。
- **ぼかし:** トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
- **強度:** ブラシの強度を設定します。
- **エッジに合わせる:** エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。



**注:** ブラシ部分を修正するには、 をクリックして [エフェクト復元ブラシ] を有効にします。マウスを使って、間違っただけで消去した部分を復元します。

## 色かぶり

**[色かぶり]** オプションをクリックすると、指定する色に変換されて表示されます。**[カラー]** ボタンで希望の色を選択し、**[強度]** スライダーで色の強度を調整します。

## カラー エフェクトをカスタマイズする

 をクリックして [エフェクト消去ブラシ] を有効にし、希望する部分をク

リック&ドラッグすると、カラー エフェクトが消去されます。次のブラシ設定で、ブラシのスタイルをカスタマイズします。

- **サイズ**:ブラシのサイズを設定します。
- **ぼかし**:トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
- **強度**:ブラシの強度を設定します。
- **エッジに合わせる**:エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。



**注**:ブラシ部分を修正するには、 をクリックして [エフェクト復元ブラシ] を有効にします。マウスを使って、間違っ  
て消去した部分を復元します。

## カラー スプラッシュ

[カラー スプラッシュ] オプションをクリックすると、選択した色のみを残すことができます。

選択した色のみを残すには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックして、残す色をスポイトで選択します。他の色はすべて白黒になります。
2. [許容量] スライダーで、残されている色の範囲を調整します。右にドラッグすると、より多くの色が表示されます。左にドラッグすると、表示される色が少なくなります。
3. [色相をシフト] スライダーで、残されている色の影を調整します。このスライダーを使うと、完全に色を変更することができます。

## カラー エフェクトをカスタマイズする



をクリックして [カラー消去ブラシ] を有効にし、希望する部分をクリック & ドラッグすると、不要な色を消去することができます。次のブラシ設定で、ブラシのスタイルをカスタマイズします。

- **サイズ:**ブラシのサイズを設定します。
- **ぼかし:**トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
- **強度:**ブラシの強度を設定します。
- **エッジに合わせる:**エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。



**注:**  をクリックして [カラー復元ブラシ] を有効にし、マウスを使って特定部分の色を復元することもできます。

## ぼかしツール

[ぼかしツール] オプションをクリックすると、ぼかしエフェクトを作成することができます。次の 3 つのツールが利用できます。



**注:**[ぼかしツール] パネルの各タブを開くと、自動的にぼかしエフェクトが適用されます。[元に戻す] ボタンをクリックすると、[ぼかしツール] タブに入った最初の状態に戻ります。

完了したら [保存先] ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## 円形ツール

指定する円を中心に、ぼかしエフェクトが作成されます。円形ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。

2. マスクの赤い中心点をクリック&ドラッグして、ぼかしエフェクトを適用する部分に移動します。中心の白い円部分の中には、ぼかしエフェクトは適用されません。
3. **[ぼかし種類]** のドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - **ソフトフォーカス**:画像にソフトフォーカスエフェクトが適用されます。
  - **ピンぼけ**:画像にピンぼけエフェクトが適用されます。使用する **[ぼかしの形]** を選択します。
  - **放射状**:画像に放射状エフェクトが適用されます。
  - **焦点ズーム**:画像に焦点ズームエフェクトが適用されます。
  - **モーションブラー (残像効果)**:動きのある対象物にぼかしが適用されます。選択したら、**[ぼかしの方向]** コントロールをドラッグして、ぼかしの方向を設定します。
4. **[ぼかしレベル]** スライダーを使って、ぼかしレベルを調整します。



**注:****[マスクを表示]** オプションを選択解除すると、ぼかしエフェクトの適用状況を確認できます。中心の赤い点をクリックすると、適用されたエフェクトは解除されます。

5. 外の円をクリック&ドラッグすると、グラデーション (ぼかしとフォーカス部分) のサイズを調整することができます。

## リニア (線形) ツール

このツールを使うと、線状のぼかしエフェクトを作成することができます。リニア (線形) ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2. マスクの赤い中心点をクリック&ドラッグして、ぼかしエフェクトを開始する位置に移動します。白い線の中には、ぼかしエフェクトは適用されません。

3. 中心の線にマウスを置き  が表示されると、マスクを回転することができます。
4. **[ぼかし種類]** のドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - **ソフト フォーカス:**画像にソフト フォーカス エフェクトが適用されます。
  - **ピンぼけ:**画像にピンぼけエフェクトが適用されます。使用する **[ぼかしの形]** を選択します。
  - **モーション ブラー (残像効果):**動きのある対象物にぼかしが適用されます。選択したら、**[ぼかしの方向]** コントロールをドラッグして、ぼかしの方向を設定します。
5. **[ぼかしレベル]** スライダーを使って、ぼかしレベルを調整します。  
 **注:[マスクを表示] オプションを選択解除すると、ぼかしエフェクトの適用状況を確認できます。中心の赤い点をクリックすると、適用されたエフェクトは解除されます。**
6. 外の線をクリック&ドラッグすると、グラデーション (ぼかしと白いラインの間) のサイズを調整することができます。

## ブラシ ツール

このツールを使うと、ぼかしエフェクトの希望部分をクリアすることができます。ブラシ ツールを使うには、次の操作を行います。

1.  タブをクリックします。
2. **[ぼかし種類]** のドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - **ソフト フォーカス:**画像にソフト フォーカス エフェクトが適用されます。
  - **ピンぼけ:**画像にピンぼけエフェクトが適用されます。使用する **[ぼかしの形]** を選択します。
  - **モーション ブラー (残像効果):**動きのある対象物にぼかしが適用されます。

選択したら、**[ぼかしの方向]** コントロールをドラッグして、ぼかしの方向を設定します。

3. **[ぼかしレベル]** スライダーを使って、ぼかしレベルを調整します。
4.  をクリックして、**[エフェクト消去ブラシ]** を有効にします。
5. **[ブラシの設定]** では、次のように設定します。
  - **サイズ**: ブラシのサイズを設定します。
  - **ぼかし**: トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
  - **強度**: ブラシの強度を設定します。
  - **エッジに合わせる**: エッジに合わせてストロークを制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。
6. 希望する部分をクリック&ドラッグすると、ぼかし エフェクトが消去されます。



**注**: ブラシ部分を修正するには、 をクリックして **[エフェクト復元ブラシ]** を有効にします。マウスを使って、間違っただけで消去した部分を復元します。

## 粒子エフェクト

**[粒子エフェクト]** オプションをクリックすると、粒子のようなエフェクトが適用されます。このオプションを選択すると、画像にエフェクトが自動的に適用されます。**[適用量]** スライダーで、適用するエフェクトのレベルを調整します。



**注**: エフェクトを適用した後、**[部分クリーナー]** でエフェクトの一部をクリアすることができます。詳細は、次のセクションを参照してください。

完了したら **[保存先]** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## 粒子エフェクトをカスタマイズする

 をクリックして [エフェクト消去ブラシ] を有効にし、希望する部分をクリック&ドラッグすると、粒子エフェクトが消去されます。次のブラシ設定で、ブラシのスタイルをカスタマイズします。

- **サイズ:** ブラシのサイズを設定します。
- **ぼかし:** トランジション レベル (ブラシをかける部分およびその部分のピクセル) を設定します。円の外側および内側の線の間には、スムーズなトランジションのグラデーションが表示されます。
- **強度:** ブラシの強度を設定します。
- **エッジに合わせる:** エッジに合わせて調整を制限します。ブラシ ストロークに基づいて、自動的に適用されます。



**注:** ブラシ部分を修正するには、 をクリックして [エフェクト復元ブラシ] を有効にします。マウスを使って、間違っ

て消去した部分を復元します。

## オーバーレイ

[オーバーレイ] オプションを使うと、スタイリッシュなエフェクトが追加されます。次の 4 種類のオーバーレイから選択できます。

- **ライト リーク:** ネガ写真の色あせのような、6~70年代のイメージが適用されます。
- **グランジ:** ざらざらなイメージの粗いエフェクトが適用されます。
- **スクラッチ:** ガラスの上の汚れや傷のようなエフェクトが適用されます。
- **レンズ フレア:** レンズ フレア エフェクトが適用されます。

完了したら [保存先] ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## オーバーレイ エフェクトをカスタマイズする

エフェクトを次のように設定してカスタマイズすることができます。

- **不透明度**: スライダーで、テンプレートの不透明度を調整します。右にドラッグすると不透明度が上がり、左にドラッグすると下がります。
- **回転**: 選択したエフェクトを回転することができます。右に 90 度回転するには  を、左に 90 度回転するには  をクリックします。
- **反転**: 選択したエフェクトを反転することができます。左右に反転するには  を、上下に反転するには  をクリックします。
- **テンプレートのサイズ変更/移動を有効にする**: このオプションを選択すると、オーバーレイのサイズを変更したり、移動できるようになります。これにより、画像のイメージを変えることができます。

## DirectorZone からオーバーレイ テンプレートをダウンロードする

DirectorZone から他のオーバーレイ テンプレートをダウンロードできます。

DirectorZone から他のオーバーレイ テンプレートをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. **[DirectorZone から他のアイテムをダウンロード]** のリンクをクリックします。DirectorZone がデフォルトの Web ブラウザーで開きます。
2. テンプレートをダウンロードするには、DirectorZone にサインインする必要があります。アカウントがない場合は、ページ上の **[アカウント作成]** のリンクをクリックして登録します。
3. **[PhotoDirector]** タブを選択して、ダウンロード可能なオーバーレイ テンプレートを表示します。

4. ダウンロードするテンプレート下の **[ダウンロード]** リンクをクリックします。
5. もう一度 **[ダウンロード]** をクリックします。
6. テンプレートをコンピューターに保存します。オーバーレイ テンプレートのファイルを保存する場所を検索し、ダブルクリックして、**[オーバーレイ]** タブにインストールします。

## オブジェクト除去

[オブジェクト除去]\* セクションでは、[スマート パッチ] で画像の一部を複製してオブジェクトを隠したり、[コンテンツ解析削除] で周りのピクセルを置き換えてオブジェクトを完全に除去することができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## スマート パッチ

[スマート パッチ] セクションでは、画像の一部を複製して、他の部分にカバーすることで、オブジェクトを隠すことができます。

オブジェクトをカバーするには、次の操作を行います。

1. **[スマート パッチ]** をクリックして、パネルを開きます。
2.  が選択されていることを確認します。
3. 左のマウス ボタンを押したまま、削除したいオブジェクトを囲みます。輪郭を指定したら、マウス ボタンを離します。
4. 輪郭部分をクリックして、オブジェクト マスクに使う部分にドラッグします。



**注:**周りのピクセルの色を使って (複製した部分は必要なし) オブジェクトをカバーし、背景とうまく混ざります。

5. **[サイズ]** スライダーでサイズを調整して、オブジェクトをカバーします。
6. **[適用]** をクリックします。
7. 完了したら **[保存先]** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
8. 保存が完了したら  をクリックして、メインメニューに戻ります。

## コンテンツ解析除去

[コンテンツ解析除去] オプションを使って、オブジェクトを除去します。[手動選択] および [ライン ドロワー] ツールを使って、削除したいオブジェクトのピクセルを選択します。[適用] をクリックすると、不要なピクセルは削除され、周りのピクセルで置き換わり、オブジェクトは無くなります。

[コンテンツ解析除去] でオブジェクトを除去するには、次の操作を行います。



**注:**[コンテンツ解析除去] では、[手動選択] および [ライン ドロワー] を使って、除去するオブジェクトを選択することができます。

1. **[コンテンツ解析除去]** をクリックして、パネルを開きます。
2.  タブをクリックして、[手動選択] ツールを使って削除するオブジェクトを選択します。[手動選択] ツールでは、ブラシを使って削除したいピクセルを選択します。[手動選択] ツールは次のように使います。
  -  をクリックして、[手動ブラシ] を使って削除するピクセルを選択します。**[サイズ]** スライダーでブラシのサイズを設定して、選択するオブジェクトにブラシをかけます。オブジェクト全体を選択するまでこのプロセスを続けます。



**注:**適用しない部分までマークした場合は、 ボタンをクリックして不要な部分を選択解除します。キーボードの [Alt] キーを押して消しゴムに切り替えて、その部分を選択解除することもできます。

3.  タブをクリックして、[ライン ドロワー] ツールを使って削除するオブ

ジェクトを選択します。[ライン ドロワー] ツールを使うと、まっすぐなラインを引くことで、削除するピクセルを選択することができます。[ライン ドロワー] ツールは次のように使います。

-  をクリックして、[ライン ブラシ] ツールを有効にします。[サイズ] スライダーで、ラインの幅を設定します。オブジェクトの一部、他の部分をクリックしてラインを引き、削除するピクセルを選択します。オブジェクト全体を選択するまでこのプロセスを続けます。ダブルクリックして、選択を完了します。



**注:**適用しない部分までマークした場合は、 ボタンをクリックして不要な部分を選択解除します。

4. [適用] をクリックします。選択したピクセルは削除され、周りのピクセルで置き換わり、適用部分が塗りつぶされます。



**注:**適切な仕上がりにするには、オブジェクトの周りや影部分も選択します。オブジェクトが完全に削除されない場合は、うまくいくまでこのプロセスを続けます。

5. 完了したら [保存先] ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
6. 保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## 抽出または作成

[抽出または作成]\* セクションでは、画像を部分的に除去して、透明にすることができます。[画像追加・合成] オプションでは、ロゴや他の画像を追加することができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## 背景除去

[背景除去] 機能を使うと、画像を部分的に除去して、透明にすることができます。除去後、保存した画像は [画像追加・合成] で使用できます。

[背景除去] ツールを使うには、次の操作を行います。



**注:**[背景除去] では、[マジック セレクション] および [スマートなげなわ] を使って、削除する部分を選択することができます。

1. **[背景除去]** をクリックして、パネルを開きます。
2.  タブをクリックして、[マジック セレクション] ツールを使います。[マジック セレクション] ツールでは、ブラシを使って選択したいピクセルを強調表示します。[マジック セレクション] ツールは次のように使います。
  -  をクリックして、ブラシ ツールを使います。**[サイズ]** スライダーでブラシのサイズを設定して、ブラシを選択部分の端に沿って選択します。簡単に部分を選択するには **[インテリジェント]** オプションを有効にします。ブラシ ストロークを適用する場合、類似するプロパティーを持つすべてのピクセルが選択されます。適用する部分全体を選択するまで、このプロセスを続けます。



**注:**適用しない部分までマークした場合は、 ボタンをクリックして不要な部分を選択解除します。キーボードの [Alt] キーを押して消しゴムに切り替えて、その部分を選択解除することもできます。

3.  タブをクリックして、[スマートなげなわ] を使って部分またはオブジェクトを選択します。スマートなげなわを使って、マウスを選択部分の端に沿ってドラッグすると、類似するピクセルに合わせて線が引かれます。スマートなげなわは次のように使用します。
  -  をクリックし、**[カーソル サイズ]** スライダーで選択ツールのサイズを設定します。部分の端をクリックして、選択部分の端全体をカーソルでドラッグします。完了したら、ダブルクリックして選択を完了させます。



**注:**必要に応じて、輪郭線の好きな場所をクリックし、点をドラッグして、選択した部分を調整します。ラインをクリックして新しい点を追加したり、点を右クリックして削除することもできます。

4. [マジック セレクション] ツールまたはスマートなげなわで部分を選択したら、次のオプションのいずれかを選択します。

- **選択した領域を除去:**選択した部分を透明にしたり、除去したりする場合に、このオプションを選択します。
- **未選択の領域を除去:**選択した部分を残したり、他の部分を透明にしたりする場合に、このオプションを選択します。

5. [適用] をクリックして、指定する部分を削除、透明にします。

6. 透明/除去部分を調整するには、次の操作を行います。

-  をクリックして、ブラシを使って、除去部分のエッジを微調整します。
- 選択部分を除去した場合は  をクリックして、選択部分にブラシをかけて表示します。未選択部分を除去した場合は、このブラシを使って選択部分をカバーします。
- 未選択部分を除去した場合は  をクリックして、未選択部分にブラシをかけて表示します。選択部分を除去した場合は、このブラシを使って未選択部分をカバーします。



**注:**[サイズ] スライダーで、選択ブラシのサイズを設定します。

7. 必要に応じて、[カラー ボード] ボタンをクリックして、除去部分の色を選択します。色を設定しない場合、除去部分は新しい画像では透明になります。

8. 完了したら [保存先] ボタンをクリックして、新しい画像 (PNG 形式) に行った変更内容を保存します。



**注:**この画像も背景除去ギャラリーに保存され、[画像追加・合成]で使用できます。

9. 保存が完了したら  をクリックして、メインメニューに戻ります。

## 画像追加・合成

[画像追加・合成] セクションでは、PNG または JPG 形式のロゴや他の画像を読み込んで、ライブラリーの画像に追加することができます。



**注:**[レイヤー] モジュールを使うと、さらに高度な編集ができます。詳細は、[「レイヤー」](#)を参照してください。

新しい画像を作成するには、次の操作を行います。

1. **[画像追加・合成]** をクリックして、パネルを開きます。
2. 使用する画像をライブラリー パネルから選択します。
3.  ボタンをクリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
  - **フォルダーから:**コンピューターのハード ドライブにあるフォルダーから画像を読み込みます。追加する画像を検索、選択して、**[開く]** をクリックします。
  - **背景除去ギャラリーから:**[背景除去ギャラリー] から画像を選択します。ギャラリーから画像を選択して、**[OK]** をクリックします。
4. 追加した画像をクリック&ドラッグして、好きな場所に移動します。
5. 画像の端をクリック&ドラッグして、サイズを変更します。
6. [画像設定] では、次のように調整します。
  - **反転:**  をクリックして、画像を上下に反転します。  をクリックして、左右に反転します。



**注:**追加した画像を右クリックして、左右または上下に反転することもできます。変更を元に戻すには、**[リセット]** を選択します。

- **不透明度**:読み込んだ画像の不透明度を設定します。
  - **色温度**:背景画像に合わせて読み込んだ画像の色温度を調整します。
  - **色かぶり**:背景画像に合わせて読み込んだ画像の色かぶりを調整します。
  - **露光量**:背景画像に合わせて読み込んだ画像の露光量を調整します。
  - **コントラスト**:背景画像に合わせて読み込んだ画像のコントラストを調整します。
7. 他の画像を追加するには、手順 3~6 を繰り返します。完了したら **[保存先]** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
  8. 保存が完了したら  をクリックして、メインメニューに戻ります。

## 画像結合

[画像結合] セクションでは、リアルな HDR 画像を作成することができます (異なる露出の画像が複数ある場合)。パノラマ画像を作成したり、顔入れ替え機能を使って他の画像中の顔と入れ替えたり、モーション フォト (多重露光) を作成したりすることもできます。

## ブラケット HDR

[編集] ウィンドウの [ブラケット HDR]\* セクションでは、リアルな HDR (ハイダイナミック レンジ) 画像を作成することができます。異なる露出で撮影された同じ画像が複数ある場合、この機能を使うことができます。これは「ブラケット」とよばれ、異なる露出の同じ画像が 3 枚以上ある場合に、最適に表示されません。



**注**:\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

[ブラケット HDR] 機能では、最大 5 枚の画像を使うことができます。



**注**:1 枚の画像で HDR エフェクトを作成したい場合、[調整] モジュールを使います。詳細については、[「HDR エフェクト」](#) を参照してください。

HDR 画像を作成するには、次の操作を行います。

1. **[ブラケット HDR]** をクリックして、パネルを開きます。
2. フォト ブラウザー パネルで、HDR 画像に入れるすべての画像をダブルクリックします。フォト ビューアー ウィンドウ エリアにドラッグ&ドロップすることもできます。
3. 必要に応じて、メイン画像を選択します。完成画像に入れたい特定の被写体が含まれる画像をメイン画像として選択します。



**注:**メイン画像は、画像を結合した後、フォト ブラウザー パネルの画像をクリックして変更することができます。

4. **[結合]** ボタンをクリックします。選択された画像を結合して、HDR 画像が作成されます。
5. 必要に応じて、**[編集]** パネルのオプションで HDR 画像の調整を行います。詳細は、[「ブラケット HDR 画像を調整する」](#)を参照してください。
6. 完了したら **[保存先]** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
7. 保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## ブラケット HDR 画像を調整する

複数の画像を結合して HDR 画像を作成したら、次のように調整します。

- **合成で発生するゴーストの削除:**HDR 画像にゴーストが含まれる場合、このオプションを選択すると削除されます。必要な場合、自動的に選択されます。
- **プリセット:**スライダーを調整する代わりに、ドロップダウンから HDR プリセットを選択することができます。プリセットによって、HDR 画像の印象は異なります。

## グロー

HDR 画像のコントラスト エッジのグロー (ハロー) エッジを調整します。

- **強度:**画像に適用するグローの適用量を調整します。
- **半径:**画像に適用するグローの半径、またはエッジ コントラストの適用量を調整します。
- **バランス:**グローのバランス (グロー調整の適用部分) を調整します。スライダーを右にドラッグすると、エッジのより明るい部分 (ハイライト) に適用されます。左にドラッグすると、エッジのより暗い部分 (シャドウ) に適用されます。

## エッジ

HDR 画像のエッジ間のコントラストを調整します。

- **強度:**エッジの強度を調整します。右にドラッグすると、コントラスト エッジがよりはっきりと表示されます。左にドラッグすると、ぼやけて表示されます。
- **半径:**画像に適用するエッジの半径、またはエッジ コントラストの適用量を調整します。
- **バランス:**エッジのバランス (エッジ調整の適用部分) を調整します。スライダーを右にドラッグすると、エッジのより明るい部分 (ハイライト) に適用されます。左にドラッグすると、エッジのより暗い部分 (シャドウ) に適用されます。

## ディテール

HDR 画像のディテール全体を調整します。

- **光度:**HDR 画像の光度を調整します。
- **コントラスト:**結合画像間のコントラストを調整します。
- **ハイライト:**HDR 画像の明るい部分のディテールを調整します。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、ハイライトのクリッピングを軽減します。右にドラッグすると、ハイライトがよりはっきりと表示されます。

- **シャドウ**:HDR 画像の暗い部分のディテールを調整します。スライダーを左にドラッグすると暗くなり、暗い色がクリッピングされます。右にドラッグすると、シャドウがよりはっきりと表示されます。

## 色調

HDR 画像の色調を調整します。

- **露光量**:HDR 画像の露光量全体を調整します。露光過度の場合はスライダーを左に、露光不足の場合はスライダーを右に移動します。
- **コントラスト**:HDR 画像のコントラスト全体を調整します。
- **彩度**:HDR 画像の彩度を調整します。左にドラッグすると白黒になり、右にドラッグすると彩度が高まります。
- **自然な彩度**:HDR 画像をさらに明るく、ビビッドな色に補正します。

## パノラマ

2 枚以上の画像を貼り付けて、パノラマ\* 画像を作成することができます。



**注**:\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

パノラマ画像を作成するには、次の操作を行います。

1. **[パノラマ]** をクリックして、パネルを開きます。
2. フォト ブラウザー パネルで、パノラマ画像に入れるすべての画像をダブルクリックします。フォト ビューアー ウィンドウ エリアにドラッグ&ドロップすることもできます。
3. パノラマ画像に入れる画像をすべて追加したら、**[結合]** ボタンをクリックします。
4. 結合が完了したら、切り取る部分を調整します。



**注:**デフォルトでは、切り抜く部分には黒い境界は含まれません。切り抜く部分を拡張/移動して黒い境界が含まれてしまう場合は、**【境界を自動的に塗りつぶす】** オプションを選択します。周りのピクセルに合わせて黒い境界が塗りつぶされます。

5. 完了したら **【保存先】** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
6. 保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## 顔入れ替え

**【顔入れ替え】**\* 機能を使うと、2 枚以上の画像からベストショット (顔) を選んで差し替えることができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

複数の画像中の顔を入れ替えるには、次の操作を行います。

1. **【顔入れ替え】** をクリックして、パネルを開きます。
2. フォト ブラウザー パネルで、完成画像に入れる顔が含まれるすべての画像をダブルクリックします。フォト ビューアー ウィンドウ エリアにドラッグ & ドロップすることもできます。



**注:**うまく顔を入れ替えられるよう、連続する画像 (同じ背景と被写体) を使ってください。

3. 必要に応じて、メイン画像を選択します。完成画像に入れたい特定の被写体が含まれる画像をメイン画像として選択します。
4. **【結合】** ボタンをクリックします。複数の画像からベスト ショット (顔) が検出され、新しい画像が出力されます。
5. 顔を変更するには **【顔フレームの表示】** を選択して、顔フレームをクリックします。リストから他の顔を選択して、**【OK】** をクリックします。
6. 完了したら **【保存先】** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容

を保存します。

7. 保存が完了したら  をクリックして、メインメニューに戻ります。

## モーション フォト (多重露光)

連続ショット画像やビデオ フレームを取り込んで、モーション フォト (多重露光)\* を作成することができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

モーション フォト (多重露光) を作成するには、次の操作を行います。

1. **[モーション フォト (多重露光)]** をクリックして、パネルを開きます。
2. フォト ブラウザー パネルで、新しい画像で使うすべての画像をダブルクリックします。フォト ビューアー ウィンドウ エリアにドラッグ&ドロップすることもできます。



**注:**最適な画像を表示するには、連続する画像 (同じ背景と被写体) を使ってください。

3. **[開始]** ボタンをクリックします。
4. 次に、フォト ブラウザー パネルから作品に入れる背景画像を選択します。



**注:**被写体が背景画像のフレームの外に移動した場合 (カメラを動かしているため)、合成画像からそのフレームは削除されます。

5. 背景画像を選択したら、画像上のボックスをドラッグ、サイズ変更して、動く被写体をマークします。
6.  をクリックします。すべての画像が分析されます。
7. フォト ブラウザー パネルのそれぞれの画像を確認して、被写体がマークされていることを確認します。マークされていない場合、ボックスをドラッグ、サイズ変更をしてマークします。

8. **【結合】** ボタンをクリックして、画像を結合します。
9. 画像の **【オプション】** を次のように設定します。
  - **ブレンドの種類:** モーション フォト (多重露光) で被写体を **【フェードイン】** または **【フェードアウト】** するかを選択します。フェードイン/フェードアウトを適用しない場合、**【標準】** を選択します。
  - **フレームの数:** 最終的なモーション フォト (多重露光) に使われる画像数またはフレーム数を選択します。
10. 完了したら **【保存先】** ボタンをクリックして、新しい画像に行った変更内容を保存します。
11. 保存が完了したら  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## フレーム & 透かし

[フレーム&透かし] セクションでは、透かしテンプレート (フレーム、ライン、テキスト、イメージ、画像情報など) を作成することができます。テンプレートを作成したら、画像に適用して書き出しや印刷をしたり、Facebook や Flickr で共有することができます。

## 透かしクリエイター

[透かしクリエイター] で、透かしテンプレート (フレーム、ライン、イメージ、テキスト、画像情報など) を作成します。

新規の透かしテンプレートを作成するには、次の操作を行います。

1. **【透かしクリエイター】** をクリックして、パネルを開きます。
2. タブをクリックして、透かしテンプレートを次のようにカスタマイズします。
  -  をクリックして、フレームやラインを透かしテンプレートに追加します。詳細は、[「フレームとラインを追加する」](#) を参照してください。

-  をクリックして、テキストを透かしテンプレートに追加します。詳細は、[「テキストを追加する」](#) を参照してください。
  -  をクリックして、画像を透かしテンプレートに追加します。詳細は、[「画像を追加する」](#) を参照してください。
  -  をクリックして、著作権情報やその他情報を透かしテンプレートに追加します。詳細は、[「画像情報を追加する」](#) を参照してください。
3. 完了したら **[テンプレート保存]** をクリックして、透かしテンプレートを保存します。**[名前]** にテンプレート名を入力して、**[OK]** をクリックします。
  4. 透かしテンプレートをライブラリーの画像に適用して、様々な形式で出力することができます。これを行うには、透かしテンプレートを適用する画像をブラウザー パネルからすべて選択し、**[画像の出力]** ボタンをクリックして、次のオプションのいずれかを選択します。
    - **書き出し**:透かしテンプレートを適用した画像を書き出し、ライブラリーに新しいコピーを作成します。詳細は、[「画像を書き出す方法」](#) を参照してください。
    - **プリント**:透かしテンプレートを適用した画像をプリントします。詳細は、[「画像をプリントする」](#) を参照してください。
    - **Flickr**:透かしテンプレートを適用した画像を Flickr にアップロードします。詳細は、[「Flickr に画像をアップロードする」](#) を参照してください。
    - **Facebook**:透かしテンプレートを適用した画像を Facebook にアップロードします。詳細は、[「Facebook に画像をアップロードする」](#) を参照してください。
    - **サイバークラウド**:透かしテンプレートを適用した画像をサイバークラウドにバックアップします。詳細は、[「サイバークラウドに画像をアップロードする」](#) を参照してください。
    - **DirectorZone**:透かしテンプレートを適用した画像を DirectorZone で共有します。DirectorZone のフォト ギャラリーにアップロードします。詳細は、[「DirectorZone に画像をアップロードする」](#) を参照してください。

- **メール:**透かしテンプレートを適用した画像をメールで送信します。詳細は、[「画像をメール送信する」](#)を参照してください。
5.  をクリックして、メイン メニューに戻ります。

## フレームとラインを追加する

透かしテンプレートをカスタマイズする場合に  をクリックして、フレームやラインを追加します。

フレームを追加するには、次の操作を行います。

1. [オプション] セクションで、**[フレーム]** を選択します。
2. フレームの内側をクリック&ドラッグして、フレームの幅を調整します。
3. フレームをクリック&ドラッグして、フレームの位置を調整します。
4. フレームを次のように設定します。
  - **カラー:**ボタンをクリックして、フレームの色を選択します。**[OK]** をクリックして、色を設定します。
  - **不透明度:**フレームの不透明度を設定します。
  - **シャドウ:**スライダーを左右にドラッグして、フレームのシャドウを適用します。

ラインを追加するには、次の操作を行います。

1. [オプション] セクションで、**[ライン]** を選択します。
2. ライン中心の点をクリック&ドラッグして、ラインの幅を調整します。
3. ラインをクリック&ドラッグして、ラインの位置を調整します。
4. ラインの方向を **[垂直]** または **[水平]** から選択します。
5. ラインの設定を次のように設定します。
  - **カラー:**ボタンをクリックして、ラインの色を選択します。**[OK]** をクリッ

くして、色を設定します。

- **不透明度**:ラインの不透明度を設定します。
- **シャドウ**:スライダーを左右にドラッグして、ラインのシャドウを適用します。

## テキストを追加する

透かしテンプレートをカスタマイズする場合に  をクリックして、テキストを追加します。

テキストを追加するには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックします。新しいテキスト ボックスが画像上に表示されます。
2. テキスト ボックスをクリックし、透かしテンプレートの希望の位置にドラッグします。
3. フォントを次のように設定します。
  - **テキスト カラー**:ボタンをクリックして、テキストの色を選択します。**[OK]** をクリックして、色を設定します。
  - **境界線の色**:必要に応じて、ボタンをクリックして、テキストに色付きの境界線を追加します。色を選択し、**[OK]** をクリックして設定します。
  - **フォント**:テキストのフォントの種類を選択します。
  - **スタイル**:フォント スタイルをドロップダウンから選択します。
  - **フォント サイズ**:テキストのサイズを設定します。
  - **不透明度**:テキストの不透明度を設定します。
  - **シャドウ**:スライダーをドラッグして、テキストのシャドウを適用します。

## 画像を追加する

透かしテンプレートをカスタマイズする場合に  をクリックして、画像を追加します。

透かしテンプレートに画像を追加するには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックします。
2. 追加する画像を検索、選択して、**[開く]** をクリックします。
3. 追加した画像をクリックして、好きな場所に移動します。
4. 画像の端をクリック&ドラッグして、サイズを変更します。
5. **[不透明度]** スライダーで、追加した画像の不透明度を設定します。

## 画像情報を追加する

透かしテンプレートをカスタマイズする場合に  をクリックして、著作権情報やその他の情報を追加します。画像を出力する場合に、各画像に情報 (日付、絞り、シャッター速度など) が追加されます。

画像情報を追加するには、次の操作を行います。

1. 透かしテンプレートに追加する画像情報の項目をすべて選択します。**[著作権]** オプションを選択する場合、透かしテンプレートに追加する文字を入力します。
2. **[テキストの設定]** では、次のように設定します。
  - **テキスト カラー**: ボタンをクリックして、テキストの色を選択します。**[OK]** をクリックして、色を設定します。
  - **境界線の色**: 必要に応じて、ボタンをクリックして、テキストに色付きの境界線を追加します。色を選択し、**[OK]** をクリックして設定します。

- **フォント**:テキストのフォントの種類を選択します。
  - **スタイル**:フォント スタイルをドロップダウンから選択します。
  - **行揃え**:テキストの行揃えをドロップダウンから選択します。
  - **フォント サイズ**:テキストのサイズを設定します。
3. 透かしテンプレートにフレームが追加されている場合、**[画像情報の表示]** オプションを選択するとフレームの幅が自動的に調整され、著作権情報がフレームの下に配置されます。

## 透かしテンプレートを使用する

[透かしテンプレート] セクションでは、透かしテンプレートを編集し、ライブラリーの画像に適用して、様々な形式で出力することができます。透かしテンプレート ライブラリーには、定義済みのテンプレートおよび作成したカスタムのテンプレートが表示されます。

透かしテンプレートを使用するには、次の操作を行います。

1. **[透かしテンプレート]** をクリックして、パネルを開きます。
2. 使用するテンプレートを検索、選択します。
3. 必要に応じて、選択した透かしテンプレートの上にマウスを置き、 をクリックして編集を行います。透かしテンプレートの編集とカスタマイズに関する情報は、[「透かしクリエイター」](#) を参照してください。



**注:**透かしテンプレートの上にマウスを置き、 をクリックして削除することもできます。

4. 透かしテンプレートを適用する画像をブラウザー パネルからすべて選択し、**[画像の出力]** ボタンをクリックして、次のオプションのいずれかを選択します。
  - **書き出し**:透かしテンプレートを適用した画像を書き出し、ライブラリーに新しいコピーを作成します。詳細は、[「画像を書き出す方法」](#) を参照してください。

- **プリント**:透かしテンプレートを適用した画像をプリントします。詳細は、[「画像をプリントする」](#) を参照してください。
  - **Flickr**:透かしテンプレートを適用した画像を Flickr にアップロードします。詳細は、[「Flickr に画像をアップロードする」](#) を参照してください。
  - **Facebook**:透かしテンプレートを適用した画像を Facebook にアップロードします。詳細は、[「Facebook に画像をアップロードする」](#) を参照してください。
  - **サイバークラウド**:透かしテンプレートを適用した画像をサイバークラウドにバックアップします。詳細は、[「サイバークラウドに画像をアップロードする」](#) を参照してください。
  - **DirectorZone**:透かしテンプレートを適用した画像を DirectorZone で共有します。DirectorZone のフォトギャラリーにアップロードします。詳細は、[「DirectorZone に画像をアップロードする」](#) を参照してください。
  - **メール**:透かしテンプレートを適用した画像をメールで送信します。詳細は、[「画像をメール送信する」](#) を参照してください。
5.  をクリックして、メインメニューに戻ります。

## 第 7 章:

# レイヤー

この章では、[レイヤー] モジュールのツールおよび機能について説明します。[レイヤー] ボタンをクリックすると、レイヤーを使った編集ができます。



**注:**[レイヤー] モジュールに入る前に、必要な調整、編集をすべて完了させておくことをお勧めします。それぞれのレイヤーで一部の調整を行うことはできますが、多くの調整はできません。

[レイヤー] モードでの作成が完了したら、レイヤー プロジェクトを保存 (新しい画像として) したり、共有したりすることができます。詳細は、[「レイヤープロジェクトを保存する」](#) を参照してください。

## レイヤーの概要

[レイヤー] を使うと、背景画像の上にグラフィック、文字、形、その他画像を重ねて、合成画像を作成することができます。各アイテムは異なるレイヤーに追加され、画像を合成して保存、書き出し、共有することができます。



A - レイヤー マネージャー、B - レイヤー ツール、C - 編集キャンバス、D - 編集ツール、E - 選択した画像、F - レイヤー、G - 背景画像

## レイヤー

レイヤーには、背景画像、上に重なる画像、グラフィック、文字、シェイプが含まれます。選択した背景画像の上に重なる各レイヤーは、[レイヤー マネージャー]のコンテンツの上に配置されます。[不透明度]と[ブレンドモード]を設定しない限り、不透明の画像が上に配置されます。



**注:**1つのPhotoDirector PHIファイルには、最大100個のレイヤーを重ねることができます。

## レイヤーの種類

[レイヤー]モジュールで利用可能なレイヤーの種類は次の通りです。

- **画像のレイヤー:**画像のレイヤーは、選択した背景画像と背景に重なる画像、グラフィック、ロゴなどです。テキストまたはシェイプを画像に変換す

る場合も、画像のレイヤーが作成されます。

- **テキストのレイヤー**:テキスト ツールを使用すると、テキスト レイヤーが追加されます。
- **シェイプのレイヤー**:シェイプ ツールを使用すると、シェイプ レイヤーが追加されます。

## 背景画像

背景画像は、PhotoDirector のライブラリー ([レイヤー] モジュールのフォト ブラウザー パネルで選択) に入っている画像です。背景画像を選んだら、レイヤー (テキスト、シェイプ、画像、グラフィック) を追加することができます。背景にレイヤーを追加すると、背景画像を変更、移動 (より高いレイヤーへ) することはできません。背景画像をコピーすることはできます。

## レイヤー ツール

[レイヤー] モジュールのツールを使うと、描画、テキスト、シェイプなどを画像の上に重ねることができます。詳細は、[「レイヤー ツールを使用する」](#) を参照してください。

## 編集ツール

編集ツールを使うと、選択したレイヤー中のオブジェクトを移動、回転、サイズ変更したり、レイヤー全体を回転、反転したりすることができます。詳細は、[「編集ツールを使用する」](#) を参照してください。

## レイヤーの例

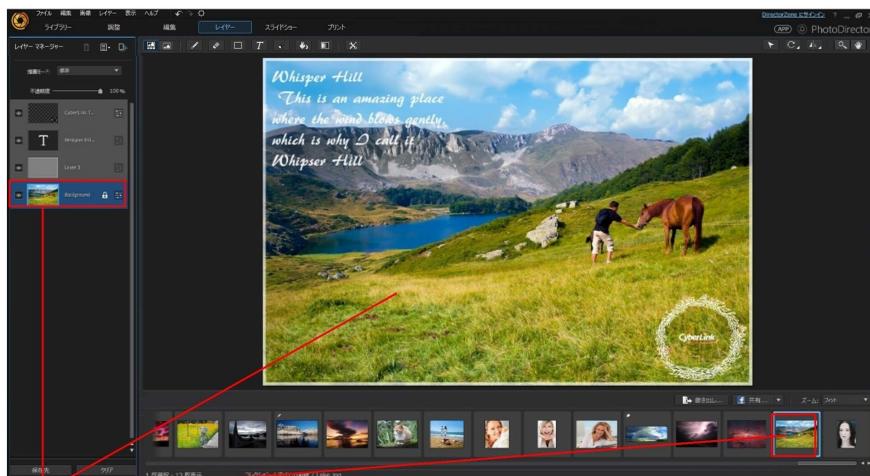
下にプロジェクトの例を紹介します (背景画像とシェイプ、テキスト、読み込んだ画像の 3 つのレイヤー)。



注:レイヤー プロジェクトの開始方法が分からない場合、[「クイックテンプレートを使用する」](#)を試してください。

## 背景画像

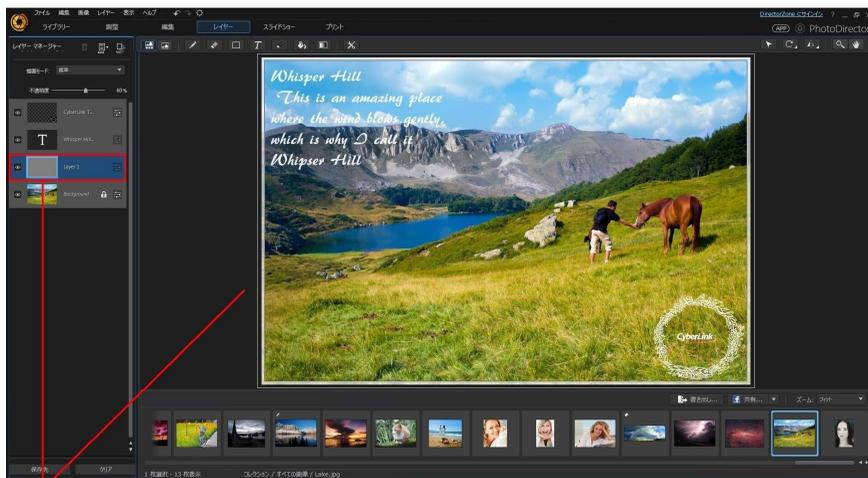
背景画像は常に [レイヤー マネージャー] の一番下に配置されます。背景画像はフォト ブラウザー パネルから選択します。



背景画像

## シェイプ レイヤー:

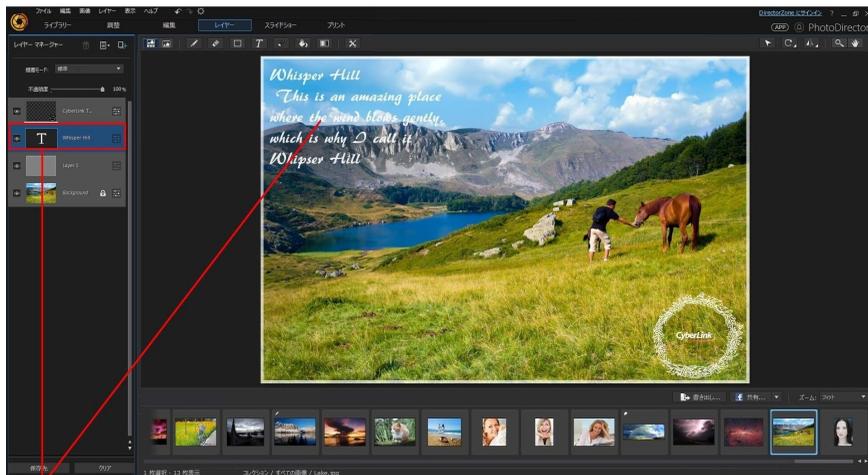
この例では、四角形のシェイプを背景画像の枠線として使います。ここでは、先に四角形を配置し、[型抜き] オプションを使って中心部分を型抜きすると背景画像が現れます。シェイプ追加に関する詳細は、[「シェイプ ツール」](#)を参照してください。



シェイプレイヤー

## テキストレイヤー:

テキストを背景画像の上に配置し、カスタマイズすることができます。テキスト追加に関する詳細は、[「テキストツール」](#)を参照してください。



テキストレイヤー

## 読み込んだ画像のレイヤー

ここでは、CyberLink のロゴが新しい画像レイヤーとして読み込まれ、背景の上に表示されます。レイヤーの合成とブレンド モードに関する詳細は、[「レイヤーの合成」](#)を参照してください。



読み込んだ画像レイヤー

## クイック テンプレートを使用する

クイック テンプレートはあらかじめデザインされたレイヤー テンプレートで、瞬時にクリエイティブな作品を作ることができます。クイック テンプレートを使うには、次の操作を行います。

1. フォト ブラウザー パネルから背景画像を選択します。
2.  をクリックして、**[クイック テンプレートの追加]** を選択します。[クイック テンプレートを追加] ウィンドウが表示されます。
3. クイック テンプレートを 1 つ選択して、**[OK]** をクリックします。



**注:**[\[DirectorZone でさらに検索する\]](#) のリンクをクリックすると、DirectorZone から他のクイック テンプレートをダウンロードすることができます。

4. 選択されたクイック テンプレートが、背景画像に適用されます。



**注:**クイック テンプレートに入っている背景画像は、テンプレート中に表示されることもありますが、デフォルトでは、[レイヤー マネージャー] では非表示に設定されています。[レイヤー マネージャー] に表示される場合、そのレイヤーを右クリックして、**[レイヤーの削除]** を選択すると、そのレイヤーはプロジェクトから削除されます。

- その後、[レイヤー マネージャー] とレイヤー、編集ツールを使って、画像をカスタマイズすることができます。

## レイヤー マネージャーを使用する

[レイヤー マネージャー] を使うと、レイヤーを追加したり、管理したりすることができます。デフォルトでは、選択した背景画像は [レイヤー マネージャー] の一番下に配置されます。

### 新しいレイヤーを追加する

新しいレイヤーを追加する方法はいくつかあります。新しいレイヤーを追加するには、次のいずれかを行います。

- [レイヤー マネージャー] の  をクリックして、**[空のレイヤーを追加]** を選択します。空のレイヤーが、選択したレイヤーの上に配置されます。空のレイヤーには、レイヤー ツールを使ってテキストやシェイプなどを追加することができます。
- [レイヤー マネージャー] の  をクリックして **[画像のレイヤーを追加]** をクリックします (画像、ロゴ、グラフィックを追加する場合)。追加する画像を選択して **[開く]** をクリックしてレイヤーに追加します。



**注:**フォト ブラウザー パネルから編集キャンパスに画像をドラッグ&ドロップして、新しい画像を追加することもできます。

- 既存のレイヤーをコピーする場合、[レイヤー マネージャー] からレイヤーを選択し、 をクリックして **[レイヤーのコピー]** を選択します。[レイヤー マネージャー] のレイヤーを右クリックして、**[レイヤーのコピー]** を選

択することもできます。



**注:**[レイヤー マネージャー] のレイヤーを右クリックして、**[レイヤーのコピー]** から **[レイヤーの貼り付け]** を選択し、コピーすることもできます。同じ方法で、保存したレイヤー プロジェクトからレイヤーをコピーし、新しい背景画像に貼り付けることができます。

次の操作を行うと、自動的にレイヤーが追加されます。

- 背景画像または読み込んだ画像のレイヤーにテキストまたはシェイプを追加。
- [新しいシェイプ レイヤーを作成] オプションを選択時に、既存シェイプのレイヤーにシェイプを追加。
- 既存シェイプのレイヤーにテキストを追加。
- フォト ブラウザー パネルの画像を編集キャンバスにドラッグ&ドロップ。

新しいレイヤーが追加されたら、[レイヤー マネージャー] を使って次のいずれかを行います。

- [画像のレイヤーを追加する](#)
- [レイヤーの不透明度を調整する](#)
- [レイヤーを合成する](#)
- [レイヤーを管理する](#)

## 画像のレイヤーを追加する

背景画像および読み込んだ画像のレイヤーは、[調整] モジュールのツールを使って調整することができます。画像のレイヤーを調整するには、次の操作を行います。



**注:**[レイヤー] モジュールに入る前に、必要な調整をすべて完了させておくことをお勧めします。

1. [レイヤー マネージャー] から画像のレイヤーを選択します。



2. 画像のレイヤーを右クリックして **[レイヤーの調整]** を選択するか、 ボタンをクリックします。[レイヤーの調整] ウィンドウが表示されます。



**注:** [レイヤーの調整] を開くと他のレイヤーは非表示になり、指定する画像のみ調整することができます。[すべてのレイヤーを同時にプレビュー] オプションを選択すると、他のレイヤーもすべて表示されます。

3. コントロールを使って、画像のレイヤーを調整します。調整コントロールに関する詳細は、[「調整」](#)を参照してください。
4. **[OK]** をクリックして、レイヤーに行った調整を保存します。



**注:** 一度ウィンドウを閉じると調整が適用され、[レイヤーの調整] ウィンドウをもう一度開いて編集できなくなります。調整を戻すには、キーボードの [Ctrl+Z] を押します。

## レイヤーの不透明度を調整する

[レイヤー マネージャー] で、レイヤー (背景のレイヤー以外) の不透明度を調整することができます。レイヤーを選択して、[レイヤー マネージャー] 上のスライダーを使って調整します。



## レイヤーを合成する

[レイヤー マネージャー] の [ブレンドモード] ドロップダウンから、レイヤーのブレンドモードを選択します。レイヤーを半透明にしたり、エフェクトを付けた

りして他のレイヤーと合わせることができます。

[ブレンド モード] には 14 種類のモードがあります。ブレンド モードは次の通りです。一つ一つ実際に試してみて、好みのモードを選択してください。それぞれのブレンド モードの上にマウスを置いて、適用されたエフェクトをプレビューすることもできます。

## 標準

初期設定のブレンド モードで、選択したレイヤーとその下のレイヤーのピクセルは混ざりません。

## 比較 (暗)

基本色または合成色のいずれか暗い方が結果色として選択されます。

## 乗算

選択したレイヤーの最も暗いピクセルは残り、最も明るいピクセルは透明になります。

## 焼き込みリニア

基本色を暗くして明るさを落とし、合成色を反映します。ホワイトと合成しても、変化はありません。

## 比較 (明)

基本色または合成色のいずれか明るい方が結果色として選択されます。

## スクリーン

[乗算] の反対で、最も明るいピクセルは残り、最も暗いピクセルは透明になります。

## 覆い焼きリニア

基本色を明るくして明るさを増し、合成色を反映します。ブラックと合成しても、変化はありません。

## オーバーレイ

[乗算] と [スクリーン] を合わせたブレンド モードです。暗いピクセルの場合、[乗算] のように合成されます。明るいピクセルの場合、[スクリーン] のように合成されます。

## リニア ライト

[焼き込みリニア] と [覆い焼きリニア] を合わせたブレンド モードです。暗いピクセルの場合、[焼き込みリニア] のように合成されます。明るいピクセルの場合、[覆い焼きリニア] のように合成されます。

## ハード ライト

[乗算] と [スクリーン] のモードに似ていますが、ブレンドされるピクセルの色によって異なります。

## ソフト ライト

画像の色を明るく/暗くします。ブレンドされるピクセルの色によって異なります。

## 差の絶対値

他のレイヤーのピクセル色から最も明るいピクセルの色値を差し引きます。ネガフィルムの効果に似ていますが、よりカラフルです。

## 除外

[差の絶対値] モードに似ていますが、コントラストはより低くなります。

## 色相

選択したレイヤーのピクセルの色相と、下のレイヤーのピクセルの明度と彩度が合成されます。

## 彩度

選択したレイヤーのピクセルの彩度と、下のレイヤーのピクセルの明度と色相が合成されます。

## 明度

選択したレイヤーのピクセルの明度と、下のレイヤーのピクセルの色相と彩度が合成されます。

# レイヤーを管理する

[レイヤー マネージャー] では、次の方法でもレイヤーの管理ができます。

## レイヤー名を変更する

背景レイヤー以外のレイヤーを右クリックして **[レイヤー名の変更]** を選択する

と、名前をカスタマイズすることができます。プロジェクトに複数のレイヤーが含まれる場合、名前を付けることで識別が簡単になります。

## レイヤーを削除する

レイヤーを削除するには、選択して  ボタンをクリックします。背景レイヤーは削除することはできません。

## レイヤーを非表示にする

1 つ以上のレイヤーを非表示にすることができます。他のレイヤーをより強調したり、表示されるレイヤーのみを結合、書き出す場合に使います。レイヤーを非表示にするには、[レイヤー マネージャー] の表示アイコンを選択解除します。



## レイヤーを画像に変換する

画像以外のレイヤーを右クリックして **[画像に変換]** を選択すると、そのレイヤーの仮想画像を作成することができます。この場合、テキストやシェイプ レイヤー向けのレイヤー ツールを使ったり、他の画像レイヤーと同様に作成したレイヤーを編集することができます。

## レイヤーを結合する

次の場合、[レイヤー マネージャー] の一部またはすべてのレイヤーを結合するこ

とができます。

- レイヤーの編集が完了している。
- [レイヤー マネージャー] に多くのレイヤーが入っていて、レイヤーを結合した方が管理しやすい。
- PHI ファイルのサイズを減らしたい。
- すべてのレイヤーを 1 つの画像にしたい。



**注:**レイヤーを結合すると、その後編集はできません。

2 つ以上のレイヤーを結合するには、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、[レイヤー マネージャー] からレイヤーを選択します。右クリックして、**[レイヤーの結合]** を選択します。表示されるレイヤーをすべて結合するには、**[表示されるレイヤーを結合]** を選択します。[レイヤー マネージャー] 中のレイヤーをすべて結合するには、**[すべて結合]** を選択します。

## レイヤー ツールを使用する

[レイヤー] モジュールのレイヤー ツールを使うと、描画、テキスト、シェイプなどを画像の上ののせることができます。利用可能なレイヤー ツールは次の通りです。

- [ペン ツール](#)
- [消しゴムツール](#)
- [シェイプ ツール](#)
- [テキスト ツール](#)
- [領域選択ツール](#)
- [塗りつぶしツール](#)
- [グラデーション ツール](#)

- [ぼかしツール](#)

## ペン ツール

[ペン ツール] を使うと、鉛筆、ブラシ、エアブラシを使って好みの色で描画することができます。  ボタンをクリックすると、[ペン ツール] が表示されます。



**注:**画像以外のレイヤーで [ペン ツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[ペン ツール] を使うには、次の操作を行います。

1. **[ツールの選択]** ドロップダウンから、いずれかのツールを選択します。**[鉛筆]**、**[ブラシ]**、**[エア ブラシ]** ツールを使うと、マウスをドラッグして線を引いたり色をつけたりすることができます。
2. **[サイズ]** スライダーで、ラインのサイズを設定します。
3. **[不透明度]** スライダーで、ラインの不透明度を設定します。
4. **[ブレンド モード]** のドロップダウンから、ラインと背景レイヤーを合成する方法を選択します。レイヤーの合成とブレンド モードに関する詳細は、[「レイヤーを合成する」](#) を参照してください。
5. **[カラー]** のボックスをクリックして、ラインの色を設定します。基本色から選択するか、カラー ピッカーを使って好みの色を選択します。または、HSB、RGB、# のフィールドに値を入れて、手動で設定することもできます。色を設定したら **[OK]** をクリックして、[カラー ピッカー] ウィンドウを閉じます。
6. キャンバスの上に描画します。

## 消しゴムツール

[消しゴム ツール] を使うと、画像のレイヤー上のピクセルを消去することができます。  ボタンをクリックすると、[消しゴム ツール] が表示されます。



**注:**画像以外のレイヤーで [消しゴム ツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[消しゴム ツール] を使うには、次の操作を行います。

1. **[ツールの選択]** ドロップダウンから、いずれかのツールを選択します。[消しゴム (鉛筆)]、[消しゴム (ブラシ)]、[消しゴム (ブロック)] を使い、マウスをドラッグして不要部分を消去します。
2. **[サイズ]** スライダーで、ラインのサイズを設定します。
3. **[不透明度]** スライダーで、ラインの不透明度を設定します。[100] に設定すると、選択したレイヤーの消去部分は完全に透明になります。
4. キャンバス上に描画して、不要部分を消去します。

## シェイプ ツール

[シェイプ ツール] を使うと、プロジェクトに特定の形を追加することができます。□ ボタンをクリックすると、[シェイプ ツール] が表示されます。ただし、シェイプのボタンは、最後に使ったシェイプの形に基づいて変わります。



**注:**画像のレイヤーにシェイプを追加すると、[レイヤー マネージャー] に新しいレイヤーが自動的に追加されます。

[シェイプ ツール] を使うには、次の操作を行います。



**注:**編集キャンバスにシェイプを追加したら、[\[選択&移動ツール\]](#) を使って移動、サイズ変更、回転をすることができます。

1. **[シェイプの選択]** ドロップダウンから、[四角形]、[楕円形]、[多角形]、[星] のいずれかのシェイプを選択します。
2. [シェイプ ツール] のオプションを設定します。詳細は、[「シェイプツールのオプション」](#) を参照してください。
3. [シェイプ領域] のオプションを設定します。詳細は、[「シェイプ領域のオプション」](#) を参照してください。

4. **[カラー]** のボックスをクリックして、シェイプの色を設定します。基本色から選択するか、カラー ピッカーを使って好みの色を選択します。または、HSB、RGB、# のフィールドに値を入れて、手動で設定することもできます。色を設定したら **[OK]** をクリックして、[カラー ピッカー] ウィンドウを閉じます。
5. 編集キャンバスをクリック&ドラッグして、好みの大きさのシェイプを作成します。



**注:**[四角形] または [楕円形] を追加する場合、編集キャンバスをクリックするだけでシェイプを作成することができます ([幅] や [高さ] も指定可能)。

## シェイプ ツールのオプション

選択するシェイプによって、利用できるツールは多少異なります。

### 四角形

四角形を作成する場合、次のシェイプ ツール オプションが利用できます。

- **幅、高さ:**作成した四角形のサイズ (ピクセル) が表示されます。手動で [幅]、[高さ] のフィールドにサイズを入力し、編集キャンバスをクリックすると、そのサイズの四角形が作成されます。
- **角丸:**選択すると、作成する四角形の角が丸く表示されます。**[半径]** のフィールドに角丸の半径を入力します。より高い数値を入れると、円形に近い四角形になります。
- **中央から:**選択して編集キャンバスでマウスをクリック&ドラッグすると、四角形は中央から外側に向かって作成されます。

### 楕円形

- **幅、高さ:**作成した楕円形のサイズ (ピクセル) が表示されます。手動で [幅]、[高さ] のフィールドにサイズを入力し、編集キャンバスをクリックす

ると、そのサイズの楕円形が作成されます。

- **中央から**: 選択して編集キャンバスでマウスをクリック&ドラッグすると、楕円形は中央から外側に向かって作成されます。

## 多角形

- **辺**: 多角形の角の数を入力します。3~100 の間で指定できます。

## 星

- **ポイント**: 星の先端の角の数を入力します。3~100 の間で指定できます。
- **インデント**: 星の角の間の深さを入力します。例えば、50% だと多角形の角の半分の幅になります。

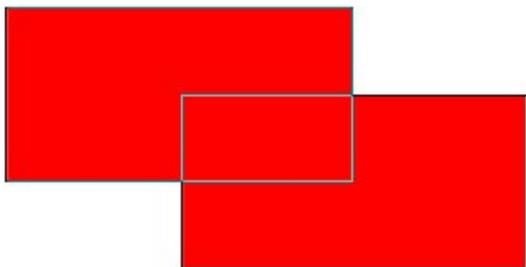
## シェイプ領域のオプション

シェイプを作成する前に、次のシェイプ領域のオプションのいずれかを選択することができます。

-  - 新しいシェイプがそのレイヤーに追加されます。



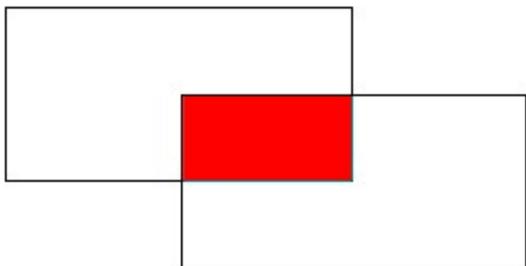
-  - 新しいシェイプを選択したシェイプのレイヤーに追加することができます。選択したレイヤーに 2 つ以上のシェイプを追加できます。



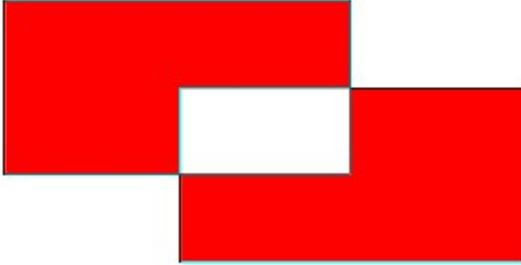
-  - 選択したシェイプのレイヤーの既存のシェイプから型抜きすることができます。シェイプの一部が透明になり、背景画像が現れます。



-  - 2つのシェイプが交差する部分に色がつきます。



-  - 2つのシェイプが交差する部分が透明になります。



## テキスト ツール

[テキスト ツール] を使うと、プロジェクトにテキストを追加することができます。**T** ボタンをクリックすると、[テキスト ツール] が表示されます。



**注:** 画像のレイヤーにテキストを追加すると、[レイヤー マネージャー] に新しいレイヤーが自動的に追加されます。

[テキスト ツール] を使うには、次の操作を行います。

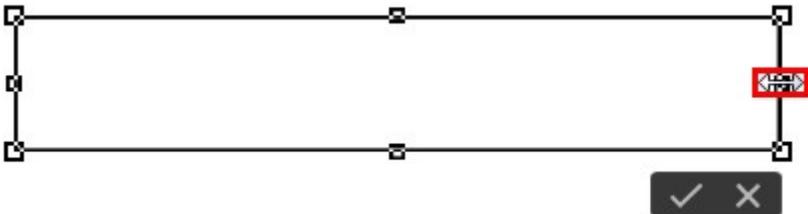


**注:** 編集キャンバスにテキストを追加したら、[\[選択 & 移動ツール\]](#) を使って移動、サイズ変更、回転をすることができます。

1. 編集キャンバスをクリックすると、テキスト ボックスが追加されます。



2. テキストの大きさに合わせて、テキスト ボックスのサイズを変更します。



3. テキストフォント、スタイル、サイズ、配列を設定します。**[テキストカラー]**のボックスをクリックして、テキストの色を設定します。基本色から選択するか、カラーピッカーを使って好みの色を選択します。または、HSB、RGB、#のフィールドに値を入れて、手動で設定することもできます。色を設定したら**[OK]**をクリックして、**[カラーピッカー]**ウィンドウを閉じます。
4. 追加するテキストをテキストボックスに入力します。



5. 必要な場合、**[境界線]**オプションを選択してテキストに境界線を追加します。選択したら、境界線の**[カラー]**と**[サイズ]**を設定します。



6. 必要な場合、**[シャドウ]**オプションを選択してテキストにシャドウを適用します。選択したら、シャドウの**[カラー]**と**[オフセット]**(テキストからの距離)を設定します。



7. 完了したら、 をクリックするとテキストが設定されます。



**注:**テキストを設定した後もう一度クリックすると、編集オプションを有効にしたり、編集キャンパスの他の位置に移動することができます。

## 領域選択ツール

[領域選択ツール] を使うと、画像レイヤーの特定の領域を選択することができます。 ボタンをクリックすると、[領域選択ツール] が表示されます。ただし、領域選択ツールのボタンは、最後に使ったツールに基づいて変わります。



**注:**画像以外のレイヤーで [領域選択ツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[領域選択ツール] を使うには、次の操作を行います。

1. **[ツールの選択]** から希望のツールを選択します。

-  - 編集キャンバスをクリックすると、四角い領域を選択することができます。
-  - 編集キャンバスをクリックすると、楕円形の領域を選択することができます。
-  - このボタンか小さい三角マークをクリックして **[なげなわ]** を選択すると、なげなわ選択ツールを使用できます。希望の領域をなぞって自由に指定できます。線をつなげないと、前と後ろの部分にまっすぐのラインが引かれます。
-  - このボタンか小さい三角マークをクリックして **[スマートなげなわ]** を選択すると、スマートなげなわ選択ツールを使用できます。希望の領域の端をクリックして、ドラッグしながらなげなわをつなげていきます。選択を終了するには、開始地点まで戻ってポイントをクリックします。追加したら、これらのポイントを動かしてさらに細かく指定することができます。

-  - このボタンか小さい三角マークをクリックして **[ブラシ]** を選択すると、選択ブラシを使用できます。クリックして希望する領域を選択します。
  -  - このボタンか小さい三角マークをクリックして **[スマート ブラシ]** を選択すると、スマート選択ブラシを使用できます。このブラシを使うと、類似するピクセルの領域が自動的に選択されます。
  -  - このツールを使うと、レイヤーから類似する色のピクセルすべてが選択されます。**[許容量]** スライダーで、マジック ワンドの強度を設定します。スライダーを右にドラッグすると、選択されていないピクセルまでより広くマークされます。マジック ワンドの他の選択オプションに関する詳細は、[「マジック ワンドの選択オプション」](#) を参照してください。
2. 使用する **[選択モード]** を選択します。
-  - 新しい領域を選択します。このモードを有効にすると、前に選択した部分はなくなります。
  -  - 既存の選択を追加するか、2 つ以上の画像レイヤーを選択する場合、この選択モードを使います。
  -  - 選択した領域の一部を選択解除します。
3. **[ブラシ]** または **[スマート ブラシ]** を使う場合、**[サイズ]** スライダーでブラシのサイズを設定することができます。
4. **[ぼかし]** スライダーで、トランジション レベル (選択部分およびその部分のピクセル) を設定します。
-  **注:**[\[マジック ワンドの選択\]](#) 使用中は、**[ぼかし]** スライダーは表示されません。詳細は、[「マジック ワンドの選択オプション」](#) を参照してください。
5. 設定が完了したら、選択したツールで希望の領域を選択します。



注: 選択してから  をクリックして選択部分を反転したり、 をクリックしてクリアすることができます。

6. 選択が完了したら、次の操作を行うことができます。

-  ボタンをクリックするかキーボードの [Delete] ボタンを押すと、選択した領域が削除され、透明になります。
-  をクリックして、選択した領域を調整します。詳細は、[「画像のレイヤーを調整する」](#) を参照してください。
- [塗りつぶしツール] を使って、選択した領域を単色で塗りつぶします。詳細は、[「塗りつぶしツール」](#) を参照してください。
- [グラデーション ツール] を使って、選択した領域にグラデーションを追加します。詳細は、[「グラデーション ツール」](#) を参照してください。

## マジック ワンドの選択オプション

[マジック ワンドの選択] ツールを開くと、次のオプションが利用できます。

- **全レイヤーを対象**: 全レイヤーに選択したピクセルを適用する場合、このオプションを選択します。選択したレイヤーのみに適用する場合、このオプションを選択解除します。
- **アンチエイリアス**: 輪郭をスムーズに表示する場合、このオプションを選択します。
- **隣接**: 隣接するピクセル (選択するピクセルと接触する類似する色のピクセル) のみを選択する場合、このオプションを選択します。このオプションを選択しないと、選択するピクセルと類似する色のピクセルがすべて選択されます。

## 塗りつぶしツール

[塗りつぶしツール]を使うと、色を指定して画像中の類似するピクセル部分を塗りつぶすことができます。 ボタンをクリックすると、[塗りつぶしツール]が表示されます。



**注:**画像以外のレイヤーで [塗りつぶしツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[塗りつぶしツール]を使うには、次の操作を行います。

1. **[カラー]** のボックスをクリックして、色を設定します。基本色から選択するか、カラー ピッカーを使って好みの色を選択します。または、HSB、RGB、# のフィールドに値を入れて、手動で設定することもできます。色を設定したら **[OK]** をクリックして、[カラー ピッカー] ウィンドウを閉じます。
2. **[ブレンド モード]** のドロップダウンから、色と背景レイヤーを合成する方法を選択します。レイヤーの合成とブレンド モードに関する詳細は、[「レイヤーを合成する」](#) を参照してください。
3. **[許容量]** スライダーを使って、色の塗りつぶしレベルを設定します。[許容量] を下げると塗りつぶす周囲の色の影響は小さく、上げると周囲の色の影響が大きくなります。
4. **[不透明度]** スライダーで、塗りつぶす色の不透明度を設定します。
5. **[隣接]** オプションを選択すると、隣接するピクセル (選択するピクセルと接触する類似する色のピクセル) にのみ、色が塗りつぶされます。このオプションを選択しないと、選択するピクセルと類似する色のピクセルはすべて塗りつぶされます。
6. 類似する色のピクセルをクリックして、塗りつぶします。



**注:**領域選択ツールで選択した領域にも [塗りつぶしツール] を使うことができます。自然に表示するには、**[ぼかし]** の値を適切 (レベルを上げすぎない) に設定します。

## グラデーション ツール

[グラデーション ツール] を使うと、選択した領域または 1 枚の画像レイヤー全体にグラデーションをつけることができます。  ボタンをクリックすると、[グラデーション ツール] が表示されます。



**注:**画像以外のレイヤーで [グラデーション ツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[グラデーション ツール] を使うには、次の操作を行います。

1. **[グラデーションの種類]** を選択します。5 つのオプションがあります。
2. グラデーションの **[スタイル]** を選択します。
  - **前景から背景:** 選択した前景の色から選択した背景の色のグラデーションを作成します。
  - **前景から透明:** 選択した前景の色から透明な領域のグラデーションを作成します。背景または他の画像にグラデーションをつける場合、このスタイルを使います。
  - **黒から白:** 黒から白のグラデーションを作成します。
3. 二色の **[カラー]** のボックスを選択して、グラデーションに使う前景と背景の色を設定します。基本色から選択するか、カラー ピッカーを使って好みの色を選択します。または、HSB、RGB、# のフィールドに値を入れて、手動で設定することもできます。色を設定したら **[OK]** をクリックして、[カラー ピッカー] ウィンドウを閉じます。
4. **[反転]** オプションを選択すると、グラデーションの方向が切り替わりません。
5. **[不透明度]** スライダーで、グラデーションの不透明度を設定します。
6. **[ブレンド モード]** のドロップダウンから、グラデーションの色と背景レイヤーを合成する方法を選択します。レイヤーの合成とブレンド モードに関する詳細は、[「レイヤーを合成する」](#) を参照してください。

7. 選択した画像レイヤーをクリック&ドラッグして追加し、グラデーションの方向を設定します。



**注:**領域選択ツールで選択した領域にも [グラデーション ツール] を使うことができます。自然に表示するには、**[ぼかし]** の値を適切 (レベルを上げすぎない) に設定します。

## ぼかしツール

[レイヤー] モジュールの [ぼかしツール] を使って、レイヤーにぼかしエフェクトを適用することができます。



**注:**画像以外のレイヤーで [ぼかしツール] を使おうとすると、レイヤーを画像に変換するか、ダイアログが表示されます。

[ぼかしツール] を使うには、次の操作を行います。

1. ぼかしエフェクトを適用するレイヤーを選択します。
2.  ボタンをクリックし **[ぼかしツール]** を選択して、[ぼかしツール] ウィンドウを開きます。
3. [ぼかしツール] を使って、ぼかしエフェクトを適用します。ツールの詳細は、[「ぼかしツール」](#) を参照してください。



**注:**[ぼかしツール] を開くと他のレイヤーは非表示になり、選択するレイヤーのエフェクトのみが表示されます。**[すべてのレイヤーを同時にプレビュー]** オプションを選択すると、他のレイヤーもすべて表示されます。

4. **[OK]** をクリックして変更内容を保存すると、レイヤーにぼかしが適用されます。

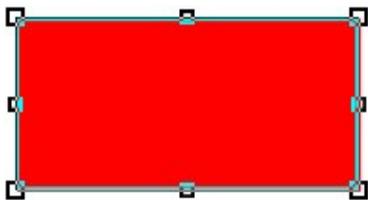
## 編集ツールを使用する

[レイヤー] モジュールには、他にも 3 つの編集ツールが搭載されています。

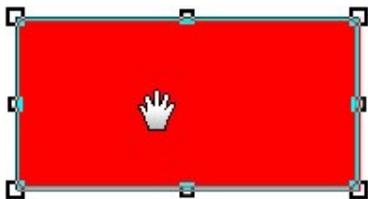


## 選択&移動ツール

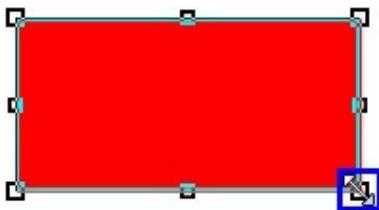
 ボタンをクリックすると、編集キャンバス上の画像、シェイプ、テキストを移動、回転、サイズ変更することができます。クリックすると、選択したレイヤーのオブジェクトの周りにポイントが表示されます。

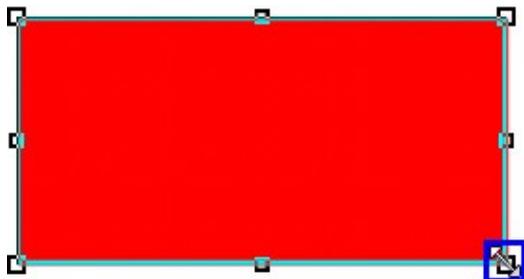


オブジェクトを移動するには、その上にマウスを置きます。カーソルが手のマークに変わったら、オブジェクトをクリックして、他の位置に移動します。

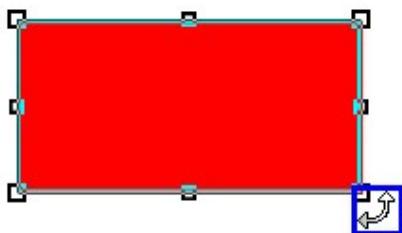


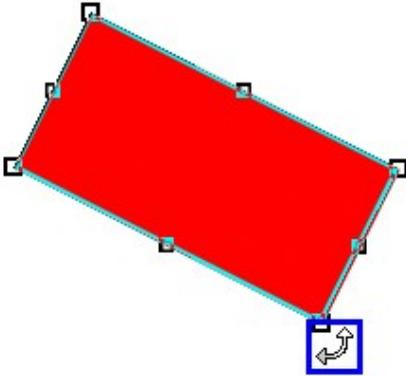
オブジェクトのサイズを変更するには、オブジェクト周りのポイントのいずれかをクリック&ドラッグします。





オブジェクトを回転するには、ポイントのいずれかにマウスを近づけます。カーソルが曲線の矢印に変わったら、編集キャンバスをクリック&ドラッグして、オブジェクトを回転します。





## 回転ツール

回転ツールを使うと、キャンバス全体または選択したレイヤーを回転することができます。回転ツールボタン右下の三角形をクリックして、次のいずれかのオプションを選択します。



**注:** 回転ツールのボタンは、最後に使ったツールに基づいて変わります。

- **左に 90 度回転:** キャンバス全体とすべてのレイヤーを左に 90 度回転します。
- **右に 90 度回転:** キャンバス全体とすべてのレイヤーを右に 90 度回転します。
- **レイヤーを左に 90 度回転:** 選択したレイヤーを左に 90 度回転します。
- **レイヤーを右に 90 度回転:** 選択したレイヤーを右に 90 度回転します。

## 反転ツール

反転ツールを使うと、キャンバス全体または選択したレイヤーを反転することが

できます。反転ツールボタン右下の三角形をクリックして、次のいずれかのオプションを選択します。



**注:**反転ツールのボタンは、最後に使ったツールに基づいて変わります。

- **左右反転:**キャンバス全体とすべてのレイヤーを左右に反転します。
- **上下反転:**キャンバス全体とすべてのレイヤーを上下に反転します。
- **レイヤーを左右に反転:**選択したレイヤーを左右に反転します。
- **レイヤーを上下に反転:**選択したレイヤーを上下に反転します。

## レイヤー プロジェクトを保存する

[レイヤー] モジュールの調整が完了したら、モジュール下の **[保存先]** ボタンをクリックします。次のオプションから選択します。

- **[新しい画像ファイルとして保存]** を選択して、.JPG、.PNG、.TIF 形式で保存します。CyberLink PhotoDirector 専用のファイル形式 (PHI) でも保存することができます。PhotoDirector の [レイヤー] モジュールで PHI ファイルを編集することができます。このファイル形式は、PowerDirector などの他の CyberLink 製品とも互換性があります (画像ファイルとして表示)。



**注:**画像ファイルには、表示されるレイヤーのみが保存されます。

- **[クイック テンプレートとして保存]** を選択して、テンプレートとして保存します。他の画像に使ったり、DirectorZone で共有することができます。

## クイック テンプレートを保存、共有する

レイヤー プロジェクトをクイック テンプレートとして保存するには、次の操作を行います。

1. **[保存先]** ボタンをクリックして、**[クイック テンプレートとして保存]** を選

択します。



**注:**クイック テンプレートには、表示されるレイヤーのみが保存されます。

2. [クイック テンプレートの保存] ウィンドウに、次のように情報を入力します。
  - **名前:**クイック テンプレートの名前を入力します。
  - **説明:**クイック テンプレートの説明を入力します。
  - **タグ:**クイック テンプレートの DirectorZone でのキーワード検索タグを入力します。
  - **DirectorZone でこのクイック テンプレートを共有:**DirectorZone でこのクイック テンプレートを共有するには、このオプションを選択します。
3. **[次へ]** をクリックします。



**注:**クイック テンプレートを共有しない場合、保存されたテンプレートは [クイック テンプレートを追加] ウィンドウに表示されます。

4. DirectorZone にサインインして、**[次へ]** をクリックします。
5. DirectorZone の著作権情報を確認したら **[私は上述の著作権情報を確認しました]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。
6. クイック テンプレートがアップロードされます。**[閉じる]** をクリックして、[レイヤー] モジュールに戻ります。

## 第 8 章:

# 画像の書き出しと共有を行う

画像の調整、編集やレイヤーの作成が完了したら、書き出して新しい画像ファイルを作成したり、Facebook や Flickr で共有することができます。



**注:** CyberLink PowerDirector 11 以降がコンピューターにインストールされている場合、フォト ブラウザー パネルから個々の画像を選択して、メニューから **[ファイル] > [PowerDirector に書き出し]** を選択して、PowerDirector のタイムラインに送ることもできます。

## 画像を書き出す方法

画像の調整、編集やレイヤーを作成したら、書き出しを行います。書き出し時に、画像への変更内容がすべて適用され、新規の画像ファイルが作成されます。

複数の画像を一度に書き出すことができます。画像を書き出すには、画像、フォルダー、アルバム、コレクションなどを選択し、**[画像の書き出し]** を選択するか、**[書き出し]** ボタンをクリックします。

異なる場所から一枚以上の画像を書き出すことができますが、方法は同じです。

画像を書き出すには、次の操作を行います。

1. **[プロファイル使用]** のドロップダウン リストからカスタムの書き出しプロファイルを選択します。書き出しプロファイルの作成方法および使用方法は、[「プロファイルを書き出す」](#) を参照してください。
2. [画像の書き出し] ウィンドウの **[書き出し先]** では、書き出し先を次のように指定します。
  - **場所オプション:**書き出し先を指定します。
    - **別のフォルダーに入れる:**元画像の保存先以外のフォルダーに書き出しします。
    - **元画像として同じ位置に保持:**元画像と同じフォルダーに書き出しします。

- **別のフォルダーで元の構造を保持:**元画像のフォルダーと同じ構造で、別のフォルダーに書き出します。



**注:**書き出した後に画像をサイバークラウドのストレージにアップロードするには、**[サイバークラウドにコピーをアップロード]\***を選択します(サイバークラウドを契約している場合)。\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

- **フォルダー:**画像を書き出すフォルダーを次のように指定します。
    - をクリックして、画像を書き出すコンピューター中のフォルダーを指定します。
    - **サブフォルダーに入れる:**新しいサブフォルダーに書き出し画像を入れる場合に、このオプションを選択します。新規フォルダーの名前を入力します。
    - **書き出した画像を現在のプロジェクトに追加する:**書き出し後に画像をライブラリーに追加する場合に、このオプションを選択します。
    - **ファイル名が重複:**書き出しフォルダーに同じ名前が存在する場合、ドロップダウンから希望のオプションを選択します。
3. [画像の書き出し] ウィンドウの **[名前付け]** セクションでは、書き出す画像ファイルの名付け方法を指定します。



**注:****[名前付け]** 下の **[例]** に表示される名付け例を参照にします。

- **形式:**書き出す各画像の名前形式を選択します。元の画像と同じ名前を使う場合は、**[ファイル名]** を選択します。
  - **カスタム名:**画像にカスタム名を付ける場合は、**[形式]** のドロップダウンからカスタム名のオプションのいずれかを選択して、名前を入力します。
  - **開始番号:**ファイル名に連番を付ける場合は、開始する番号を指定します。
4. [画像の書き出し] ウィンドウの **[ファイルの設定]** セクションでは、次のよ

うにファイル形式、カラー スペース、画質を指定します。

- **形式**:書き出す画像の形式を JPEG または TIFF から選択します。
  - **カラー スペース**:書き出し画像に使用するカラー スペースの種類を選択します。
  - **画質**:JPG 形式で書き出す場合、スライダーを使って書き出す画像の画質を設定します。画質を高くすると、画像のファイル サイズは大きくなります。TIFF 形式で書き出す場合、**[圧縮]** ドロップダウンから **[ZIP]** を選択します (書き出し中に画像を圧縮する場合)。
5. [画像の書き出し] ウィンドウの **[画像サイズを変更]** セクションでは、次のように書き出し画像のサイズを指定します。
- **元画像の解像度を保持**:書き出し処理時に元の画像サイズを変更しない場合は、このオプションを選択します。未調整の画像を再圧縮しない場合は、**[元画像が JPEG で未調整の場合は再圧縮しない]** を選択します。
  - **サイズ変更して合わせる**:書き出し処理時に画像サイズを変更する場合は、このオプションを選択します。新しいサイズを次のようにドロップダウンから指定します。
    - **長辺**:長い側を指定するサイズに変更する場合にこのオプションを選択し、ピクセルを指定します。
    - **幅と高さ**:縦または横を指定するサイズに変更する場合にこのオプションを選択し、ピクセルを指定します。縦横比を保持した状態で、指定するサイズに変更します。
    - **短辺**:短い側を指定するサイズに変更する場合にこのオプションを選択し、ピクセルを指定します。
  - **画像の解像度を上げない**:元画像が指定サイズより小さい際に、画像の解像度を上げない場合は、このオプションを選択します。これにより、画質の損失を防ぎます。
  - **サイズ変更後にシャープにする**:サイズ変更後に各画像をシャープにする場

合は、このオプションを選択します。

6. [画像の書き出し] ウィンドウの **[メタデータ]** で、書き出す画像に含めるメタデータを指定します。
  - **EXIF を削除する**:Exchangeable Image Format (EXIF) のデータを画像から削除する場合に、このオプションを選択します (可能な場合)。
  - **IPTC を削除する**:International Press Telecommunications Council (IPTC) のメタデータを画像から削除する場合に、このオプションを選択します (可能な場合)。
  - **メタデータにタグを書き込む**:各画像のメタデータにキーワード タグを書き込む場合に、このオプションを選択します。
  - **メタデータに著作権情報を書き込む**:各画像のメタデータに著作権情報を書き込む場合に、このオプションを選択します。
7. **[透かし]** セクションでは、次のように透かしのすべての書き出し画像に追加します。
  - **透かしの追加**:このオプションを選択して、 をクリックします。[透かしテンプレート] ウィンドウで、すべての書き出し画像に適用する透かしを選択して、**[OK]** をクリックします。
8. **[書き出し]** をクリックします。すべての画像が指定した通りに書き出されます。

## プロファイルを書き出す

[画像の書き出し] ウィンドウの書き出し設定が完了したら、カスタムの書き出しプロファイルとして保存して、後で使うことができます。

新しい書き出しプロファイルを作成するには、次の操作を行います。

1. [画像の書き出し] ウィンドウで、書き出しの設定を行います。
2.  をクリックします。

3. **[名前]** を入力します。
4. **[OK]** をクリックして、**[プロファイル使用]** のリストに保存します。



**注:** プロファイルを変更したら、 ボタンをクリックして変更内容を保存します。 ボタンをクリックして、選択した書き出しプロファイルを削除します。

## 画像を共有する

ライブラリーから Facebook や Flickr にアップロードしたり、メールで送信したりして、画像を共有することができます。DirectorZone フォト ギャラリーにアップロードしたり、サイバリンク クラウド\* (契約ユーザー向け) にバックアップすることもできます。



**注:** \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## Facebook に画像をアップロードする

Facebook に画像をアップロードして共有するには、次の操作を行います。

1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグから共有する画像を選択します。
2. フォト ブラウザー パネルから、アップロードする画像をすべて選択します。
3. パネルの  をクリックして、**[Facebook]** を選択します。  

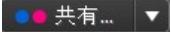
4. **[共有]** をクリックして、アップロード ウィザードを開きます。
5. Facebook に画像をアップロードするには、認証が必要です。ウィザードに従って認証プロセスが完了したら、**[続行]** をクリックします。
6. **[アルバムに追加]** ドロップダウンから、画像をアップロードするアルバム

を選択します。

- **既存のアルバムに追加**: Facebook に対象のアルバムがある場合に、このオプションを選択します。一覧から画像をアップロードするアルバムを選択します。
  - **新規アルバムを作成、追加**: 新しいアルバムを追加します。新しいアルバム情報を入力します (**[プライバシー]** 情報を含む)。
7. [画像の設定] で **[画像の説明]** を入力します。この説明は、アップロードする各画像に記載されます。
  8. 必要に応じて、**[透かしの追加]** オプションを選択します。  をクリックして、アップロードするすべての画像に透かしを追加します。[透かしテンプレート] ウィンドウで、適用する透かしを選択して、**[OK]** をクリックします。
  9. **[アップロード]** ボタンをクリックして、アップロードを行います。

## Flickr に画像をアップロードする

Flickr に画像をアップロードして共有するには、次の操作を行います。

1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグから共有する画像を選択します。
2. フォト ブラウザー パネルから、アップロードする画像をすべて選択します。
3. パネルの  をクリックして、**[Flickr]** を選択します。 。
4. **[共有]** をクリックして、アップロード ウィザードを開きます。
5. Flickr に画像をアップロードするには、認証が必要です。ウィザードに従って認証プロセスが完了したら、**[続行]** をクリックします。
6. **[セットに追加]** ドロップダウンから、画像をアップロードするセットを選択します。

- **既存のセットに追加:**Flickr に対象のセットがある場合に、このオプションを選択します。一覧から画像をアップロードするセットを選択します。
  - **新規セットを作成、追加:**新しいセットを追加します。**[セット名]**に名前を入力します。
  - **いかなるセットに追加しない:**Flickr にセットを追加しない場合に、このオプションを選択します。
7. [画像の設定] では、次のように設定します。
- **タグを含める:**キーワード タグを含める場合に、このオプションを選択します。Flickr にタグが表示されます。
  - **アップロード時にサイズを変更:**アップロード前に各画像のサイズを変換する場合に、このオプションを選択します。選択したら、**[ファイル サイズ]** ドロップダウンからサイズを選択します。
8. [プライバシー設定] で、画像を表示できる人を指定します。
9. 必要に応じて、**[透かしの追加]** オプションを選択します。  をクリックして、アップロードするすべての画像に透かしを追加します。[透かしテンプレート] ウィンドウで、適用する透かしを選択して、**[OK]** をクリックします。
10. **[アップロード]** ボタンをクリックして、アップロードを行います。

## サイバークラウドに画像をバックアップする

サイバークラウドの契約ユーザーは、サイバークラウド\* に画像をバックアップすることができます。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

サイバークラウドに画像をバックアップするには、次の操作を行います。

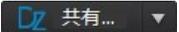
1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグから共有する画像を選択します。
2. フォト ブラウザー パネルから、アップロードする画像をすべて選択します。
3. パネルの  をクリックして、**[サイバークラウド]** を選択します。  

4. **[共有]** をクリックして、アップロード ウィザードを開きます。
5. 必要に応じて PhotoDirector のアカウント情報を入力してサインインし、**[次へ]** をクリックします。
6. **[アルバムに追加]** ドロップダウンから、画像をアップロードするアルバムを選択します。
  - **既存のアルバムに追加:**サイバークラウド に対象のアルバムがある場合に、このオプションを選択します。一覧から画像をアップロードするアルバムを選択します。
  - **新規アルバムを作成、追加:**新しいアルバムを追加します。新しいアルバム名を入力します。
7. [画像] 設定で、元の画像を **[縮小]** (サイズと画質を縮小) するか **[オリジナル]** のサイズと画質を保持するかを選択します。
8. 必要に応じて、**[透かしの追加]** オプションを選択します。  をクリックして、アップロードするすべての画像に透かしを追加します。[透かしテンプレート] ウィンドウで、適用する透かしを選択して、**[OK]** をクリックします。
9. **[アップロード]** ボタンをクリックして、アップロードを行います。

## DirectorZone に画像をアップロードする

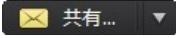
DirectorZone のフォト ギャラリーに画像をアップロードすることができます。

DirectorZone に画像をアップロードするには、次の操作を行います。

1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグから共有する画像を選択します。
2. フォト ブラウザー パネルから、アップロードする画像をすべて選択します。
3. パネルの  をクリックして、**[DirectorZone]** を選択します。  

4. **[共有]** をクリックして、アップロード ウィザードを開きます。
5. 著作権情報を確認したら、**[次へ]** をクリックします。
6. DirectorZone のアカウント情報を入力してサインインし、**[次へ]** をクリックします。アカウントがない場合は、**[アカウントの取得]** のリンクをクリックして登録します (無料)。
7. 必要に応じてキーワード検索 **[タグ]** を入力します (DirectorZone で画像を検索時に使用)。
8. 必要に応じて、**[透かしの追加]** オプションを選択します。  をクリックして、アップロードするすべての画像に透かしを追加します。[透かしテンプレート] ウィンドウで、適用する透かしを選択して、**[OK]** をクリックします。
9. **[アップロード]** ボタンをクリックして、アップロードを行います。

## 画像をメール送信する

メールで画像を共有するには、次の操作を行います。

1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグから共有する画像を選択します。
2. フォト ブラウザー パネルから、メール送信する画像をすべて選択します。
3. パネル上の  をクリックして、**[メール]** または **[共有]** を選択します：  
。
4. [メール送信画像の設定] では、次のように設定します。
  - **サイズ**:メール送信前に画像サイズを変更する場合は、このオプションを選択します。ドロップダウンから画像サイズ (ピクセル) を指定し、スライダーで画像ファイルの画質とサイズを設定します。画質を高く設定すると、画像のファイル サイズは大きくなります。
5. **[メールの送信]** ボタンをクリックします。デフォルトのメール クライアントが起動し、選択された画像がメールに添付されます。



**注:**コンピューターにデフォルトのメール クライアントが設定されていない場合、自動メール機能が動作しない可能性があります。動作しない場合、画像を右クリックして **[ファイル保存先]** を選択し、手動でメール メッセージに画像を貼り付けます。

6. デフォルトのメール クライアントでメールが送信されます。

## 第 9 章:

# スライドショー

フォト スライドショーを作成することができます。スライドショーを動画ファイルとして書き出したり、YouTube にアップロードすることもできます。

## フォト スライドショーを作成する

フォト スライドショーを作成するには、次の操作を行います。

1. プロジェクト ライブラリーのコレクション/フォルダー/アルバム/キーワード タグからスライドショーに入れる画像を選択します。
2. **[スライドショー]** をクリックして、スライドショー モジュールを開きます。
3. フォト ブラウザー パネルから、スライドショーに入れる画像をプレビュー ウィンドウにドラッグします。



**注:** 画像をドラッグして、順番を変えることもできます。

4. **T** ボタンをクリックして、スライドショーの画像にテキスト キャプションを追加します。カラー ボードを追加して、タイトルおよびクレジットと組み合わせることもできます。
5. **🎬** ボタンをクリックして、スライドショーにカラーボードを追加します。カラー ボードはスライドショーの間に挿入したり、タイトルやクレジット用に使います。カラー パネルからカラー ボードの色を選択して、**[カラーボードの追加]** をクリックします。
6. スライドショーの **[スタイル]** を次のように設定します。
  - **エフェクト:** スライドショーで使うエフェクトを選択します。**[フェード]** では、スライドショーの画像にフェードイン/フェードアウト効果を追加します。**[ワイプ左ソフト]** では、スライド間にワイプ エフェクトを追加しま

す。[**モーショ**ン] では、パン/ズーム効果を追加して動きのあるスライドショーを作成します。

- **縦横比**:スライドショーの [縦横比] を選択します。
- **BGM**:スライドショーに BGM を加える場合に、このオプションを選択します。  をクリックして、BGM 用の音楽ファイルを選択します。
- **所要時間**:各画像が表示される時間 (スライドショーで次の画像が表示されるまでの時間) を指定します。[**音楽に合わせる**] を選択すると、選択した BGM の再生時間に合わせてスライドショーを表示します。

7. [再生] ボタンをクリックして、スライドショーをプレビューします。

## スライドショーを生成する

フォト スライドショーを生成\* して、動画ファイル (MPEG-4\* または WMV 形式) として書き出すことができます。

スライドショーを生成するには、次の操作を行います。

1. [**生成**] ボタンをクリックします。
2. [**出力フォルダー**] または生成する動画ファイルを保存する場所を指定します。



**注**:出力後にファイルをサイバークラウドのストレージにアップロードするには、[**サイバークラウドにコピーをアップロード**]\* を選択します (サイバークラウドを契約している場合)。

3. 動画の出力形式 (MPEG-4 または WMV) を選択します。
4. ドロップダウンから使用する動画ファイルの [**プロフィール**] を選択します。
5. 出力する動画ファイル音声の [**音声形式**] を選択します。
6. [**生成**] をクリックして開始します。生成が行われ、スライドショーの動画ファイルが作成されます。

7. 生成が完了したら、**[OK]** をクリックします。



**注:**\* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

## YouTube でスライドショー ビデオを共有する

YouTube にスライドショーをアップロードして共有することができます。アップロード処理中に、YouTube に適した高画質の動画が生成されます。

YouTube でスライドショー ビデオを共有するには、次の操作を行います。

1. スライドショーを作成したら、**[共有]** をクリックします。
2. YouTube アカウントの **[ユーザー名]** および **[パスワード]** を入力したら、**[サインイン]** をクリックして続行します。YouTube のアカウントを作成するには、**[アカウントの取得]** のリンクをクリックします。



**注:**ユーザー名とパスワードを保存して次から自動的にログインするには、**[ログイン情報を保存する]** を選択します。

3. 次のアップロード ウィンドウで生成する動画の **[画質]** を選択して、生成するファイルのコンピューターの保存先を指定します。**[次へ]** をクリックして続行します。



**注:**YouTube へのアップロード後に生成したスライドショー ビデオをコンピューターから削除する場合は、**[アップロード後に出力ファイルを削除する]** を選択します。

4. 次のウィザード ウィンドウで、動画の詳細を次のように入力します。
  - **タイトル:**スライドショー ビデオのタイトルを入力します。
  - **説明:**スライドショー ビデオの説明を入力します。
  - **タグ:**動画を説明するタグを入力します。複数のタグを入力する場合、コンマで区切ります。タグは YouTube での検索キーワードとして使用されません。



**注:**動画をアップロードする前に、タイトル、説明、最低 1 つのタグを入力する必要があります。

- **カテゴリ:**一覧から関連する動画のカテゴリを選択します。
- **[公開]** または **[非公開]** のいずれかを選択して、公開の有無を設定します。



**注:**このスライドショー ビデオを DirectorZone でも共有する場合は、**[DirectorZone でこの動画を共有します]** を選択します。

5. **[次へ]** をクリックして、[著作権情報] ウィンドウに移動します。アップロードするメディアに著作権がないことを確認して、**[次へ]** をクリックしてアップロードを開始します。
6. アップロードが完了したら **[閉じる]** をクリックしてウィザード ウィンドウを閉じ、CyberLink PhotoDirector に戻ります。

## 第 10 章:

# プリントを行う

画像の整理、調整、編集、作成が完了したら、[プリント] ウィンドウから高画質プリントを行うことができます。

## 画像をプリントする

[プリント] ボタンをクリックして、[プリント] ウィンドウを開きます。[プリント] ウィンドウから、一度に複数の画像をプリントしたり、1 枚に複数の画像をプリントすることができます。

画像をプリントするには、次の操作を行います。

1. プリントするページのレイアウトをカスタマイズします。詳細は、[「レイアウトをカスタマイズする」](#) を参照してください。
2. プリントする画像を希望するセルの中にドラッグ&ドロップします。
3. 画像の設定をカスタマイズします。詳細は、[「画像の設定をカスタマイズする」](#) を参照してください。
4. プリントの設定をカスタマイズします。詳細は、[「プリントの設定をカスタマイズする」](#) を参照してください。
5. 必要に応じて透かしテンプレートを追加します。詳細は、[「透かし」](#) を参照してください。
6. [プリント] ボタンをクリックして、指定する画像をプリントします。

## レイアウトをカスタマイズする

プリント パネルの [レイアウト] セクションで、プリントするページと画像のレイアウトを次のようにカスタマイズします。

### 用紙の設定

- **用紙サイズ**:希望の用紙サイズを選択します。プリントする用紙のサイズに合わせます。
- **方向**:プリントする方向を **[縦]** または **[横]** から選択します。

## ページグリッド

1 枚の紙に複数の画像を入れるには、[ページグリッド] のスライダーでページのレイアウトを設定します。

- **行**:ページグリッドの [行] を設定します。
- **列**:ページグリッドの [列] を設定します。



**注**:ページに 1 枚の画像のみを入れるには、各スライダーを [1] に設定します。

## セルサイズ

[セルサイズ] のスライダーで、ページグリッドの各セルの大きさを設定します。

- **単位の設定**:セルで使用する単位 (インチ、センチメートル、ミリメートル) を選択します。
- **高さ**:各セルの高さを設定します。
- **幅**:各セルの幅を設定します。

## 画像の設定をカスタマイズする

プリントパネルの [画像の設定] セクションで、画像の表示方法を次のようにカスタマイズします。

- **ズームして合わせる**:セルに合わせて各画像を自動的にズームする場合に、このオプションを選択します。選択したら  をクリックして、移動機能を有効にします。有効にしたら、画像をクリック&ドラッグして希望する位置まで移動します。



 を選択して、画像をロックします。移動機能は、無効にするまですべてのセルで有効となります。

- **回転して合わせる**:セルに合わせて画像を回転する場合に、このオプションを選択します。
- **グリッド ラインを非表示にする**:グリッド ラインを非表示にする場合に、このオプションを選択します。

## プリントの設定をカスタマイズする

プリントパネルの [プリントの設定] セクションで、プリント枚数、プリンター、解像度などを設定します。[プリントの設定] では、次のように設定します。

- **合計枚数**:プリントする画像の合計枚数を入力します。
- **プリンター**:使用するプリンターを選択します。必要に応じて、 をクリックしてプリンターを設定します。
- **解像度**:プリントする画像の解像度を指定します。
- **ICC**:必要に応じて、ICC カラー プロファイルをドロップダウンから選択します。指定するプリンターで正確にプリントされるよう補正されます。

## 透かし

必要に応じて、透かしテンプレート (フレーム、ライン、イメージなど) をすべての画像に適用します。プリント中に透かしテンプレートを適用するには、次の操作を行います。

1. **[透かしの追加]** オプションを選択します。
2.  ボタンをクリックして、画像に適用する透かしテンプレートを選択します。

3. **[OK]** をクリックして、[透かしテンプレート] ウィンドウを閉じます。

## 第 11 章:

# PhotoDirector の基本設定

基本設定では、UI 言語、プロジェクト バックアップ頻度、ファイル処理などを設定することができます。

基本設定を表示するには、メニューの **[編集] > [基本設定]** を選択するか、 をクリックします。

## 全般の基本設定

[基本設定] ウィンドウの **[全般]** タブを選択します。次のオプションが設定できます。

### 言語

- **システムのデフォルト言語を使用する**:プログラムの表示言語をコンピューターのオペレーティング システムと同じ言語にする場合に、このオプションを選択します。
- **ユーザー定義**:このオプションを選択してから、表示言語をドロップダウンリストから選択します。

### アップデート

- **ソフトウェア アップデートを自動チェックする**:定期的に更新情報やバージョンを自動的に表示する場合に選択します。

### メッセージ

- **[リセット]** ボタンをクリックすると、「次回からこのメッセージを表示しない」確認ダイアログがすべてデフォルト設定に戻ります。このボタンをクリックすると、[次回からこのメッセージを表示しない] チェックボックスが含まれるすべてのダイアログが再び表示されます。

# プロジェクトの基本設定

[基本設定] ウィンドウの [プロジェクト] タブを選択します。次のオプションが設定できます。

## プロジェクトのバックアップ

プロジェクトを定期的にバックアップするようお勧めします。プロジェクトを定期的にバックアップして、画像に適用した調整または変更を保存します。

- **自動バックアップ通知:** ドロップダウンから、プロジェクトのバックアップ通知の頻度を選択します。[今すぐバックアップ] ボタンをクリックすると、プロジェクトのバックアップを開始します。
- **バックアップ先:**  をクリックして、コンピューターのバックアップ先のフォルダーを設定します。

## プロジェクト情報:

このセクションでは、現在のプロジェクト情報 (作成日、前回のバックアップ日など) が表示されます。

# DirectorZone の基本設定

[基本設定] ウィンドウの [DirectorZone] タブを選択します。次のオプションが設定できます。

## 自動サインイン

- **DirectorZone に自動的にサインインする:** このオプションを選択して、メールアドレスとパスワードを入力すると、プログラムの起動時に DirectorZone に自動的にサインインされます。DirectorZone のアカウントがない場合は、[アカウントの取得] リンクをクリックします。

## プライバシー原則

- **DirectorZone が編集情報を収集する:** このオプションを選択すると、アッ

プロードするプリセットの調整内容に関する情報収集を DirectorZone に許可します。

## ファイル処理の基本設定

[基本設定] ウィンドウの [ファイル処理] タブを選択します。次のオプションが設定できます。

### プレビュー キャッシュ

ブラウザー パネルで画像を選択する場合、画像の読み込み時間は、プレビュー レンダリングの質によって異なります。各画像 (プレビュー キャッシュ フォルダーに保存されているもの) のプレビューをレンダリングすることで、画像閲覧時の読み込み時間を速めることができます。

- **場所:**プレビュー データを保存するコンピューターの場所が表示されます。
- **最大サイズ:**コンピューターのハード ドライブのプレビュー データ用の最大サイズを指定します。
- **プレビュー画質:**画像の現在のプレビュー画質を指定します。画質を向上または空き容量を確保するために、プレビューのレンダリングを行うには、プレビュー画質を一覧から選択します。

### 画像編集キャッシュ

[編集] モジュールで画像を編集時に、画像の仮想ファイル (キャッシュ) が作成されます。編集内容は、このキャッシュに記録されます。[画像編集キャッシュ] セクションで、このファイルの形式を設定することができます。

- **形式:**キャッシュ ファイルの形式を JPEG または TIFF から選択します。JPG 形式を使う場合、スライダーを使ってキャッシュ ファイルの画質を設定します。

# 向上プログラムの基本設定

[基本設定] ウィンドウの [向上プログラム] タブを選択します。次のオプションが設定できます。

## CyberLink 製品向上プログラム

- **参加する**: PhotoDirector の CyberLink 製品向上プログラムに参加する場合、このアイテムを選択します。有効にすると、コンピューター システムのハードウェアおよびソフトウェアの構成、またソフトウェアに関連する操作および統計情報についても収集されます。収集コンテンツに関する詳細は、[\[向上プログラムの詳細をオンラインで表示\]](#) のリンクを参照してください。



**注**: PhotoDirector の CyberLink 製品向上プログラムは、お客様を識別する目的で個人情報を収集しません。

# サイバーリンククラウドの基本設定

[基本設定] ウィンドウの **[サイバーリンク クラウド]\*** タブを選択します。次のオプションが設定できます。



**注**: \* CyberLink PhotoDirector のオプション機能です。バージョンの詳細については、当社 Web サイトのバージョン表を参照してください。

- **プログラム設定のバックアップと復元**: サイバーリンク クラウドの契約ユーザーは、[\[サイバーリンク クラウドにバックアップ\]](#) をクリックしてプログラムの基本設定やカスタムの出力プロファイルをサイバーリンク クラウドにバックアップすることができます。[\[サイバーリンク クラウドから復元\]](#) をクリックすると、現在のプログラム設定をサイバーリンク クラウドにバックアップした設定と置き換えることができます。

- **ダウンロード フォルダー:**  ボタンをクリックすると、サイバーリンククラウドのプリセット、プロジェクト、メディアのダウンロード先を変更できます。
- **サイバーリンク クラウド キャッシュのクリア:** [オフライン キャッシュのクリア] ボタンをクリックすると、サイバーリンク クラウドからコンテンツをダウンロード時に保存された一時ファイルを削除してディスク容量を確保できます。
- **サイバーリンク クラウド サービスからサインアウト:** サイバーリンク クラウドにサインインしている場合、このボタンをクリックするとサインアウトします。



**注:** サイバーリンク クラウドのサブスクリプション情報 (有効期限、空き容量など) を確認するには、基本設定ウィンドウ右下の [アカウント情報] のリンクをクリックします。

## ハードウェア アクセラレーションの基本設定

[基本設定] ウィンドウの [ハードウェア アクセラレーション] タブを選択します。次のオプションが設定できます。

### ハードウェア アクセラレーション

- **有効にして OpenCL 技術で画像書き出し速度を上げる:** コンピューターが GPU ハードウェア アクセラレーションに対応する場合に、このオプションを選択すると、コンピューターのマルチコア並列処理能力を利用することで、画像の書き出しを高速化します。
- **ビデオ デコーディングでハードウェア アクセラレーションを有効にする:** コンピューターが GPU ハードウェア アクセラレーションに対応する場合に、このオプションを選択すると、コンピューターのマルチコア並列処理能力を利用することで、動画の読み込み処理が高速化されます。

## 第 12 章:

## PhotoDirector のホットキー

CyberLink PhotoDirector で利用可能なホットキーは次の通りです。

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
<b>ファイル/プロジェクト機能</b>		
Ctrl+I	ライブラリーに画像を読み込みます ([画像の読み込み] ダイアログを表示)。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+N	新規のプロジェクトを作成します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+O	既存のプロジェクトを開きます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+E	選択した画像を書き出します。	ライブラリー、調整、編集*、レイヤー、プリント
Ctrl+S	選択した画像に現在の変更を保存、適用します。	調整
Ctrl+Shift+S	現在の変更を新しい画像として保存、適用します。	ライブラリー、調整、編集*、レイヤー
Alt+C	基本設定を開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
右方向キー	ブラウザー パネルの次の画像に移動します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プ

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
		リント
左方向キー	ブラウザー パネルの前の画像に移動します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
<b>作業領域</b>		
F3	ブラウザー パネルをサムネイルビューに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
F4	ブラウザー パネルをリストビューに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
F6	フォト ビューアー ウィンドウをビューアー & ブラウザー モードに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー
F7	フォト ビューアー ウィンドウをビューアーのみモードに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー
F8	フォト ビューアー ウィンドウをブラウザーのみモードに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集
Alt+2	比較モードを切り替えます。	ライブラリー、調整
Enter	2 枚の画像を比較時に現在の画像として設定します。	ライブラリー
Alt+3	複数表示モードを切り替えます。	ライブラリー
Alt+1	1 枚表示モードを切り替えます。	ライブラリー、調整

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
	す。	
Ctrl+Alt+M	ミラー モードを切り替えます (セカンダリー モニターのみ)。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Ctrl+Alt+A	交互モードを切り替えます (セカンダリー モニターのみ)。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Ctrl+Alt+N	セカンダリー モニターに何も表示しません。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
F	フル スクリーン モードに切り替えます。	ライブラリー、調整、編集
Alt+L	ライブラリー モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Alt+A	調整モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Alt+E	編集モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Alt+Y	レイヤー モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Alt+S	スライドショー モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
Alt+P	プリント モジュールを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Ctrl+G	選択した画像をスタックします。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+Shift+G	選択した画像のスタックをスタック解除します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+Alt+S	選択した画像のスタックを拡張/折りたたみます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
F1	ヘルプ ファイルを開きます。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
<b>操作</b>		
Ctrl+Z	前の変更に戻します。	調整、編集、レイヤー
Ctrl+Y	前の変更に直します。	調整、編集、レイヤー
Ctrl+R	変更を前の保存状態にリセットします。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Ctrl+A	ブラウザー パネルのすべての画像を選択します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+D	ブラウザー パネルのすべての画像を選択解除します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プ

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
		リント
Ctrl+[	画像を左に 90 度回転します。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
Ctrl+]	画像を右に 90 度回転します。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
S	選択した画像のフラグ付けを切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
X	選択した画像の却下を切り替えます。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
U	選択した画像のフラグをすべてクリアします。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
0	選択した画像のレーティングを削除します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
1	選択した画像を 1 つ星に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
2	選択した画像を 2 つ星に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
3	選択した画像を 3 つ星に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プ

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
		リント
4	選択した画像を 4 つ星に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
5	選択した画像を 5 つ星に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+0	選択した画像のラベルを削除します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+1	選択した画像のラベルを赤に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+2	選択した画像のラベルを青に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+3	選択した画像のラベルを緑に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+4	選択した画像のラベルを黄色に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+5	選択した画像のラベルを紫に設定します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Ctrl+Shift+C	他の画像に調整設定をコピーします。	調整

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
Ctrl+Shift+V	コピーした調整を選択した画像に貼り付けます。	調整
Ctrl+'	選択した画像の仮想画像を作成します。	ライブラリー、調整、編集、スライドショー、プリント
Delete	選択した画像/レイヤーを削除します。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
-	複数の画像を表示時にビューアーから画像を削除します。	ライブラリー
スペース	フィット/100% にズームします。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー
Ctrl+マウス ホイール	ビューアー ウィンドウの画像を拡大/縮小します。ブラウザーパネルのサムネイルのサイズを変更します (ブラウザーのみモード時)。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー
F2	選択したフォルダー/アルバム/タグ/プリセット/レイヤーの名前を変更します。	ライブラリー、調整、編集、レイヤー、スライドショー、プリント
J	現在の画像の露光過度および露光不足の部分を表示/非表示します。	調整
Alt+T	現在の画像に自動色調を適用します。	調整
Alt+W	現在の画像に自動ホワイト バランスを適用します。	調整

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
Alt+D	現在の画像に自動ノイズ除去 (ノイズ リダクション) を適用します。	調整
H	部分調整または編集マスクを表示/非表示します。	調整、編集
<b>レイヤー</b>		
Ctrl+Shift+N	新しい空のレイヤーを追加します。	レイヤー
Ctrl+Shift+P	画像のレイヤーを追加します ([画像の選択] ダイアログを表示)。	レイヤー
Ctrl+Shift+V	レイヤーの表示/非表示を切り替えます。	レイヤー
Ctrl+マウス クリック	複数のレイヤーを選択します。	レイヤー
P	ペン ツールに切り替えます。	レイヤー
E	消しゴム ツールに切り替えます。	レイヤー
H	シェイプ ツールに切り替えます。	レイヤー
T	テキスト ツールに切り替えます。	レイヤー
S	選択ツールに切り替えます。	レイヤー
Backspace	塗りつぶしツールに切り替えます。	レイヤー

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
G	グラデーション ツールに切り替えます。	レイヤー
M	選択 & 移動ツールに切り替えます。	レイヤー
Ctrl+F	選択したレイヤーを反転します。	レイヤー
Ctrl+ドラッグ (キャンバス上)	選択した領域を拡大します。	レイヤー
スペース+ド ラッグ (キャン バス上)	スクリーンをパンします (ディスプレイがキャンバスのサイズよりも大きい場合)。	レイヤー
Ctrl+Shift+K	カラー ピッカー (色変更可能なツールを使用する場合)。	レイヤー
Ctrl+A	画像全体を選択します。	レイヤー
Ctrl+D	選択範囲をクリア/すべて選択解除します。	レイヤー
Ctrl+Shift+I	反転選択。	レイヤー
Ctrl+方向キー	選択したレイヤーを 1 ピクセル上へ/下へ/左へ/右へ移動します。	レイヤー
Ctrl+Shift+方向 キー	選択したレイヤーを 10 ピクセル上へ/下へ/左へ/右へ移動します。	レイヤー
Shift+方向キー	テキストを選択します。	レイヤー
マウス ホイール	ブラシ/ペン/ペンのフォント サイズ/消しゴム/テキスト/選択ツ	レイヤー

ホットキー	説明	利用可能なモジュール
	ールを変更します。	
I	レイヤー マネージャーを表示/ 非表示します。	レイヤー
+/-	不透明度を 10% 増減します。	レイヤー



注:\* 一部のウィンドウのみ。

## 第 13 章:

# テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

## テクニカル サポートにお問い合わせになる前 に

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、次のサポート オプション内容をご確認ください (無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトの FAQ を参照する。 <http://jp.cyberlink.com/support/search-product-result.do>
- このドキュメントの「[ヘルプ リソース](#)」ページを参照する。

テクニカル サポートにメールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み **プロダクト キー** (プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。

- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。システム情報を DxDiag.txt で出力し、添付する。



**注:**システム情報を DxDiag.txt ファイルで出力するには、Windows (スタート) ボタンをクリックし、"dxdiag" を検索します。[情報をすべて保存] ボタンをクリックして、DxDiag.txt ファイルを保存します。

- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

## Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。



**注:**CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	<a href="http://www.cyberlink.com/cs-help">http://www.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (繁体字)	<a href="http://tw.cyberlink.com/cs-help">http://tw.cyberlink.com/cs-help</a>
日本語	<a href="http://jp.cyberlink.com/cs-help">http://jp.cyberlink.com/cs-help</a>
スペイン語	<a href="http://es.cyberlink.com/cs-help">http://es.cyberlink.com/cs-help</a>
韓国語	<a href="http://kr.cyberlink.com/cs-help">http://kr.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (簡体字)	<a href="http://cn.cyberlink.com/cs-help">http://cn.cyberlink.com/cs-help</a>
ドイツ語	<a href="http://de.cyberlink.com/cs-help">http://de.cyberlink.com/cs-help</a>
フランス語	<a href="http://fr.cyberlink.com/cs-help">http://fr.cyberlink.com/cs-help</a>

イタリア語

<http://it.cyberlink.com/cs-help>

## ヘルプ リソース

CyberLink 製品をご使用の際、次のヘルプ リソースもご利用いただけます。

- CyberLink の **FAQ** ページ:<http://jp.cyberlink.com/cs-resource>
- ソフトウェアの **ビデオ チュートリアル**:<http://directorzone.cyberlink.com/tutorial/>